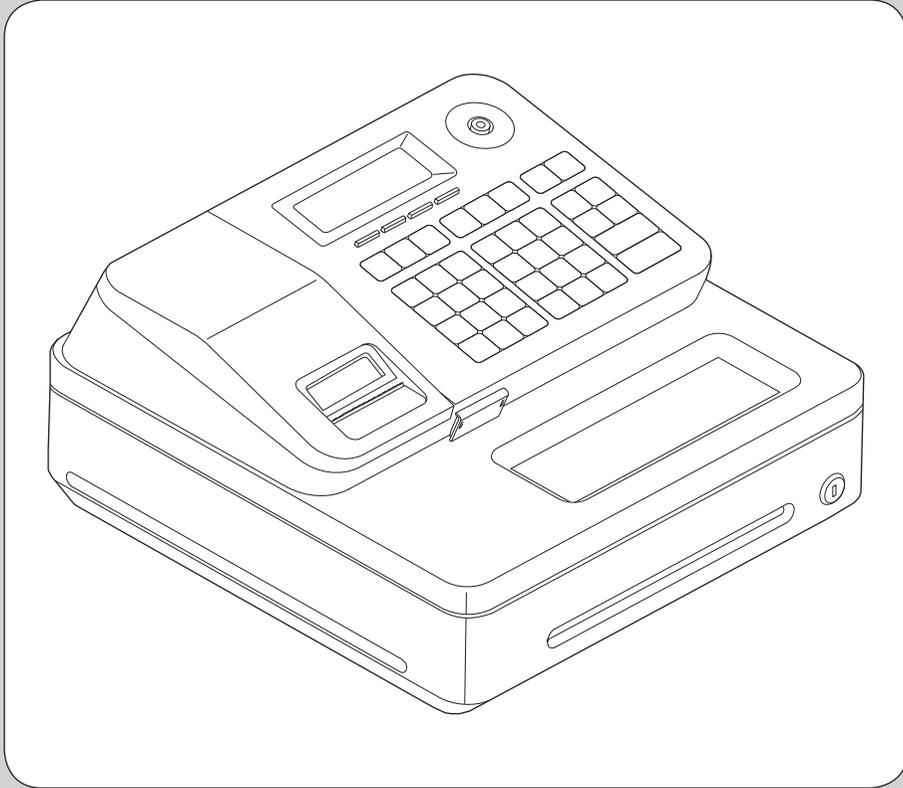


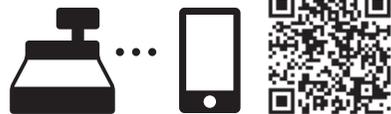
取扱説明書

カシオ電子レジスター
SR-S200

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

売上の確認や設定は
スマートフォンでもっと便利に！

アプリはこちら



<https://web.casio.com/ecr/app/>

初めてレジスターをお使いになるときは、**設置手順**（18～20 ページ）と

初めてレジをお使いになる方へ（23～26 ページ）をお読みください。

特長

- 税率は変更することができます。予約機能を使うと、指定した日から自動で税率が更新されます。



「消費税率について」(20 ページ)
「税率改定の予約機能を設定する」
(81 ページ)

- スマートフォン用アプリを使うことで、レジとスマートフォンを Bluetooth® で接続し、レジの設定や売上確認などをスマートフォンで簡単に行えるようになります。
くわしくは、右記の QRコードを読み込む、または下記 URL をご確認ください。



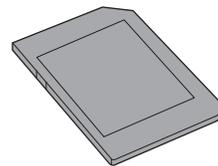
<https://web.casio.com/ecr/app/>

- 抗菌処理されたキーボードで清潔に保つことが可能です。



SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

- パソコンのレジスターツールで設定すると、レシートの店名ロゴスタンプや、領収書の社名ロゴ・住所などを印字できます。(別途 SD メモリーカードが必要です。) また、簡単な設定もツールで設定できます。(裏表紙の「パソコンのレジスターツールについて」を参照してください。)



同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有料) でも承っています。

- 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」「複数税率」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理(四捨五入、切り上げ、切り捨て)を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求(5 円丸め、10 円丸め)するといった、さまざまな設定が可能です。



もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	6
使用上のご注意	9
各部の名称と働き	11
各部の名称	11
モードスイッチとモード鍵	12
本体表示窓／客用表示窓	13
付属品	14
キーボード	15
お使いになる前に	17
部門キーのキャップの中に商品名を 書いた紙を入れる	17
落下防止用フックの取り付け	17
設置手順	18
課税方式について	21
レシートとジャーナルの説明	22
スマートフォン用アプリについて	22
設定について	22
初めてレジをお使いになる方へ	23
電卓の操作と何が違うの？	23
よく使うキーは何？	25
精算と点検について	26
一日の仕事の流れ	27

使い方

基本的な操作	28
商品1つを売上登録する	28
商品2品以上を売上登録する(複数税率)	29
同じ商品を複数売上登録する(乗算登録)	29
同じ商品を複数売上登録する(リピート登録)	30
両替などでドロアーを開ける	31
レシート・ジャーナルの見方	32
キー操作をまちがえたとき	33
部門・取引キーを押す前の訂正 (置数訂正 AC)	33
部門キーを押した直後の訂正 (直前訂正 訂正)	34
取引の途中ですべてを取り消す (取引中止 小計 訂正)	35
取引中に何行か前のまちがいを訂正する (返品処理 戻)	36
返品処理をする	37
「戻」モードを使った返品処理	37
閉店後の操作～精算	38
電子ジャーナルの点検・精算	38
1日の売上を打ち出す	39

便利な使い方

部門の便利な使い方	41
部門について	41
単価設定した部門キーを用いて 商品を登録する	42
部門6～部門10キーに商品を登録する	42
部門キーに単価×数量の順で登録する	43
PLUの便利な使い方	44
PLU(Price Look Up)について	44
PLUを使って登録する	45
品番PLU機能とは？	46
品番PLUを使って登録する	46
割引きをする	47
商品ごとに割引きをする	47
合計金額から割引きをする	47
値引きをする	48
合計金額から ☐ で値引きをする	48
合計の10円未満の端数を自動値引きする	48
万円キーを使う／日時の表示	49
万円キーの使い方	49
日付と時刻を表示する	49
入金処理と出金処理	50
売上とは関係ない現金をドロアーに入れる	50
売上とは関係ない現金をドロアーから出す	50
番号を印字する／レシートの発行と停止	51
伝票番号や商品コードを印字する	51
レシートの発行／停止と後レシート発行	51
商品券／キャッシュレスの売上	52
商品券で売り上げる	52
クレジットやQRコード決済などの 信用売りで売り上げる	52
一部を商品券・残りを現金で売り上げる	53
領収書を発行する	54
取引直後に領収書を発行する	54
金額指定の領収書発行	55
担当者機能を使う	56
レジ担当者機能とは	56
レジ担当者を使う場合の登録手順	56
売上の点検と精算	57
レポート名称とその内容	57
レポートとキー操作	58
日計明細／期間集計の点検・精算	59
売上／在高の点検	59
部門個別の点検	60
グループ別集計の点検・精算	60
PLUの点検・精算	61

もくじ

PLU 個別の点検.....	61	課税方式の予約機能を設定する.....	82
時間帯別集計の点検・精算.....	62	単価の予約機能を設定する.....	83
月間日別集計の点検・精算.....	63	税予約項目の設定.....	84
電子ジャーナルの区間点検.....	64	税額の1円未満の端数処理を設定する.....	85
電子ジャーナルの消去.....	64	Bluetooth.....	86
電卓機能の使い方.....	65	Bluetooth ペ어링(接続) 設定.....	86
税抜き金額・税額を計算する.....	65	Bluetooth ペ어링解除設定.....	87
[%] を使って計算する.....	66	Bluetooth を使う設定にする.....	87
新単価を計算する.....	66	点検/精算データのスマートフォン	
呼び出し機能を使って計算する.....	67	送信を設定する.....	88
		点検/精算データスマートフォン	
		送信時の印字を設定する.....	88
		点検/精算データの電子ジャーナル	
		保存を設定する.....	89
		点検/精算データスマートフォン	
		送信失敗時のSD保存を設定する.....	89
		レート/丸めの設定.....	90
		割引率・値引き金額をそれぞれの	
		キーに設定する.....	90
		10円丸め・5円丸めを設定する.....	90
		商品名やメッセージの設定.....	91
		設定できる項目と入力方法.....	91
		「商品名リスト」から商品名を選択して	
		部門キーに設定する.....	92
		商品名を商品名リストから選択して	
		PLUを設定する.....	92
		「メッセージリスト」からメッセージを	
		選択してレシートに印字する.....	95
		1文字ずつ入力して漢字変換する.....	97
		文字入力の方法.....	97
		半角文字、全角文字、倍文字、	
		縦倍文字について.....	98
		商品名や分類名を部門キーに設定する.....	99
		入力途中で文字を訂正する.....	100
		商品名や分類名をPLUに設定する.....	101
		レシートメッセージを設定する.....	102
		レジ担当者の名前を設定する.....	104
		取引キーの印字文字を設定する.....	105
		レシートの背景印字を設定する.....	106
		領収書の但し書き内容を設定する.....	106
		領収書のタイトルを設定する.....	107
		領収書の背景を設定する.....	107
		文字設定できるその他の項目.....	108
		各キーの設定.....	110
		券 信.....	110
		現預.....	111
		入金 出金.....	111
		万円.....	111

もくじ

##	112	正しく動作しないとき	135
—	112	ドローが開かなくなったとき	135
%	113	ロールペーパーのセットと交換	136
その他の設定	114	ロールペーパーをセットする(レシート)	136
内容変更できる主な印字項目	114	ロールペーパーをセットする(ジャーナル)	138
印字項目を設定する1/2	115	ロールペーパーを交換する(ジャーナル)	139
印字項目を設定する2/2	116	電子店名スタンプのセット	140
強制機能や演算方式を設定する	117	SDメモリーカードをセットする	140
点検/精算レポートの内容を 設定する1/2	118	電子店名スタンプを読み込む	140
点検/精算レポートの内容を 設定する2/2	119	電子店名スタンプを削除する	141
電卓モードの機能を設定する	120	SDメモリーカードを取り出す	141
領収書の内容を設定する	121	内蔵のフラッシュメモリからバックアップ データ(自動設定保存)を戻す	141
レシートメッセージの内容を設定する	122	電子店名スタンプ/サーマルポップの内容を 確認する	141
サーマルポップと背景印字を設定する	123	電池のセットと交換	142
本体表示窓と客用表示窓の機能を設定する	124	電池をセットする	142
マシン番号を設定する	124	電池を交換する	143
サーマルポップの発行金額を設定する	125	仕様	144
担当者番号にパスワードを設定する	125	保証規定	145
Bluetooth関連の設定をする	126	用語集(索引)	146
レジ設定内容の確認	127	アフターサービス	裏表紙
設定内容を確認する	127		
部門の単価・%レート・簡易設定項目の 設定点検	127		
PLUの単価・設定項目の設定点検	127		
商品名・メッセージ項目の設定点検	128		
キー機能・レジスター機能項目の設定点検	129		
税予約項目(部門)の設定点検	130		
税予約項目(PLU)の設定点検	130		
オプションのSDメモリーカードの使用	131		
SDメモリーカードにレジの設定を バックアップする	131		
SDメモリーカードのバックアップからレジの設 定を読み込む	131		
精算時にSDメモリーカードに データを保存する	132		
レジスターツールで設定した 予約設定(SD)の予約機能を設定する	132		
簡易メニュー/簡易お知らせ印刷の説明	133		
簡易メニュー/簡易お知らせ印刷	133		
簡易お知らせ印刷のメッセージ設定	133		
簡易メニュー印刷書式設定	134		
簡易お知らせ印刷の向きの設定	134		
こんなときは			
故障かなと思ったら	135		
こんなときは	135		

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	△ 記号は「気をつけるべきこと = 注意」を意味しています。 左の例は「手を挟まれないよう注意」です。
	⊘ 記号は「してはいけないこと = 禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。
	● 記号は「しなければならないこと = 指示」を意味しています。 左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は  で表わします。

警告

電池について

-  ・電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。
- ・目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。

電源コードや電源プラグについて

-  ・電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、上に重い物を載せないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品で挟み込むような配線はしないでください。
-  ・電源コードを巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
-  ・電源コードが傷んだら(芯線の露出/断線など)、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
-  ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。
- ・雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れないでください。感電の原因になります。

分解・改造しないでください

-  本製品を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。

内部に異物や水などを入れないでください

-  ・本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となります。
-  ・異物や水などが本製品の内部に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

警告

異常状態で使用しないでください



発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

電源・電圧について



- ・表示された電源電圧(交流 100V)以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をししないでください。火災や感電の原因となります。
- ・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

本製品を落としたり、破損したときは



本製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

設置場所について



- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。
- ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原因になります。



- ・本製品は 0°C ~ 40°C の環境内でご使用ください。
- ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。
- ・電源プラグの周りに物を置かないでください。
- ・電源コードを製品や壁や棚の間にはさみ込んだり、電源コードの上に重い物を載せないでください。

本製品の上には物を置かないでください



- ・花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。
- ・タバコなど高温の物を置かないでください。
- ・重い物を置かないでください。

表示画面について



- ・液晶表示を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてケガの原因となることがあります。
- ・液晶表示が割れたときは、表示内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- ・口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ・目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

モード鍵とドロアー鍵、別売のメモリーカードについて



- ・モード鍵とドロアー鍵は、小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。
- ・別売の SD メモリーカードを使用する際は、小さなお子様が飲み込まないように取り扱いに注意してください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

安全上のご注意

⚠ 注意

移動する場合は



本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはいつもきれいに



・電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ホコリがたまると、火災の原因になります。



・電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。

長期間使用しないときは



連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドロアー(引き出し)の注意



・ドロアー(引き出し)を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。
・ドロアー(引き出し)が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落下してケガの原因となります。

お手入れについて



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品交換時の注意



手を挟まれないよう注意

・記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。



指のケガに注意

・記録紙の交換時に手を挟まれないよう注意してください。また、指のケガにも注意してください。



・プリンターのヘッド部分には触れないでください。高温になるためケガ、やけどの原因となります。

電池について



破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守ってください。

- ・分解しない、ショートさせない。
- ・充電しない。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない。
- ・加熱しない、火の中に投入しない。
- ・本機で指定されている電池以外は使わない。



・極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる。
・長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく。



・電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する。
・電池が液漏れしたまま使用しない。
・被覆のはがれた電池は使わない。

使用上のご注意

無線通信機能の取り扱いについて

⚠ 警告

他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



病院内や医療用電気機器のある場所では各医療機関の指示にしたがってください。手術室、集中治療室、冠動脈疾患監視病室や、特に医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の無線通信機能をOFFにするか電源をOFFにしてください。

⚠ 注意

他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



本製品は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しています。使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- ・使用前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ・本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- ・その他、電波干渉が発生した場合などお困りのときは、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

2.4 X X 1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式は、DS-SS/FH-SS/OFDM方式、DS-FH、FH-OFDM複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される与干渉距離は約10mです。

お願い (必ず守ってください)

- ・温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。
- ・ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。
- ・清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使用しないでください。本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- ・1日の終わりには、精算をしてドロアー(引き出し)内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアーは金庫ではありません。

設置場所

高温になる場所、ホコリの多い場所、油煙や水がかかる場所に置かないでください。

以下の場所では絶対に保管・放置しないでください。メモリ内容が消えるなど本装置の故障、ケースの変形などの原因となります。

- ・0℃以下の低温下
- ・夏季の車内
- ・冷暖房装置の近く
- ・直射日光の当たる場所
- ・その他40℃以上の高温になる場所

以下の場所では本製品の使用を避けてください。

- ・屋外
- ・レンジ、電熱器などの高温になる機器の近く
- ・水気や水蒸気のかかる可能性のある場所
- ・温度、湿度などの環境の変化が激しい場所

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

使用上のご注意

- ・ 腐食性のガスや塩分の発生する場所
- ・ 塵やホコリが発生する場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 静電気が発生しやすい場所

あらかじめご承知いただきたいこと

- ・ 本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- ・ 本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ 本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・ 本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
- ・ ウェルドラインについて
外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。
- ・ 設置面の材質によっては本製品のゴム足が、設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

商標登録について



SD および SDHC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。



Bluetooth®は Bluetooth SIG, Inc., U.S.A が所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

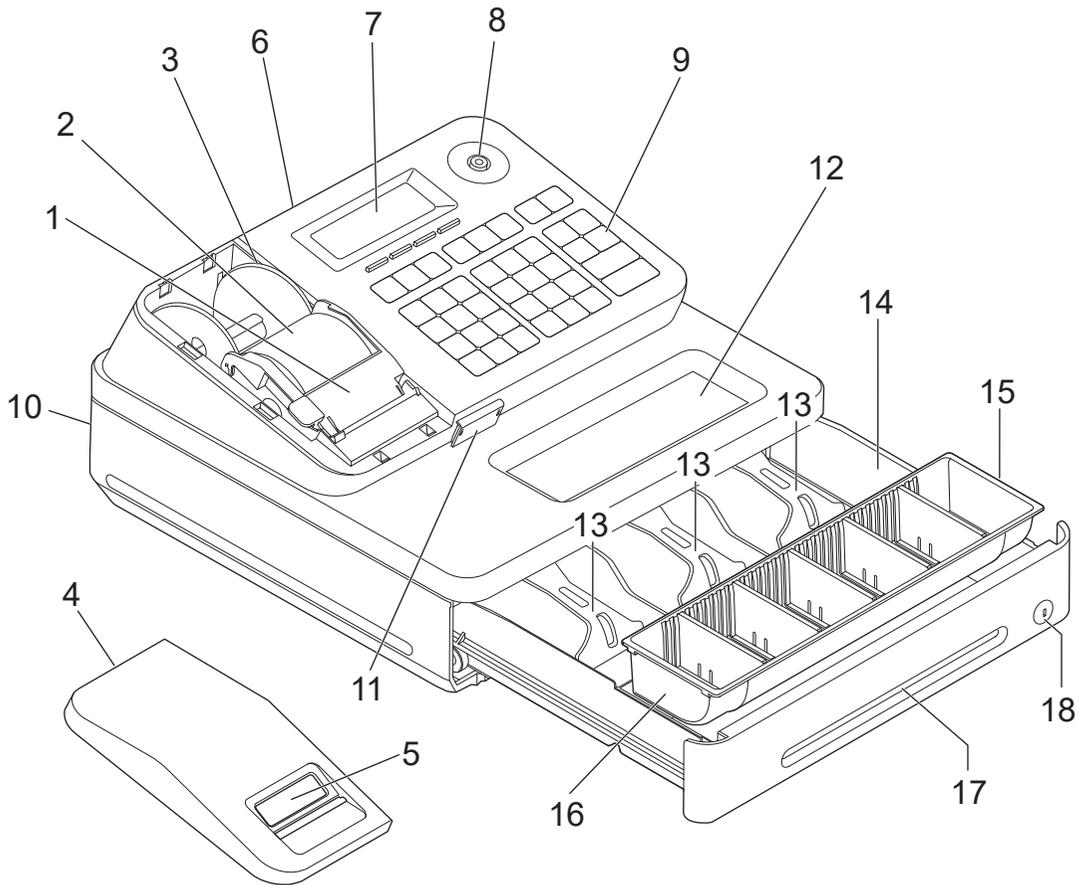
QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Android および Google Play™は、Google LLC の商標または登録商標です。

各部の名称と働き

各部の名称



- | | |
|--|---|
| 1 紙押さえ
確実にロックされるまで、きちんと閉じてください。完全に閉じていないとレジスターが動きません。 | 7 本体表示窓 |
| 2 ロールペーパー
金額や操作内容を印字する用紙です。 | 8 モードスイッチ |
| 3 ジャーナル巻き取りホルダー
印字された用紙を「営業記録」としてお店に保管しておくときに使用します。 | 9 キーボード |
| 4 プリンターカバー
プリンターを覆うためのカバーです。 | 10 ドロアー(引き出し) |
| 5 印字確認窓
ジャーナルとしてご使用のとき、この窓から操作内容を確認できます。 | 11 SDメモリーカードスロットカバー
カバーを開けてSDメモリーカードをセットします。 |
| 6 客用表示窓
お客様用の表示です。 | 12 多目的トレイ |
| | 13 札押さえ |
| | 14 紙幣入れ(3箇所) |
| | 15 硬貨入れ(6箇所) |
| | 16 コイントレー |
| | 17 ドロアースリット部
小切手や商品券をドロアーを開けずに入れることができます。 |
| | 18 ドロアーロック錠
ドロアー鍵でロックできます。 |

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

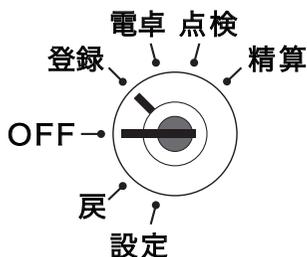
こんなときは

各部の名称と働き

モードスイッチとモード鍵

本製品は、それぞれ働きのちがう7つのモードがあります。モード鍵を使ってモードスイッチ位置を切り替えます。オーナー鍵とオペレーター鍵では「できること」の範囲がちがいます。

モードスイッチ

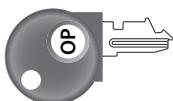


- 精 算…………… 売上の精算をする
- 点 検…………… 売上の点検をする
- 電 卓…………… 電卓計算をする
- 登 録…………… 売上の登録をする
- OFF …………… レジを使用しない
- 戻 …………… 返品(戻し)をする
- 設 定…………… お店に合わせたいろいろな設定をする

モード鍵

モード鍵は2種類あります。

①オペレータ鍵 (OPと刻印)



モード鍵の回せる範囲

	設定	戻	OFF	登録	電卓	点検	精算
①オペレータ用鍵	×	×	○	○	○	×	×
②オーナー用鍵	○	○	○	○	○	○	○

レジスターにモード鍵を差し込むとき・外すときは、モードスイッチの位置を「OFF」または「登録」にします。

②オーナー鍵 (PGMと刻印)



本書での記載例



・本書では、各操作手順のモードスイッチの位置を、絵表示で掲載しています。
 ・上の例は、モードスイッチの位置を、左から「登録」、「設定」、「点検」、「精算」、「電卓」にしてから操作する必要があることを意味しています。

各部の名称と働き

本体表示窓／客用表示窓

本体表示窓(バックライトあり)



客用表示窓(バックライトなし)



1 キャラクター(文字)表示

半角文字で最大 20 文字・全角文字で最大 10 文字を表示します。部門名、PLU の商品名は半角文字で最大 12 文字・全角文字で最大 6 文字を表示します。

2 リピート回数表示

リピート登録時に、リピート回数の下 1 桁を表示します。

3 数値・金額表示

金額や数量などを表示します。電卓機能の時は計算数値を表示します。

4 モードスイッチ位置・合計／お釣り・操作状態表示

モードスイッチの位置および、合計やお釣りをそれぞれのシンボル(—)で表示します。

「レシート発行」が点灯しているときは、レシートを発行します。

印字用紙がなくなると、「用紙切れ」が点灯します。用紙を交換してください。

ご使用前に

使い方

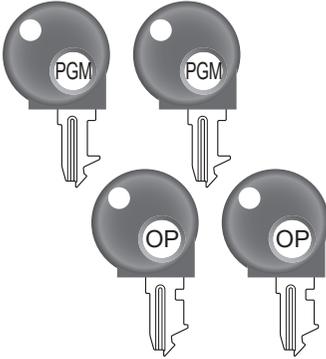
便利な使い方

設定の仕方

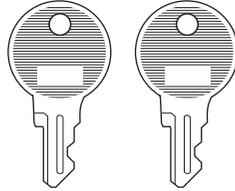
こんなときは

各部の名称と働き

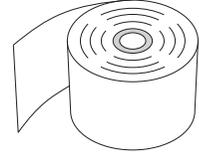
付属品



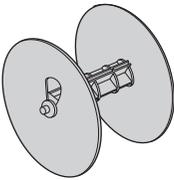
モード鍵：4本



ドロアー鍵：2本

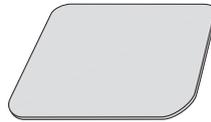


ロールペーパー：1個



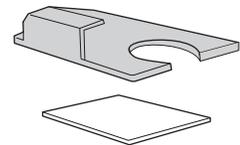
ジャーナル巻き取りホルダー

レジ本体のプリンタカバー内にセットされています。

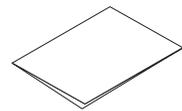


検銭板

お客様からお預かりした紙幣を、マグネットで挟んで留めておくために使います。接着面の汚れをよく拭き取り、ケガをしないように注意して貼り付けてください。



落下防止用フックおよび貼付用両面テープ



取扱説明書類

各部の名称と働き

キーボード

節約モード レシート発行 領収書発行 操作ガイド



紙送り	紙送りキー	印字用紙を空送りします。
x/日時	乗算/日時キー	乗算登録、または時刻・日付を表示するときに使います。
AC C	クリアキー	入力をまちがったときに使います。電卓機能時は、2回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン)します。
0 ~ 9 00 ●	置数キー	数値を入力します。
+ 1/6 ~ 5/10	部門キー	商品登録時に使います。 + 1/6 ~ ± 4/9 の部門キーは、電卓機能時「+」「-」「×」「÷」の計算命令キーです。
万円	万円キー	万円札を預かったときに使います。
-	マイナスキー	値引き時に使います。
担当者	担当者キー	担当者を指定します。
訂正/中止	訂正/中止キー	直前訂正、または取引中止のときに使います。
非課税	非課税キー	非課税商品を登録するときに使います。
戻	戻しキー	返品時に使います。
PLU	PLU キー	PLU 機能使用時に使います。
#/替	番号印字/両替キー	番号印字、または両替時に使います。
金額	金額キー	品番 PLU 機能使用時に、単価を入力してから使います。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各部の名称と働き

	部門シフトキー	部門 06 ～部門 10 を指定するときに使います。
	パーセントキー	割引き時に使います。
	強制解除キー	2回続けて押すとエラーを強制的に解除します。「登録」の操作中に強制解除をすると、現金売上として処理されます。
	入金キー	入金時に使います。電卓機能ーレジ機能間の「答」などのやり取りにも使います。
	出金キー	出金時に使います。
	信用売りキー	クレジットや QR コード決済などの売上時に使います。
	券売りキー	商品券での売上時に使います。
	小計キー	登録金額の合計(中間合計)を見るときに使います。
	現金売り／預かり金キー	登録の完了(現金での売上)および預かり金のために使います。電卓機能時「=」は計算命令キーです。
	節約モード	プリンターをレシート設定で使用、キーを押すとレシートを発行する／停止するを切り替えることができます。現在の設定は、本体表示窓のレシート発行シンボル(■)のあり／なしで確認できます。(シンボルありでレシート発行)
	レシート発行キー	後レシートを発行します。
	領収書発行キー	領収書を発行します。
	操作ガイドキー	キーを押すと操作ガイドのメニュー項目を印字します。知りたいメニュー番号を入力して、もう一度押します。

お使いになる前に

部門キーのキャップの中に商品名を書いた紙を入れる

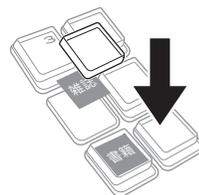
10mm 幅のセロハンテープを用意します。

手順

1 セロハンテープを 5cm 程度の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩部分に貼ります。セロハンテープの端を指で押さえながら上方向に回すようにして引き上げ、キーキャップの片側をはずします。

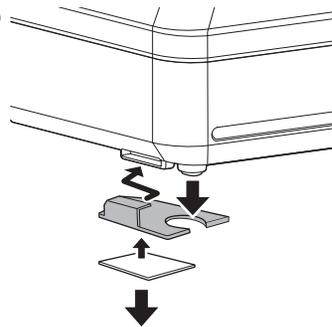


2 キー本体からキーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。新しいキープレートにキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせて押し込みます。



落下防止用フックの取り付け

ドロアーを開けたときに、硬貨の重みでレジスターが浮き上がってしまうのを防止するフックです。貼付用両面テープの表と裏の剥離紙をはがして取り付けてください。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

設置手順

本製品を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

1 梱包箱からレジスター本体と付属品を取り出し、保護テープをはがします。

2 袋の中から付属品を取り出し、全部そろっているか確認します。
参照  14 ページ

3 レジスターを水平な設置場所に置きます。

4 ロールペーパー(印字用ロール紙)を取り付けます。
参照  136 ページ

ご購入時は以下の設定になっています。

プリンターの印字： **レシート印字**

 **ポイント** ジャーナルとしてご使用のときは、「レシートとジャーナルの説明」(22 ページ)を参照してください。

5 電源プラグを家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。
ガイダンスが印刷されます。

6 印字されたガイダンスに従って、日付/時刻を設定します。
参照  20 ページ

7 Bluetooth でレジスターとスマートフォンをペアリング(接続)する場合は、印字ガイダンスに従ってペアリング(接続)します。

無料のスマートフォン用アプリ“CASIO ECR+”を使うとレジスターの設定や売上確認がとても簡単にできます。“CASIO ECR+”を利用するには、レジスターとスマートフォンを以下の手順で設定してください。

7-1 レジスターと接続するスマートフォンで右記の QR コードを読み込む、または下記 URL から“CASIO ECR+”をインストールします。

<https://web.casio.com/ecr/app/>



お使いになる前に

- 7-2** レジスターとスマートフォンを Bluetooth 接続するときは **現/預** を押します。Bluetooth 接続しないときは **小計** を押します。この設定は後から「Bluetooth ペアリング (接続) 設定」で変更できます (86 ページ)。**小計** を押すと設定が終了します。

Bluetooth を使用する / しないの設定を行います。操作は以下の手順です。

- ・使用する場合
< 現 / 預 > キー
- ・使用しない場合
< 小計 > キー

以下、Bluetooth 接続時の操作です。

- 7-3** レジスターとスマートフォンをペアリング (接続) します。スマートフォンはレジスターの近く (約 1 m 以内を推奨) で操作してください。右記が印字されたら、「CASIO ECR+」がインストール済みのスマートフォンの Bluetooth 設定を ON にします。

※ Bluetooth の設定方法はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンで、次の名前のレジスターとペアリングをしてください。

EY123456789012

中止する場合は、< 小計 > キーを押してください。

- 7-4** スマートフォンで接続するレジスターの機器名を検索します。検索方法は、Android と iPhone で操作が異なります。機器名はレジスターにより異なります。実際の印字内容をご覧ください。

<Android をお使いの方>

スマートフォンの Bluetooth 設定を ON にして、画面に表示されている機器名「EY123456789012 (例)」をタップして選択します。

<iPhone をお使いの方>

スマートフォンにインストールした「CASIO ECR+」を起動します。起動すると最初に対象レジスターを検索します。機器名「EY123456789012 (例)」をタップして選択します。

- 7-5** スマートフォンでレジスターの機器名をタップして選択すると、レジスターはパスキーを表示します。表示されたパスキー「123456 (例)」をスマートフォンへ入力します。パスキーはレジスターにより異なります。実際の画面をご覧ください。ペアリングが完了するとレジスターの印字内容と音でお知らせします。

レジスターの画面に表示されているコード* をスマートフォンに入力してください。

中止する場合は、< 小計 > キーを押してください。

スマートフォンに次のコード* を
123456

設定 戻 登録 電卓 点検 精算 レジシート 用紙 約
レポート 金額 発行 切れ 計

ペアリングができないときはレジスターの印字内容を確認してください。ペアリングに失敗したことが印字されているときは、**現/預** を押して再度ペアリングしてください。

ペアリング 異常終了

- ・やり直す場合
< 現 / 預 > キー
- ・中止する場合
< 小計 > キー
を押してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

7-6 レジスターの設定は以上で終了です。引き続きスマートフォンの”CASIO ECR+”を、ガイダンスに従って設定してください。

<Android をお使いの方>

スマートフォンにインストールした”CASIO ECR+”を起動して設定してください。

<iPhone をお使いの方>

継続して設定してください。

8

単3型アルカリ乾電池2本(別途ご購入ください)を取り付けます。

参照  142 ページ

9

消費税の設定をします。

参照  次ページ

ご購入時の設定

消費税率： **10%**

税額の内未満の処理： **四捨五入**

課税方式： **内税**

プリンターの印字： **レシート印字**

お使いになる前に

課税方式について

消費税の課税方式には3つの方式があります。ご購入時は「内税方式」に設定されています。

内税方式（ご購入時）	
商品金額に消費税10%が含まれているものを販売する方式	
例：価格 1,000 円	
本体価格	909 円
(消費税額)	91 円
合計	1,000 円 受取

外税方式	
商品金額に消費税10%が含まれていないものを販売する方式	
例：価格 1,000 円	
本体価格	1,000 円
(消費税額)	100 円
合計	1,100 円 受取

非課税方式	
消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式	
例：価格 1,000 円	
本体価格	1,000 円
(消費税額)	0 円
合計	1,000 円 受取

内税方式10%のみでご利用のときは、このままご使用いただけます。

内税方式10%のみ以外でご利用のときは

- ・「課税方式の一括設定」(79 ページ)
- ・「すべての商品を非課税扱いにする(非課税レジスター)」(79 ページ)
- ・「課税方式の設定」(78 ページ)

を参照して課税方式の設定を変更してください。

	税率初期設定		部門の課税方式初期設定
税1内税	10%	→	部門1～10(税1内税)
税1外税		→	—
税2内税	8%	→	—
税2外税		→	—
非課税	—		—

軽減税率でご利用のときは対応する部門キーなどの設定変更が必要です。「課税方式の設定」(78 ページ)を参照して、課税方式の設定を税2へ変更してください。(対応する部門キーなど)混在するときは、例えば部門1を「税1内税(10%)」、部門2を「税2内税(8%)」のように設定して使いわけてご使用ください。

消費税の設定後、レジスターをお使いいただけます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

レシートとジャーナルの説明

ご購入時のプリンター設定は「レシート印字用」です。レシート印字とジャーナル印字ではロールペーパーのセット方法が異なります。ご使用に合わせてセットしてください。

	巻き取り	店名ロゴ	領収書	ロールペーパーの セット方法
レシート お客様に渡す売上明細です (ご購入時の設定)	しない	印字する	キー操作で 印字する	136 ページ
ジャーナル お店の営業記録として保存します (設定を変更してください(69 ページ))	巻き取りする	印字しない	キー操作しても 印字しない	138 ページ



レシート/ジャーナルの印字項目

印字項目には、印字する/印字しないの設定や、印字内容を文字入力できるものがあります。店名ロゴ部分は、店名や住所などの文字入力ができます。以下を参照してください。

「内容変更できる主な印字項目」(114 ページ)、「商品名やメッセージの設定」(91 ページ)、「レシート・ジャーナルの見方」(32 ページ)

スマートフォン用アプリについて

スマートフォン用アプリ“CASIO ECR+”を使うことで、レジとスマートフォンをBluetooth®で接続し、レジの設定や売上確認などをスマートフォンで簡単に行えるようになります。他にもレジの使い勝手を高め、店舗運営に役立つ機能を提供します。

“CASIO ECR+”のインストールおよび機能の詳細については、右記のQRコードを読み込む、または下記URLをご確認ください。

<https://web.casio.com/ecr/app/>



設定について

本製品はさまざまな設定でカスタマイズした使用ができます。「設定の仕方」(68 ページ～)を参照してください。また、パソコンのレジスターツールでも簡単な設定ができます。(別途SDメモリーカードが必要です。)パソコンのレジスターツールは、弊社Web(<https://casio.jp/support/ecr/>)をご確認ください。

初めてレジをお使いになる方へ

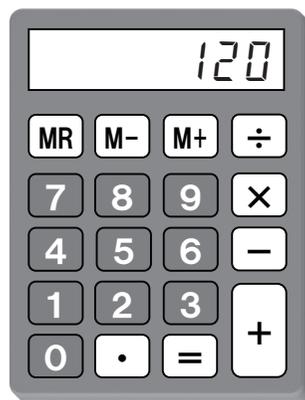
電卓の操作と何が違うの？

操作例

120円と350円の商品を売り上げ、お客様から1,000円をお預かりした場合

■電卓で計算するときのキー操作は

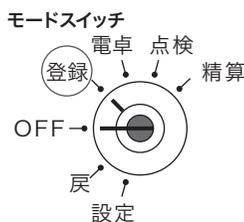
操作	表示例
1 2 0 +	
3 5 0	
=	470
- 1 0 0 0	
=	-530



※お釣は530円です。

■レジでは、以下のように操作します

手順	操作	表示例
1	モード鍵をモードスイッチに差し込み、モードスイッチの位置を「登録」にします。 ※「登録」とは、取引の内容をレジに記憶させることです。	
Point 1	2 商品の単価を入力し、「部門1」に登録します。	1 2 0 + $\frac{1}{6}$ 3 5 0 + $\frac{1}{6}$
Point 2	3 登録した商品の合算を求めます。	小計
Point 3	4 お客様からお預かりした金額を入力し、それが「現金」であることを登録します。	お 釣



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

初めてレジをお使いになる方へ

Point 1

- 「部門」とは商品を分類するものです。
- 部門 1 ～ 10 まで選べます。
- 事前に、商品をどの部門に割り振るか決めておきます。

10 個の部門を上手に使い分けて、

- ・商品の種類別に売上を集計する
- ・課税方式によって登録する部門を使い分ける

などができます。お店に合わせてお役立てください。

部門の詳細は、「部門の便利な使い方」(41 ページ) を参照してください。

部門キーは $\boxed{+1}$ ～ $\boxed{-10}$ です。 $\boxed{\text{部門シフト}}$ を併用して「部門 6 ～ 10」まで登録できます。「部門 6 ～ 10」の登録は、「部門 6 ～ 部門 10 キーに商品を登録する」(42 ページ) を参照してください。

Point 2

$\boxed{\text{小計}}$ は、「部門 1 ～ 10」に登録したすべての商品の合算を表示します。

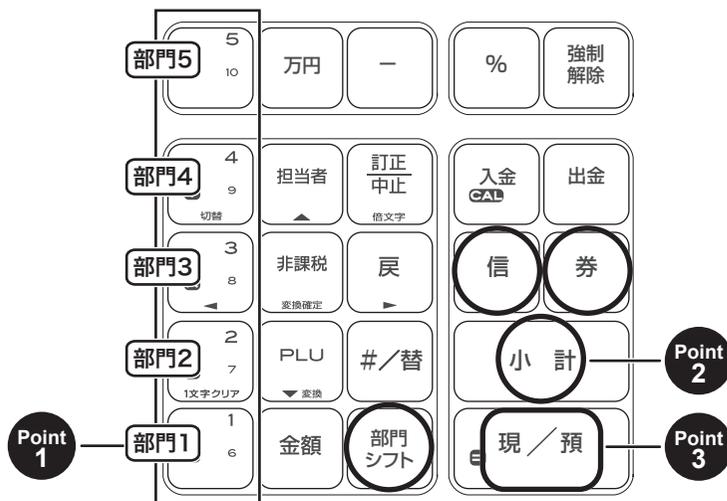
Point 3

$\boxed{\text{現/預}}$ を押すと、レジは「現金で千円の入金」があり、「お釣りとして 530 円の出金」があったことを記録します。

現金以外のお支払いの場合は、

- $\boxed{\text{現/預}}$ の代わりに
- ・キャッシュレス $\boxed{\text{信}}$
 - ・商品券 $\boxed{\text{券}}$
- を押します。

レジは、取引による入金履歴を、現金/キャッシュレス/商品券に分けて正しく記録します。



初めてレジをお使いになる方へ

よく使うキーは何？

よく使うキーの概要を説明します。(詳細、ほかのキーは本書を順次お読みください。)

取引中に使うキー

% **—**

参照  47、48 ページ

商品の売上登録をしたすぐあとに、

5 **%**

を入力すると、商品の単価に対して5%引き(割引き)します。**小計**を押したあとであれば、登録した商品の合算に対して割引きをします。同様に、**—**は〇〇円引き(値引き)します。

×/日時

参照  29 ページ

「掛け算」キーです。「100 円の商品を 8 個売り上げ」のときは

8 **×/日時** **100** **+** **!**

と入力します。

万円

参照  49 ページ

「30,050 円」は、

3 **万円** **50**

と入力ができます。手間を省いて誤入力を減らす便利なキーです。

AC **C** **戻** **訂正**
中止

参照  33 ページ

キー入力をまちがったときは、このキーで訂正します。入力中、どの時点でまちがいに気づいたかで、訂正の方法/訂正に使用するキーが異なります。

取引以外で使うキー

入金/出金の記録を残します。

入金
CAL

参照  50 ページ

・ 開店前に釣り銭をレジに入れて入金登録する。

出金

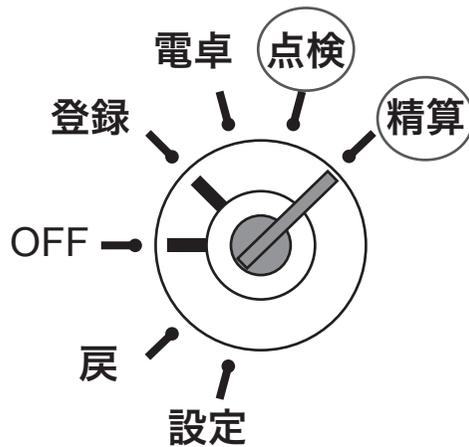
参照  50 ページ

・ 集金業者に、レジから現金を出して支払う。
・ 店の備品購入のため、レジから現金を出す。

「取引」に関わる金銭の出入りは、**現/預** **信** **券** で記録し、取引以外は **入金** **出金** で記録します。このようにして、すべての金銭の出入りがレジに記憶され、レジの中にあるべき金銭(在高と呼びます)を把握できます。閉店後はレジにある金銭を数えて、在高と合致するか確認してください。

初めてレジをお使いになる方へ

精算と点検について



モードスイッチ

精算とは

モードスイッチの位置を「精算」にして  を押します。

閉店後、「精算」するとレジは今日一日のデータを集計して、レポートに印字します。オーナーは、レポートを見てその日の売上(金額、数量)、取引内容、現金や商品券の在高、レジの操作履歴などを確認できます。

レポートの印字が終了すると、自動で今日のデータをすべてクリア(ゴハサン)し、明日の営業に備えます。

▲注意 「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。

点検とは

モードスイッチの位置を「点検」にして  を押します。

「点検」とは、「精算」と同様のものですが、その日の途中経過を知りたいときに使います。

営業中に「点検」すると、データをクリア(ゴハサン)せずに残したまま、その時点での途中経過を集計してレポートに印字します。

一日の仕事の流れ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

開店前

- 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。
- ロールペーパーが充分にあるか確認します。
 136 ~ 138 ページ
- モードスイッチの位置を「登録」にして、日付と時刻を確認します。
 49 ページ
- 釣銭用の小銭をドロアーに用意します。
 50 ページ

営業中

- 商品の売上を登録します。
 28 ページ~
- 必要に応じて売上の確認をします。
 59 ページ~

閉店後

- ドロアー内のお金を回収します。
- 一日の売上を打ち出します。
 39、40 ページ
- モードスイッチの位置を「OFF」にします。

今日も一日お疲れ様でした。

ドロアーが閉まっていると、現金が入っていると思ってレジごと持ち去る盗難が発生しています。レジがないと翌日の営業にも影響します。閉店後、現金を取り出したらドロアーを開けたままにしておくことをお勧めします。

基本的な操作



本書内の説明は、「税率10%の内税方式」の消費税計算(円未満は「四捨五入」)での操作方法、およびレシートの印字例を記載しています。

税率が変更された場合、外税・非課税が混在する場合に、操作方法は変わりませんが印字内容は異なります。ご注意ください。

商品1つを売上登録する

商品1つを現金でお買い上げになったときの例です。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,200	1	部門1 (+ 1/6)	¥2,000



手順

操作

表示例

1 商品の単価を入力して、部門キーを押します。

1 2 0 0 + 1/6



- 1: 登録部門名
- 2: 登録金額

2 **小計** を押します。

小計



- 1: 合計金額

3 預かり金額を入力して **現/預** を押します。

2 0 0 0 = 現/預



- 1: お釣り金額

印字例



基本的な操作

商品 2 品以上を売上登録する (複数税率)

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	1	部門 1 (+ 1/6)	¥2,500
¥800	1	部門 2 (- 2/7)	
¥1,100(税 2 内税 8%)	1	部門 3 (x 3/8)	

登録



手順

操作

印字例

1 商品の単価を入力して、部門キーを押します。商品の数量分繰り返します。

2 0 0 + 1/6

8 0 0 - 2/7

1 1 0 0 x 3/8

2 [小計] を押します。

小計

3 預かり金額を入力して [現/預] を押します。

2 5 0 0 [現/預]

2019-10-31 09:35		
		000014
部門 01		¥200
部門 02		¥800
部門 03	※	¥1,100
対象計	10.0%	¥1,000
内税		¥91
対象計※	8.0%	¥1,100
内税※		¥81
消費税合計		¥172
合計		¥2,100
お預り		¥2,500
お釣		¥400

注) ※は軽減税率適用

ポイント 部門 3 を税 2 内税 (8%) に設定したときの印字例です。設定方法は「課税方式の設定」(78 ページ) を参照してください。

同じ商品を複数売上登録する (乗算登録)

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	12	部門 1 (+ 1/6)	¥10,000
¥340	4.6	部門 2 (- 2/7)	

登録



手順

操作

印字例

1 商品の数量、[x/日時]、単価、部門キーの順に押します。

1 2 [x/日時]

2 0 0 + 1/6

2 商品の数量、[x/日時]、単価、部門キーの順に押します。
数量は、小数の入力もできます。

4 . 6 [x/日時]

3 4 0 - 2/7

3 [小計] を押します。

小計

4 預かり金額(万円券キー)を入力して [現/預] を押します。

万円 [現/預]

2019-10-31 09:41		
		000017
12 点	@200	
部門 01		¥2,400
4.6 点	@340	
部門 02		¥1,564
対象計	10.0%	¥3,964
内税		¥360
合計		¥3,964
お預り		¥10,000
お釣		¥6,036

ポイント ・乗算登録の「数量」の範囲は、「0.01 ~ 9999.99」です。
・ご購入時の設定は「数量×単価」の順です。「単価×数量」に変えることもできます。設定方法は「強制機能や演算方式を設定する」(117 ページ) の「乗算の入力順」を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的な操作

同じ商品を複数売上登録する(リピート登録)

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	3	部門 2 $\left[\frac{-}{7} \right]$	¥2,000
¥500	2	部門 1 $\left[\frac{+}{6} \right]$	



手順

操作

1 商品の単価を入力して、商品の数量分、部門キーを押します。

3 0 0 $\left[\frac{-}{7} \right]$

$\left[\frac{-}{7} \right]$

$\left[\frac{-}{7} \right]$

2 商品の単価を入力して、商品の数量分、部門キーを押します。

5 0 0 $\left[\frac{+}{6} \right]$

$\left[\frac{+}{6} \right]$

3 $\left[\text{小計} \right]$ を押します。

$\left[\text{小計} \right]$

4 預かり金額を入力して $\left[\text{現/預} \right]$ を押します。

2 0 0 0 $\left[\text{現/預} \right]$

注意 10 回以上のリピート回数は、下 1 桁のみ表示されます。

印字例

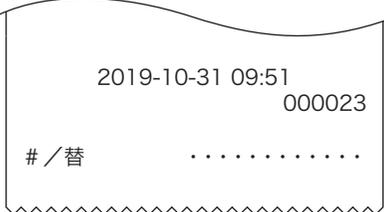
2019-10-31 09:50		
000017		
部門 02		¥300
部門 02		¥300
部門 02		¥300
部門 01		¥500
部門 01		¥500
対象計	10.0%	¥1,900
内税		¥173
合計		¥1,900
お預り		¥2,000
お釣		¥100

基本的な操作

両替などでドロアーを開ける

両替など「取引」以外でドロアーを開けるときの操作です。



手順	操作	印字例
<p>1  を押します。</p> <p>ドロアーが開きます。</p>		

 **ポイント** 両替は、登録操作が完了しているときに数値を入力せずにキーを押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシート・ジャーナルの見方

レシート(ジャーナル)には、レジの操作内容が印字されます。ここでは、レシート(ジャーナル)の見方について説明します。

レシート

店名や住所の設定は、「内容変更できる主な印字項目」(114 ページ)を参照してください。

カシオ商店			1
渋谷区本町 1-6-2			
電話 1234-5678			
2019-10-31 09:23			2
担当 -01		0001-000008	3
部門 02		¥5,780	4
10 点	@128		5
部門 04		¥1,280	6
PLU0027		¥880	7
-		-100	8
部門 03	※	¥2,600	9
部門 04	非	¥3,000	10
小計		¥13,440	
-5%			11
%-	*	-672	
対象計	14 点		12
10.0%		¥7,448	13
内税		¥677	14
対象計※	8.0%	¥2,470	15
内税※		¥183	16
消費税合計		¥860	17
非課税合計		¥2,850	18
合計		¥12,768	19
お預り		¥15,000	20
お釣		¥2,232	21
注)※は軽減税率適用			22
またのご来店を お待ち申し上げます			23

ジャーナル：圧縮印字例

圧縮印字の設定は、「印字項目を設定する 1 / 2」(115 ページ)を参照してください。

2019-10-31 09:23	
担当 -01	0001-000008
部門 02	¥5,780

ジャーナル：通常印字例

10 点	@128	
部門 04		¥1,280
PLU0027		¥880
-		-100
部門 03		¥2,600
部門 04	非	¥3,000
小計		¥13,440
-5%		
%-	*	-672
対象計	14 点	
10.0%		¥7,448
内税		¥677
対象計※	8.0%	¥2,470
内税※		¥183
消費税合計		¥860
非課税合計		¥2,850
合計		¥12,768
お預り		¥15,000
お釣		¥2,232
注)※は軽減税率適用		
2019-10-31 09:23		
担当 -01		0001-000009

- | | | |
|--------------------|------------|--------------|
| 1 店名ロゴ部分 | 9 軽減税率シンボル | 17 消費税合計額 |
| 2 日付/時刻 | 10 非課税シンボル | 18 非課税額 |
| 3 レジ担当者/マシン番号/一連番号 | 11 小計/値引 | 19 合計額 |
| 4 部門登録 | 12 買上点数 | 20 預かり額 |
| 5 個数/単価 | 13 内税対象額 | 21 釣り銭額 |
| 6 乗算登録 | 14 内税額 | 22 軽減税率メッセージ |
| 7 PLU 登録 | 15 内税対象計※ | 23 ボトムメッセージ |
| 8 値引き | 16 内税額※ | |



- ・ご購入時の設定では、レジ担当者を使用できません。担当者の設定方法は、「担当者機能を有効にする」(68 ページ)を参照してください。
- ・ジャーナルの印字は、上記例のように店名ロゴ部分の余白がなく、日付/時刻、レジ担当者/マシン番号/一連番号の後ろと合計の前に、それぞれ 1 行分空きを詰めて印字します。
- ・ジャーナル(営業記録)は、ジャーナル巻き取りホルダーに巻き取ったあとと保管してください。
- ・印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」(114 ページ)を参照してください。
- ・「税 2 内税」「税 2 外税」に設定された部門または PLU が登録されると、「※」シンボルが横に印字され、「お釣」の後に軽減税率のメッセージ「注) ※は軽減税率適用」が印字されます。

キー操作をまちがえたとき

訂正の方法を説明する前に、「取引」と「登録」について説明します。

登録 : 1つの商品の単価・個数を入力した後、部門キーを押してレジに記憶させます。この一連の操作を、商品ひとつひとつの「登録」と呼びます。

取引 : 一人のお客様に対し、すべての商品を「登録」後、お客様からお預かりした金額を入力して **現/預** を押すまでを、ひとつの「取引」と呼びます。

取引中に操作をまちがえた際の訂正方法は、操作の状況に応じて下記4つの方法があります。

部門・取引キーを押す前 **AC C** による置数訂正

「登録」の途中で置数入力のまちがいに気がついた場合、部門キーを押す前であれば、**AC C** を押して入力した単価や個数を取り消します。

部門キーを押した直後 **訂正中止** による直前訂正

1つの商品を「登録」した直後（部門キーを押した直後）にまちがいに気がついた場合、**訂正中止** を押して直前に「登録」した商品のみを取り消します。

取引の途中ですべてを取り消す **小計** **訂正中止** による取引中止

いくつかの商品を「登録」した後、まちがいに気がついて初めからやり直す場合、**小計** を押したあと **訂正中止** を押して、今おこなっている「取引」を中止します。

取引中に何行か前のまちがいを訂正 **戻** による返品処理

いくつかの商品を「登録」した後まちがいに気がつき、まちがえた商品にさかのぼって訂正する場合、**戻** を押してまちがえた商品をいったん返品処理した後、改めて登録し直します。

部門・取引キーを押す前の訂正(置数訂正 **AC C**)

部門キーを押す前は、すべて **AC C** で訂正できます。

操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥120	1	部門1 $+ \frac{1}{6}$	③ ¥3,000
②	¥105	8	部門2 $- \frac{2}{7}$	

上記の登録途中操作をまちがえた



① ¥120 の単価を、¥1,200 に押しまちがえて入力してしまった

手順

操作

1 単価を入力します。(押しまちがえ)

1 2 0 0

2 **AC C** を押します。

AC C

3 正しい単価を入力して部門キーを押します。

1 2 0 $+ \frac{1}{6}$

②乗算登録時に、¥105 の単価を ¥150 に押しまちがえて入力してしまった

手順

操作

1 **AC C** を押します。

8 \times /日時 1 5 0 AC C

2 個数と正しい単価を入力して部門キーを押します。

8 \times /日時 1 0 5 $- \frac{2}{7}$

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

③ ¥3,000 の預かり金を、¥5,000 に押しまちがえて入力してしまった

手順

操作

1 **AC C** を押します。

小計 **5 0 0 0** **AC C**

2 正しい預かり金を入力して **現/預** を押します。

小計 **3 0 0 0** **現/預**



・プリンターに印字される前であれば置数を訂正できますが、印字された後での訂正はできません。(ただし、「レシート印字停止」に設定時は何も印字されないため、印字前/印字後の判断はできません。)

・ここでは「部門キーを押す前の訂正」と「**現/預**を押す前の訂正」を例に説明しましたが、**PLU**、**金額**、**%**、**—**、**信**、**券**、**入金**、**出金** も同様に、キーを押す前であれば **AC C** を押して置数を訂正できます。

部門キーを押した直後の訂正(直前訂正 **訂正中止**)

操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥505	1	部門1 + 1/6	¥2,000
②	¥230	3	部門3 × 3/8	

上記の登録途中操作をまちがえた



① ¥505 の単価を ¥550 に押しまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

手順

操作

1 **訂正中止** を押します。

5 5 0 **+ 1/6** **訂正中止**

2 正しい単価を入力して部門キーを押します。

5 0 5 **+ 1/6**

② 乗算登録時に、¥230 の単価を ¥220 に押しまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

手順

操作

1 **訂正中止** を押します。

3 **×/日時** **2 2 0** **× 3/8** **訂正中止**

2 個数と正しい単価を入力して部門キーを押します。

3 **×/日時** **2 3 0** **× 3/8**

3 **小計** を押し、預かり金を入力して **現/預** を押します。

小計 **2 0 0 0** **現/預**



部門キーと同様に、**PLU**、**金額**、**%**、**—** を押した直後であれば、商品登録や割引き、値引きの取り消しができます。

キー操作をまちがえたとき

印字例

2019-10-31 10:35		000037
部門 01		¥550
訂正		-550
部門 01		¥505
3 点	@220	
部門 03		¥660
訂正		-660
3 点	@230	
部門 03		¥690
対象計	10.0%	¥1,195
内税		¥109
合 計		¥1,195
お預り		¥2,000
お 釣		¥805

取引の途中ですべてを取り消す(取引中止 小計 訂正中止)

取引の途中で初めからやり直す場合は、小計 訂正中止 で一括取り消します。

操作例

単価	数量	部門キー
¥350	12	部門 4 <small>4</small> / <small>9</small>
¥1,280	1	部門 2 <small>2</small> / <small>7</small>

上記の登録途中操作をまちがえた



手順

操作

印字例

1 登録をします。



2 小計 を押してから、訂正中止 を押します。



2019-10-31 10:41		000040
12 点	@350	
部門 04		¥4,200
部門 02		¥1,280
取引中止	

注意 小計 は必ず押してください。押し忘れると最終行だけが訂正されます。(=直前訂正)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

取引中に何行か前のまちがいを訂正する(返品処理)

取引中、登録済みの商品のまちがいに気がついたり、お客様から取消しや変更を求められた場合は、 を使って返品処理をします。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥960	1	部門4 <input type="button" value="÷"/> <input type="button" value="9"/>	¥4,000
¥2,800	1	部門4 <input type="button" value="÷"/> <input type="button" value="9"/>	



¥960の単価を¥990に押しまちがえて部門キーを押し、続けて登録をしてしまった

手順

操作

印字例

- 最初に登録した商品の単価のまちがいを、返品で処理します。
- を押し、まちがえたとおりに同じ内容を入力します。
- 正しい単価を入力して部門キーを押します。
- を押し、預かり金を入力して を押します。

```

2019-10-31 12:45
                                000202
部門 04                        ¥990
部門 04                        ¥2,800
戻 ..... ] 1
部門 04                        -990
部門 04                        ¥960
対象計 10.0%                    ¥3,760
内税                            ¥342
合 計                          ¥3,760
お預り                          ¥4,000
お釣                            ¥240
    
```

1: 訂正後の印字

返品処理をする

レシート発行後に商品の返品があったときは、下記いずれかの方法で返品処理します。

「戻」を使った返品処理

現在売り上げている商品の返品処理は、モードスイッチを「登録」のまま「戻」を使って返品処理をします。
操作方法は、前ページの「取引中に何行か前のまちがいを訂正する(返品処理「戻」)」を参照してください。



「戻」モードを使った返品処理

すでに売り上げた(レシートの発行を終えた)商品の「返品戻し」は、モードスイッチを「戻」の位置に合わせて、売上登録と同じように操作する「戻」モードで返品処理をします。
操作方法は、下記「「戻」モードを使った返品処理」を参照してください。



「戻」モードを使った返品処理

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥780	2	部門1 $\left[\begin{smallmatrix} 1 \\ + \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$	現金
¥1,280	1	部門3 $\left[\begin{smallmatrix} 3 \\ \times \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$	



手順

操作

印字例

- 1 モードスイッチの位置を、「戻」にします。
- 2 登録をします。
 $780 \left[\begin{smallmatrix} + \\ 6 \end{smallmatrix} \right] \left[\begin{smallmatrix} + \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$
 $1280 \left[\begin{smallmatrix} \times \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$
小計 $\left[\begin{smallmatrix} = \\ \text{現/預} \end{smallmatrix} \right]$
- 3 モードスイッチの位置を、「登録」にします。

戻	2019-10-31 10:50	000045
部門01		¥780
部門01		¥780
部門03		¥1,280
対象計	10.0%	¥2,840
内税		¥258
現金		¥2,840



戻モードの処理が終わったら、モードスイッチの位置を「登録」に戻してください。オーナー鍵は精算操作など各種設定ができます。取り付けたままにしないよう注意してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

閉店後の操作～精算

「精算」とは、その日の取引データを集計してレポートを印字した後、元になった取引データをすべてクリア(ゴハン)する処理です。「精算」をすると、レジはレポート印字とデータクリアを続けて処理します。

オーナーはレポートを見て、その日の売上(金額、数量)、取引内容、現金や商品券の在高、レジの操作履歴などを確認できます。(レポートは必要に応じて保管してください。)

精算については、「売上の点検と精算」(57 ページ)を参照してください。



注意 「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。

電子ジャーナルの点検・精算

すべての電子ジャーナルを印字します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

5 8 現/預

現/預

現/預

印字例

点検	2019-10-31 13:56	
担当	-01	0001-000156
0058	電子ジャーナル	X 1
部門 01		¥360 2
	10 点	@128
部門 04		¥1,280
PLU0027		¥300
-		-100
部門 03		¥2,600
部門 04	非	¥3,000

- 1: 種別コード/レポートタイトル/点検シンボル
- 2: ジャーナルの内容

閉店後の操作～精算

1 日の売上を打ち出す

手順

日計明細の精算は、オーナー鍵でモードスイッチの位置を「精算」にして、を押します。



印字例

精算	2019-10-31 10:53	1
	0001-000048	2
0000 日計明細	Z 0002	3
部門 01	505 点	4
44.04%	¥231,167	4
部門 02	411 点	5
39.75%	¥208,689	5
部門 03	32 点	6
2.72%	¥14,297	6
ノンリンク	13 点	7
1%	¥5,283	7

総売	1060 点	8
	¥524,966	8
純売	158 件	9
	¥498,747	9
現金在高	¥405,361	10
券在高	¥2,890	11
信在高	¥37,405	12
対象計	¥330,584	13
内税 10.0%	¥30,053	13
対象計※	¥2,600	14
内税※ 8.0%	¥163	14
消費税合計	¥30,216	15
非課税合計	¥150,451	16
万円	17 枚	17
サービス	¥376	18
取引中止	2 件	19
	¥297	19
戻モード	1 件	20
	¥6,372	20
電卓	18 件	21
領収書 印紙	1 件	22
	¥56,372	22
領収書	2 件	23
	¥23,563	23

- 1 日付/時刻
- 2 マシン番号/一連番号
- 3 コード/レポートタイトル/精算シンボル/精算回数
- 4 部門  : 売上個数、売上構成比(◎)・売上金額
- 5 部門 
- 6 部門 
- 7 部門リンクのない PLU の合計

- 8 総売上: 個数/金額(* 1)
- 9 純売上: 件数/金額(* 2)
- 10 現金在高(* 3)
- 11 商品券在高
- 12 信用売り(キャッシュレス) 在高
- 13 税 1 内税: 対象額(税込み)/消費税額
- 14 税 2 内税: 対象額(税込み)/消費税額
- 15 消費税額の合計
- 16 非課税額合計
- 17 万円券枚数
- 18 5円/10円丸め合計
- 19 取引中止: 件数/金額
- 20 「戻」モード: 件数/金額
- 21 電卓モードの計算回数
- 22 印紙付き領収書: 件数/金額
- 23 印紙無し領収書: 件数/金額

◎印の項目は、ご購入時の標準状態では印字されません。

注意 この操作で電子ジャーナルのデータをクリアします。この操作の前に電子ジャーナルを印字してください。(クリアしない設定に変更することもできます。)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

閉店後の操作～精算

「日計明細」の精算(または点検)をはじめ、本機の点検/精算(57ページ～)で印字される各項目間には、以下の関係式が成り立ちます。

- * 1 総売上=部門合計+部門リンクしていない PLU 合計：個数、金額とも
(部門リンクについては、41 ページを参照してください。)
- * 2 純売上=現金売上額+商品券売上+信用(キャッシュレス)売上
=総売上一値引き-割引-5円/10円丸め合計+外税額
(=お客様の支払い額の総合計)
- * 3 現金在高=現金売上+入金合計-出金合計(券売りでおつりがない場合)
総売上一値引き-割引-5円丸め合計+外税対象額+非課税額合計

現金	48 件	1
	¥405,381	
商品券	1 件	2
	¥2,890	
キャッシュレス	3 件	3
	¥37,405	
入金	1 件	4
	¥10,000	
出金	2 件	5
	¥10,000	
-	6 点	6
	¥32,097	
%-	1 件	7
	¥9,234	
戻	3 件	8
	¥10,873	
訂正	6 件	9
	¥4,905	
レシート	19 件	10
# / 替	3 件	11
強制解除	2 件	12
	¥320	

- 1 現金売上：件数/金額
- 2 商品券売上：件数/金額
- 3 信用売上：件数/金額
- 4 入金：件数/金額
- 5 出金：件数/金額
- 6 値引き：件数/金額
- 7 割引：件数/金額
- 8 戻：回数/金額
- 9 直前訂正：回数/金額
- 10 レシート発行件数
- 11 両替回数
- 12 強制解除：件数/金額

※お買い上げ後は、集計数値が“0”の部門および取引は、その部門および取引の項目が印字されません。



注意 スマートフォン用アプリを使用して精算データをスマートフォンへ送信する設定の場合、スマートフォンへデータ送信できないときは精算ができません。ただし、このとき SD メモリーカードへバックアップ保存ができたときは精算が可能です。精算データをスマートフォンへ送信する設定の場合、SD メモリーカードを使用することをおすすめします。

部門の便利な使い方

部門について

「部門」とは、商品进行分类するもので「部門 1～10」まで選択できます。

例えば、

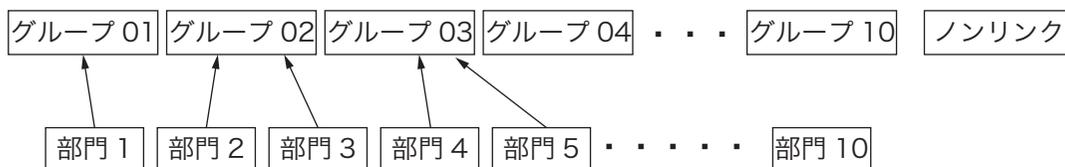
- ・扱う商品进行分类して「部門 1～10」に割り振り、部門ごとに売上を集計する
- ・税計算を正しくおこなうため、「部門 4」：非課税、「部門 7」：外税、それ以外は内税と設定し、レジ打ちの際は商品の課税方式に応じて該当の「部門」に登録する
- ・「部門 1」は ¥100、「部門 2」は ¥200 と設定して、レジ打ちの際の単価入力の手間を省く

など、お店にあった使い方を決めてご活用ください。

部門キーには以下の機能があります。必要に応じて設定してください。

		参照ページ
商品単価	部門キーを押すだけで、設定した単価が登録されます。	70 ページ
消費税	設定した税の種類(内税、外税、非課税)に応じて、税計算をします。	78 ページ
部門名	設定した名称は、レジ打ちの際に本体表示窓とレシート(ジャーナル)に表示されます。	91 ページ
負単価部門	この部門に登録する商品はマイナスとして処理されます。値引きに使うと便利です。	71 ページ
グループリンク	部門の上位にグループ(大分類)を想定し、部門をグループにひも付けます(リンク)。点検の際、グループ別(=いくつかの部門を合算)に集計ができます。初期は「ノンリンク」に設定されています。	71 ページ
入力桁制限	誤登録を防ぐため、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。	72 ページ
単品売り	レジ打ちの際にこの部門に登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して  を押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。(「単品売りの商品」を登録する前、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。)	72 ページ

リンク図式



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

部門の便利な使い方

単価設定した部門キーを用いて商品を登録する

よく使う単価を部門キーに設定できます。単価を部門キーに設定するときは、「部門キーに商品単価を設定する」(70 ページ) を参照してください。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥800(キーに設定済み)	1	部門 2 $\left[\frac{2}{7} \right]$	¥10,000
¥1,200	1	部門 2 $\left[\frac{2}{7} \right]$	
¥800(キーに設定済み)	4	部門 2 $\left[\frac{2}{7} \right]$	



手順

操作

印字例

1 部門キーを押すと、設定された単価で登録されます。



2 設定されている単価と異なる単価で登録する場合は、新しい単価を入力して、部門キーを押します。



3 乗算登録も同様です。



4 $\left[\text{小計} \right]$ を押し、お預かり金を入力して $\left[\text{現/預} \right]$ を押します。



2019-10-31 11:12	
	000062
部門 02	¥800
部門 02	¥1,200
4 点	@800
部門 02	¥3,200
対象計 10.0%	¥5,200
内税	¥473
合計	¥5,200
お預り	¥10,000
お釣	¥4,800



ポイント 手順 2 は、単価設定をしていない場合も同じ操作です。「基本的な操作」(28 ページ) を参照してください。この操作によって、部門キーに設定されている単価が変わることはありません。

部門 6 ～ 部門 10 キーに商品を登録する

操作例

単価	数量	部門キー
¥100	1	部門 6 $\left[\text{部門シフト} \right] \left[\frac{1}{6} \right]$
¥800 (キーに設定済み)	2	部門 9 $\left[\text{部門シフト} \right] \left[\frac{4}{9} \right]$



手順

操作

印字例

1 単価入力の前、または後に $\left[\text{部門シフト} \right]$ を押します。



または



2 設定単価を使用する場合は、 $\left[\text{部門シフト} \right]$ $\left[\text{部門シフト} \right]$ $\left[2 \right]$ $\left[\text{x/日時} \right]$ $\left[\div \right]$ $\left[\frac{4}{9} \right]$ を押して、部門キーを押します。

部門 06	¥100
2 点	@800
部門 09	¥1,600

部門の便利な使い方

部門キーに単価×数量の順で登録する

ご購入時、乗算登録は「数量×単価」の順で入力します。「単価×数量」の入力順に設定するときは、「強制機能や演算方式を設定する」(117 ページ) を参照してください。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門 1 $+ \frac{1}{6}$	¥10,000
¥160	5	部門 2 $- \frac{2}{7}$	
¥500(キーに設定済み)	10	部門 3 $\times \frac{3}{8}$	



手順

操作

印字例

1 商品の単価、 \times /日時、数量、部門キーの順に押します。

3 8 0 \times /日時 8 + $\frac{1}{6}$
 1 6 0 \times /日時 5 - $\frac{2}{7}$

2 設定単価を使用する場合は、 \times /日時を押す前の単価入力は不要です。

\times /日時 1 0 \times $\frac{3}{8}$

3 小計 を押し、お預かり金を入力して 現/預 を押します。

小計 万円 現/預

2019-10-31 11:15		000065
8 点	@380	
部門 01		¥3,040
5 点	@160	
部門 02		¥800
10 点	@500	
部門 03		¥5,000
対象計	10.0%	¥8,840
内税		¥804
合計		¥8,840
お預り		¥10,000
お釣		¥1,160



- ・「単価×数量」の順で乗算登録できるのは、部門キーだけです。
- ・この機能を使用すると、「PLUの乗算登録」「時刻・日付の表示」はできません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の便利な使い方

PLU (Price Look Up) について

PLU (プライス・ルック・アップ) は、あらかじめ決められた商品番号 (PLU 番号) ごとに「商品単価」と「商品名」を覚えさせておくことにより、その番号を指定するだけで商品登録ができる便利な機能です。本機にはご購入時 600 本の PLU があり、最大 600 種の商品を設定できます。登録の際は、PLU 番号を入力して **PLU** を押すと、設定されている商品が登録されます。

点検／精算時には PLU ごとに集計ができ、商品単品の売上状況を確認できます。



たくさんの PLU を使用するお店では、PLU 番号と商品名をまとめた一覧表を作成し、クリアシートなどに入れて見えるところに置いておくとい良いでしょう。

PLU には以下の機能があります。必要に応じて設定してください。

		参照ページ
商品単価	設定した単価が登録されます。	74 ページ
消費税	設定した税の種類 (内税、外税、非課税) に応じて、税計算をします。	78 ページ
商品名	設定した名称は、レジ打ちの際に本体表示窓とレシート (ジャーナル) に表示されます。	91 ページ
負単価 PLU	この PLU はマイナスとして処理されます。値引きに使うと便利です。	75 ページ
部門リンク	PLU を任意の部門にひも付けます (リンク)。点検／精算時に、各 PLU の売上をその部門に合算し、部門トータルとして集計できます。	75 ページ
品番 PLU	「事前に設定しておいた単価」と異なる単価を入力できます。	76 ページ
入力桁制限	品番 PLU として使用する場合に、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。	76 ページ
単品売り	レジ打ちの際にこの PLU を登録すると、そのまま取引が完了します。 (「単品売りの商品」を登録する前、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。)	76 ページ

PLU の便利な使い方

PLU を使って登録する

操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	1	¥10,000
¥150	12	200	
¥1,200	2	2	



手順

操作

- 1 PLU 番号を入力して **PLU** を押すと、設定された単価で登録されます。
- 2 乗算登録は最初に個数を入力します。
- 3 リピート登録は個数分 **PLU** を押します。
- 4 **小計** を押し、お預かり金を入力して **現/預** を押します。



印字例

2019-10-31 11:25	
	000067
PLU0001	¥2,000
12 点	@150
PLU0200	¥1,800
PLU0002	¥1,200
PLU0002	¥1,200
対象計 10.0%	¥6,200
内税	¥564
合計	¥6,200
お預り	¥10,000
お釣	¥3,800

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の便利な使い方

品番 PLU 機能とは？

「品番 PLU」は、1つの商品を「異なる単価」で登録する場合に使います。任意の PLU を「品番 PLU」として設定できます。

レジ打ちの際は、該当する PLU 番号を入力して **PLU** を押したあと、単価を入力して **金額** を押します。(単価を入力せずにそのまま **金額** を押すと、PLU に設定されている単価が登録されます。)

品番 PLU の設定は、「PLU に「単品売り」と「品番 PLU」を設定する」(76 ページ)を参照してください。

品番 PLU を使って登録する

操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	303(品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480(単価設定済み)	1	111(品番 PLU 設定済み)	



手順

- 品番、**PLU**、単価、**金額** の順に押します。
- リピート登録は、個数分 **金額** を押します。
- 乗算登録は、最初に個数を入力します。
- 設定単価を使う場合は、単価を入力せずに **金額** を押します。
- 小計** を押し、お預かり金を入力して **現/預** を押します。

操作

3 0 3 **PLU**
8 5 0 **金額**
金額
9 **X/日時** **2 8** **PLU**
9 8 **金額**
1 1 1 **PLU** **金額**
小計 **4 0 0 0** **現/預**

印字例

2019-10-31 11:27	
	000069
PLU0303	¥850
PLU0303	¥850
9 点	@98
PLU0028	¥882
PLU0111	¥480
対象計 10.0%	¥3,062
内税	¥278
合計	¥3,062
お預り	¥4,000
お釣	¥938

割引きをする

商品ごとに割引きをする

売り上げる商品を登録したあと、その商品の割引きができます。

操作例

単価	数量	部門キー	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 1 \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$	5%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$	7.5%	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 1 \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$

2 割引き率を入力して、 $\left[\text{\%} \right]$ を押し
ます。
直前に登録した商品の割引き計算
をします。

5 $\left[\text{\%} \right]$

3 同様に、次の商品を登録して割引
きをします。

2 5 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$

7 . 5 $\left[\text{\%} \right]$

4 $\left[\text{小計} \right]$ を押し、お預かり金を入力し
て $\left[\text{現/預} \right]$ を押しします。

小計 5 0 0 0 0 $\left[\text{現/預} \right]$

部門 01		¥1,000
-5%		-50
部門 03		¥2,500
-7.5%		-188
対象計	10.0%	¥3,262
内税		¥297
合計		¥3,262
お預り		¥5,000
お釣		¥1,738

合計金額から割引きをする

$\left[\text{小計} \right]$ を押したあとに割引きをすると、売り上げた商品の合計に対する割引きをします。

操作例

単価	数量	部門キー	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 1 \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$		



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 1 \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$

2 $\left[\text{小計} \right]$ を押し、割引き率を入力し
て $\left[\text{\%} \right]$ を押しします。

2 5 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$

小計 1 0 $\left[\text{\%} \right]$

3 $\left[\text{小計} \right]$ を押し、お預かり金を入力
して $\left[\text{現/預} \right]$ を押しします。

小計 5 0 0 0 0 $\left[\text{現/預} \right]$

部門 01		¥1,000
部門 03		¥2,500
小計		¥3,500
10%		
%-	*	-350
対象計	10.0%	¥3,150
内税		¥286
合計		¥3,150
お預り		¥5,000
お釣		¥1,850



- ・ $\left[\text{\%} \right]$ に、あらかじめ「割引き率」を設定できます。事前に「割引き率 5%」を設定しておくとし、 $\left[5 \right]$ を入力せずに $\left[\text{\%} \right]$ を押すだけで 5% を割引きます。
- ・ 1 円未満の端数は「四捨五入」ですが、「切り上げ」「切り捨て」の設定もできます。
- ・ 割引き率の設定は、「割引き率、値引き金額をそれぞれのキーに設定する」(90 ページ)を参照してください。
- ・ 端数の設定は、「 $\left[\text{\%} \right]$ 」(113 ページ)を参照してください。
- ・ $\left[\text{\%} \right]$ を割増しとして使用する設定は、「 $\left[\text{\%} \right]$ 」(113 ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

値引きをする

合計金額から \ominus で値引きをする

値引きをするときは \ominus で登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	値引き額	預かり金
¥1,000	1	部門1 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門3 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$		



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$

2 $\left[\text{小計} \right]$ を押します。

2 5 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \\ 8 \end{smallmatrix} \right]$

3 値引き額を入力して、 \ominus を押します。

小計 $\left[\text{小計} \right]$
5 0 0 $\left[\ominus \right]$

4 $\left[\text{小計} \right]$ を押し、お預かり金を入力して $\left[\text{現/預} \right]$ を押します。

小計 5 0 0 0 $\left[\text{現/預} \right]$

部門 01		¥1,000
部門 03		¥2,500
-	*	-500
対象計	10.0%	¥3,000
内税		¥273
合計		¥3,000
お預り		¥5,000
お釣		¥2,000



- ・ \ominus に、あらかじめ「値引き金額」を設定できます。事前に値引き金額を設定しておくで、手順 2 で \ominus を押すだけで設定金額を値引きします。
- ・ \ominus の設定は、「割引率、値引き金額をそれぞれのキーに設定する」(90 ページ)を参照してください。

合計の 10 円未満の端数を自動値引きする

丸めの設定をすると、合計金額を「5 円単位」または「10 円単位」に丸めて自動値引きできます。

操作例

10 円未満の端数値引きで、商品を買ります。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,281	1	部門4 $\left[\begin{smallmatrix} \div \\ 4 \\ 9 \end{smallmatrix} \right]$	¥10,500
¥1,502	1	部門1 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$	
¥2,380	1	部門2 $\left[\begin{smallmatrix} - \\ 2 \\ 7 \end{smallmatrix} \right]$	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 2 8 1 $\left[\begin{smallmatrix} \div \\ 4 \\ 9 \end{smallmatrix} \right]$

2 端数を丸めて合計処理します。

1 5 0 2 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 6 \end{smallmatrix} \right]$

3 お預かり金を入力して、 $\left[\text{現/預} \right]$ を押します。

2 3 8 0 $\left[\begin{smallmatrix} - \\ 2 \\ 7 \end{smallmatrix} \right]$
小計 $\left[\text{小計} \right]$
万円 5 0 0 $\left[\text{現/預} \right]$

部門 04		¥1,281
部門 01		¥1,502
部門 02		¥2,380
対象計	10.0%	¥5,163
内税		¥496
小計		¥5,163
サービス		-3
合計		¥5,160
お預り		¥10,500
お釣		¥5,340

- 1: 丸め前の金額
- 2: 丸め値引き金額
- 3: 丸め後の金額



- ・「10 円丸め」は「1～9 円→0 円」に、「5 円丸め」は「1～4 円→0 円 / 5～9 円→5 円」に丸めます。丸めた差額が自動値引きされ、レシートに「サービス金額」として印字されます。差額がないときは、「サービス金額」の印字をスキップします。
- ・丸めの設定は、「10 円丸め・5 円丸めを設定する」(90 ページ)を参照してください。

万円キーを使う／日時の表示

万円キーの使い方

1万円以上の金額を入力するときは **万円** を使うと便利です。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門3 $\times \begin{matrix} 3 \\ 8 \end{matrix}$	¥40,000
¥20,550	1	部門4 $\div \begin{matrix} 4 \\ 9 \end{matrix}$	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

万円 $\times \begin{matrix} 3 \\ 8 \end{matrix}$

2 預かり金を登録します。

2 **万円** **550** $\div \begin{matrix} 4 \\ 9 \end{matrix}$

小計 **4** **万円** **現/預**

部門03		¥10,000
部門04		¥20,550
対象計	10.0%	¥30,550
内税		¥2,777
合計		¥30,550
お預り		¥40,000
お釣		¥9,450

万円 の前に1万円札の枚数を入力してください。



預かり金処理で **万円** を使うと、点検/精算レポートに「一万円札」の枚数が印字されます。(商品登録時の使用はカウントされません。)

日付と時刻を表示する

モードスイッチの位置を「登録」または「戻」にして **日時** を押し、日付と時刻を表示します。**AC C** を押しと元に戻ります。

日付と時刻のセットは、「日付をセットする」、「時刻をセットする」(68ページ)を参照してください。



・登録途中、日付と時刻は表示できません。
・日付、時刻の表示中に、他の操作はできません。

手順

操作

表示例

1 日付・時刻を確認します。

日時



1: 年/月/日
2: 時(24 / 12 時間制) / 分
3: 1秒ごとの点滅(秒表示も可能)

2 日付・時刻表示を解除します。

AC C

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

入金処理と出金処理

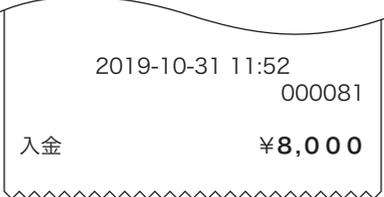
売上とは関係ない現金をドローアに入れる

掛け売り代金の受け取りや釣銭用小銭の補充など、売上とは関係ない現金をドローアに入れる(=入金)ときは、**入金**で登録して記録を残します。

この操作で、点検/精算時にドローア内の現金在高を正確に把握できます。

操作例

釣り銭準備として 8,000 円をドローアに入れます。

手順	操作	印字例
1 入金額を入力して、 入金 を押します。	8 0 0 0 入金	

売上とは関係ない現金をドローアから出す

集金や、ドローアがいっぱいになったときなど、売上とは関係ない現金をドローアから出す(=出金)ときは、**出金**で登録して記録を残します。

この操作で、点検/精算時にドローア内の現金在高を正確に把握できます。

操作例

1万円札を 15 枚ドローアから金庫に移します。

手順	操作	印字例
1 出金額を入力して、 出金 を押します。	1 5 万円 出金	

番号を印字する／レシートの発行と停止

伝票番号や商品コードを印字する

レシートに売上金額ではない数値(伝票番号、商品コード、お客様番号、電話番号など)を印字できます(番号印字)。印字できる数値は最大 14 桁です。

操作例

お客様番号 <1001> に下記の商品进行

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門 1 <input type="text" value="+ 1"/>	¥20,000
¥3,500	1	部門 3 <input type="text" value="× 3"/>	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門 2 <input type="text" value="- 2"/>	



手順

操作

印字例

- お客様番号を入力して、 を押します。
- 商品を登録します。
- 商品コードを入力して、 を押します。
- 商品を登録します。
- を押し、お預かり金を入力して を押します。

1 0 0 1

1 2 3 0

3 5 0 0

5 3 3 4

4 8 3 0

8 8 0 0

2 万円

/ 替 1001 1

2019-10-31 11:40
000074

部門 01 ¥1,230
部門 03 ¥3,500
/ 替 53344830 2
部門 02 ¥8,800
対象計 10.0% ¥13,530
内税 ¥1,230
合計 ¥13,530
お預り ¥20,000
お釣 ¥6,470

1: お客様番号
2: 商品コード

レシートの発行／停止と後レシート発行

節約モード を使った発行と停止の切り替え

プリンターをレシート発行用として使用中に を押すと、レシートを発行する／しない(停止)の切り替えができます。

現在の設定は、本体表示窓のレシート発行シンボル(■)のあり／なしで確認できます。(シンボルありでレシートを発行します。)

レシート発行 を使った後レシート発行

レシート発行しない(停止)設定にすると、レシートは発行されません。取引後にお客様からレシートの発行を求められた場合は、 を押して直前取引のレシートを発行できます。

注意 プリンターをジャーナル発行用として使用中の後レシート発行はできません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品券／キャッシュレスの売上

商品券で売り上げる

商品券(券売り)での売上は、**券** で登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門2 (- 2/7)	¥5000 の商品券



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

2 3 8 0

- 2/7 - 2/7 小計

2 商品券の預かり金額を入力して、**券** を押します。

5 0 0 0 券

2019-10-31 13:37		000208
部門 02		¥2,380
部門 02		¥2,380
対象計	10.0%	¥4,760
内税		¥433
合計		¥4,760
商品券		¥5,000
お釣		¥240

1: 券売りの預かり額

クレジットやQRコード決済などの信用売りで売り上げる

クレジットやQRコード決済などの売上は、**信** で登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門1 (+ 1/6)	なし(キャッシュレス)



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

3 万円

5 0 0 0 0 + 1/6 小計

2 **信** を押します。

信

2019-10-31 13:40		000210
部門 01		¥35,000
対象計	10.0%	¥35,000
内税		¥3,182
キャッシュレス		¥35,000

1: 信用売り

混在する支払い方法の売上

一部を商品券・残りを現金で売り上げる

登録終了時(締め)に使う 現/預、 券、 信 は、1つに限定する必要はありません。商品券と現金、商品券とキャッシュレスなどの、組み合わせた売上を処理します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2 <input type="text" value="- 2 7"/>	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門 1 <input type="text" value="+ 1 6"/>	現金 ¥1,500



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

2 商品券の預かり金額を入力して、 券 を押します。

3 現金の預かり金額を入力して、 現/預 を押します。

2019-10-31 13:43		000212
部門 02		¥2,350
部門 01		¥3,820
対象計	10.0%	¥6,170
内税		¥561
合計		¥6,170
商品券		¥5,000
お預り		¥1,500
お釣		¥330

- 1: 商品券分
- 2: 現金預かり分
- 3: おつり



ポイント 一部入金を「不可」に設定すると、小計額よりも少ない預かり金を入力した場合に警告音(エラーブザー)を鳴らすことができます。設定は、「 券 信」(110 ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

領収書を発行する

取引直後に領収書を発行する

領収書を発行するときは、売上レシートを発行した後に  キーを押します。レシートが「停止」状態であっても発行できます。ジャーナルでお使いの場合は領収書を発行できません。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥60,000	1	部門 1 	¥60,000



手順

操作

印字例

- 商品を登録します。

- 預かり金額を入力して、
 を押します。

-  を押します。


カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

2019-10-31 10:02
000025 — 1

部門 01	¥60,000
対象計 10.0%	¥60,000
内税	¥5,455
合計	¥60,000
お預り	¥60,000
お釣	¥0

1: レシート一連番号



- ・弊社 Web(<https://casio.jp/support/ecr/>) からダウンロードしたパソコンのレジスターツールで、領収書に店名ロゴ・住所などを印字できます。(別途 SD メモリーカードが必要です)
- ・同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償)でも承っています。

領収書印字例

2019年10月31日

1 — 一連 No. 000025

2 — 領収 No. 000004

領 収 書

様

¥60,000 —

(但し	として正に領収致しました)	対象計 10.0% ¥60,000
印刷面を内側に折って保管願います		内税 ¥5,455

印

7 — 収入印紙

カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

- | | | |
|---------------|---------------------------|-----------|
| 1 レシート一連番号 | 4 領収書中の税額 | 7 収入印紙貼付欄 |
| 2 領収書一連番号 | 5 但し書き (ご購入時の設定は「印字無し」です) | |
| 3 お客様名を書き込みます | 6 店名ロゴ部分 | |



- ・ご購入時の設定では、税抜金額 ¥50,000 以上の場合収入印紙貼付欄が印字されます。¥50,000 未満の場合は印字されません。
- ・但し書きをご購入時の設定「印字無し」のままご使用の場合は、手書きで記入してください。
- ・印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」(114 ページ)を参照してください。

領収書を発行する

金額指定の領収書発行

金額を入力して、領収書の発行ができます。



手順

操作

1 領収書の額面金額を入力して、を押します。

5000 

領収書印字例

2019年10月31日 一連 No. 000025 領収 No. 000004	領 収 書	
	様	
	¥5,000-	印
(但し として正に領収致しました) 印刷面を内側に折って保管願います		
カシオ商店	渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678	



- ・取引中にこの操作はできません。取引が完了してから発行処理をしてください。
- ・税額は印字されません。
- ・ご購入時の設定では、金額 ¥50,000 以上の場合、収入印紙貼付欄が印字されます。¥50,000 未満の場合は印字されません。
- ・印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」(114 ページ) を参照してください。

領収書発行時のレシート用紙のご注意

- 領収書には、高保存タイプのロールペーパーの使用をお勧めします。
- 感熱記録紙(サーマル用紙)は、通常紙に比べて吸湿性が劣る傾向があります。収入印紙貼付後や捺印後は、すぐに擦ったりしないでください。
- 感熱記録紙(サーマル用紙)は、強い光に当てると印字が見えにくくなります。保管・保存には注意してください。
- お客様にお渡しするときは、「汚れ防止」と「光から遮断」のため、印字面を内側に2つ折りにしてお渡ししてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

担当者機能を使う

レジ担当者機能とは

担当者機能を「使用する」に設定すると、レジ操作時は最初に担当者番号を入力して **担当者** を押す必要があります。この手順を省くとレジを使用できません。

- ・ スタッフごとに担当者番号を決めておくことで誰がレジを操作したかを明確にでき、担当者名をレシートに印字したり、担当者別に売上を集計できます。
- ・ ご購入時、担当者番号は01～10に設定されています。任意の4桁の数字に変更してパスワード(暗証番号)としてご使用いただければ、セキュリティの向上を図れます。

 **ポイント** ご購入時の設定では、担当者機能は使用しないに設定されています。設定を変更する場合は、「担当者機能を有効にする」(68 ページ) を参照してください。

レジ担当者を使う場合の登録手順

レジスターに担当者が指定されている状態を「サインオン」状態、指定されていない状態を「サインオフ」状態と呼びます。

操作例

担当者 -01 をサインオンします。



手順

操作

- 1** 担当者番号を入力して、 **担当者** を押します。
これでレジが使える状態になります。



 **ポイント** パスワードとして使用する場合は、担当者番号を入力する前に **担当者** を押すと、表示窓に担当者番号を表示しません。

操作例

担当者 -01 をサインオフします。

手順

操作

- 1** ゼロを入力して、 **担当者** を押します。
レジは使えなくなります。

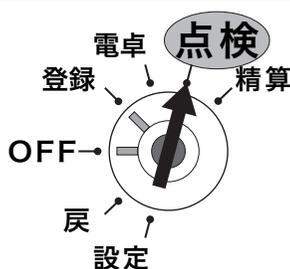


 **ポイント** ・ レシートに印字する担当者の名前を変更する場合は、「レジ担当者の名前を設定する」(104 ページ) を参照してください。
・ 担当者がサインオン時の番号(ご購入時は担当者番号と同じ)を、任意の4桁の数字(0001～9999)に変更できます。設定は「担当者番号にパスワードを設定する」(125 ページ) を参照してください。
・ 印字例は、「レシート・ジャーナルの見方」(32 ページ) を参照してください。

売上の点検と精算

点検とは、営業中にその日の途中経過を確認する操作です。

点検時のモードスイッチ位置



モードスイッチ位置を「点検」にすると、本体表示窓の「点検」の位置にシンボル(■)が表示されます。

点検をしても、それまでのデータはクリア(ゴハサン)されません。

レポート名称とその内容

●日計明細

1日の最後に必ず精算してください。

売上総額、ドローア内の現金在高、税額総計等、取引別の内容(現金、商品券、キャッシュレス等や割引き、値引き、入出金)、部門別の売上状況、レジ担当者別の扱い金額などを集計します。

●期間集計 1

週単位や月単位など、一定期間の売上を累積できます。「期間」は、レジに何かの値を設定するのではなく、期間集計 1 を精算して以降の売上を、自動で累積し続けます。週単位であれば「週末の閉店後」、月単位であれば「月末の閉店後」などの運用ルールを決め、定期的に期間集計 1 を精算してください。

●期間集計 2

期間集計 1 とは別に、もう 1 つ期間集計できます。例えば、キャンペーン期間中や半年分など、期間集計 1 とは異なる期間の集計にご使用ください。操作方法は期間集計 1 と同じです。

●PLU

個々の商品別の売上金額と売上数量を集計します。

●時間帯別

一日の売上を時間帯別に集計できます。

●月間日別

1 か月の売上を日付別に集計できます。

●グループ

数個の部門をグループにまとめて合計を集計します。

●売上/在高

売上と在高(ドローア内の現金などの合計)をワンタッチで知ることができます。

●個別(部門/PLU)

知りたい部門や PLU を指定して見ることができます。

●電子ジャーナル

電子的に記録された営業記録(ジャーナル)を印字します。開始日付、開始一連番号を指定できます。ご購入時の設定では、電子ジャーナルの記録は「日計明細の精算」により消去されます。

- ・電子ジャーナルを消去せず残す場合は、「日計明細の精算で電子ジャーナルをクリアしない設定」(119 ページ) にしてください。このとき、電子ジャーナルがいっぱいになると以降の記録はできません。
- ・電子ジャーナルの空き容量が少なくなると通知されます。できるだけ早く精算してください。(精算すると電子ジャーナルの記録は自動でクリアされます。)
- ・電子ジャーナルは SD メモリーカードへ保存することができます。(132 ページ)
- ・電子ジャーナルは印刷して保存しておきましょう。印刷をせず、電子ジャーナルを電子データとして保存する場合には、税務署に事前に申請する必要があります。



- ・グループ集計は、「部門」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。(71 ページ)
- ・「明細レポートへの売上構成比」を「印字する」に設定します。(115 ページ)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

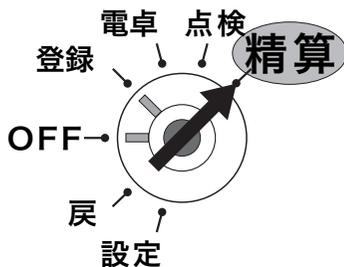
設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

精算とは、閉店後に売上データを集計してレポート印字したあと、元になったデータをクリア(ゴハサン)にする操作です。

精算時のモードスイッチ位置



モードスイッチ位置を「精算」にすると、本体表示窓の「精算」の位置にシンボル(■)が表示されます。

レポートとキー操作

点検または精算は、モードスイッチ位置を「点検」または「精算」にして以下のキーで操作します。点検・精算によって、メモリの中に集計された内容が印字出力されます。これを「レポート」と呼びます。

レポート名称	キー操作	点検	精算	取引データをクリアする操作(精算)	参照ページ
日計明細	<input type="checkbox"/> 現/預	○	○	日計明細の精算 ・電子ジャーナル消去 (印字せず)	39
売上/在高 部門個別	<input checked="" type="checkbox"/> 日時 部門キー、・・・最後に <input type="checkbox"/> 小計	○	×		59、60
期間集計 1 明細	<input type="checkbox"/> 100 現/預	○	○	←の精算	59
期間集計 2 明細	<input type="checkbox"/> 200 現/預	○	○	←の精算	
PLU	<input type="checkbox"/> 1 現/預	○	○	←の精算	61
PLU 個別	PLU 番号 <input type="checkbox"/> PLU、 ・・・最後に <input type="checkbox"/> 小計	○	×		
時間帯別	<input type="checkbox"/> 2 現/預	○	○	←の精算	62、63
月間日別	<input type="checkbox"/> 3 現/預	○	○	←の精算	
グループ別	<input type="checkbox"/> 6 現/預	○	○		
電子ジャーナル					
(区間指定)	<input type="checkbox"/> 58 現/預 開始日付 <input type="checkbox"/> 現/預 (※ 1) 開始一連番号 <input type="checkbox"/> 現/預 (※ 1)	○	×	・←の精算 ・「日計明細」の精算(※ 2) ・電子ジャーナル消去(※ 3)	38、64

※ 1 開始日付と開始一連番号は、一方、または両方の入力を省くことができます。両方省く場合は、 58 現/預 現/預 現/預 と入力してください。電子ジャーナルに記録されているすべてのデータが印字されます。

※ 2 ご購入時の設定では、「日計明細の精算」によってクリアされます。クリアしない設定は、「電子ジャーナル」(119 ページ)を参照してください。

※ 3 印字せずに消去します。モードスイッチ位置を「精算」にして、 40058 現/預 と入力してください。

※ レポートには、集計された内容のほか「種別コード」・「レポートタイトル」などが印字されます。点検時は、印字シンボル「X」、精算時には印字シンボル「Z」が印字されます。精算レポートによっては、累積発行数(精算回数と呼びます)を印字します。

※長いレポートを途中で止めたい場合は…

強制解除 を 2 回押します。(止まるまで数秒かかるときもあります。)

売上の点検と精算

日計明細／期間集計の点検・精算

点検 精算

手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。

2 次の操作をします。

日計は

現/預

期間集計 1 は

1 0 0 現/預

期間集計 2 は

2 0 0 現/預

印字例

精算 2019-10-31 10:53		
担当 -01 0001-000048		
0000 日計明細	Z 0002	1
部門 01	505 点	2
44.04%	¥231,167	3
部門 02	411 点	
39.75%	¥208,689	
部門 03	32 点	
0.70%	¥14,297	

担当 -01	138 件	4
	¥309,873	5
担当 -02	20 件	
	¥188,874	

- 1: レポートタイトル、コード／精算シンボル／精算回数
- 2: 部門名／売上個数
- 3: 売上構成比・売上金額
- 4: 担当者 -01 純売上任数
- 5: 担当者 -01 純売上金額

印字例は日計明細の精算です。

※期間集計 1 および期間集計 2 の印字は、精算(点検)シンボルが、「XX」または「ZZ」になります。(以外の印字は変わりません。)

売上／在 high の点検

点検

手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。

2 日時 を押します。

日時

印字例

点検 2019-10-31 19:30		
担当 -01 0001-000370		
在売点検	X	1
総売上	1059 個	2
	¥524,966	3
純売上	158 件	4
	¥498,747	5
現金在高	¥405,361	6
券在高	¥2,890	7
信在高	¥37,405	8

- 1: レポートタイトル／点検シンボル
- 2: 総売上任数
- 3: 総売上金額
- 4: 純売上任数(客数)
- 5: 純売上金額
- 6: 現金在高
- 7: 商品券在高
- 8: 信用売り(キャッシュレス)在高

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

部門個別の点検

操作例

部門 1 $\boxed{+1}$ 、3 $\boxed{\times 3}$ 、7 $\boxed{-7}$ の売上金額を確認します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。

2 点検する部門キーを押します。



3 小計を押します。



印字例

点検	2019-10-31 19:23	
担当 -01	0001-000369	
	X	1
部門 01	38 点	2
	¥25,753	3
部門 03	23.6 点	4
	¥22,957	
部門 07	50 点	5
	¥23,523	
合計	111.6 点	6
	¥72,233	7

- 1: 点検シンボル
- 2: 部門 01 名称/個数
- 3: 部門 01 金額
- 4: 部門 03
- 5: 部門 07
- 6: 点検分の合計個数
- 7: 合計金額

グループ別集計の点検・精算

手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。

2 次の操作をします。



印字例

点検	2019-10-31 13:56	
担当 -01	0001-000156	
0016 グループ	X	1
グループ 01	47 点	2
4.89%	¥14,582	
グループ 02	38 点	3
5.24%	¥15,624	
グループ 03	54 点	4
5.39%	¥16,062	
グループ 05	89 点	5
14.61%	¥43,528	
グループ 06	7 点	6
	¥3,527	
グループ 08	11 点	7
2.03%	¥6,073	
グループ 09	9 点	8
1.61%	¥4,813	
グループ 10	7 点	9
1.32%	¥3,955	
合計	576 点	10
99.87%	¥297,836	11

- 1: 機種コード/レポートタイトル/点検シンボル
- 2: グループ 01 / 個数/構成比/金額
- 3: グループ 02
- 4: グループ 03
- 5: グループ 05
- 6: グループ 06
- 7: グループ 08
- 8: グループ 09
- 9: グループ 10
- 10: 点検分の合計個数
- 11: 点検分の合計金額

売上の点検と精算

PLU の点検・精算

点検 精算

手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。
 - 1 

印字例

精算 2019-10-31 21:15		
担当 -01 0001-09543		
0014 PLU	Z 0001	1
PLU0001	126 点	2
1.23%	¥38,430	2
PLU0003	94 点	3
0.95%	¥29,892	3
PLU0007	162 点	4
1.13%	¥35,324	4
PLU0016	141 点	
1.02%	¥57,246	

合計	4,163 点	5
10.23%	¥1,872,484	6

- 1: 種別コード／レポートタイトル／精算シンボル／精算回数
 - 2: PLU001 名称／個数／構成比／金額
 - 3: PLU003
 - 4: PLU007
 - 5: 全 PLU の合計個数
 - 6: 構成比／合計金額
- ※構成比は、総売上に対する個々の比率です。
※集計数値のない PLU は印字をスキップします。

PLU 個別の点検

操作例

PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認します。

点検

手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。
- 2 PLU 番号を入力して、 を押します。次の PLU を点検するときは、番号を入力せずに  を押します。
 - 1     
 - 2    
- 3  を押します。
 - 小計 

印字例

点検 2019-10-31 19:30		
担当 -01 0001-000380		
	X	1
PLU0111	10 点	2
	¥1,200	3
PLU0112	4 点	4
	¥520	4
PLU0200	17 点	5
	¥1,700	5

合計	88 点	6
	¥12,562	7

- 1: 点検シンボル
- 2: PLU111 名称／個数
- 3: PLU111 金額
- 4: PLU112
- 5: PLU200
- 6: 点検分の合計個数
- 7: 合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

時間帯別集計の点検・精算



手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。

2 次の操作をします。



印字例

精算	2019-10-31 21:26	
担当 -01	0001-017251	
0019 時間帯	Z 0004	1
07:00 - 8:00	13 件 ¥30,230	2
08:00 - 9:00	35 件 ¥107,380	3
09:00 - 10:00	123 件 ¥339,940	4
10:00 - 11:00	307 件 ¥918,350	5
11:00 - 12:00	346 件 ¥998,030	6
20:00 - 21:00	186 件 ¥532,040	7
21:00 - 22:00	24 件 ¥73,340	8
22:00 - 23:00	2 件 ¥5,340	9
合計	5,773 件 ¥17,058,650	10

- 1: 種別コード/レポートタイトル / 精算シンボル/精算回数
 - 2: 時間帯 07:00 ~ 08:00
 - 3: 時間帯 08:00 ~ 09:00
 - 4: 時間帯 09:00 ~ 10:00
 - 5: 時間帯 10:00 ~ 11:00
 - 6: 時間帯 11:00 ~ 12:00
 - 7: 時間帯 20:00 ~ 21:00
 - 8: 時間帯 21:00 ~ 22:00
 - 9: 時間帯 22:00 ~ 23:00
 - 10: 時間帯総合計/純売上金額合計
- ※集計数値のない日付は印字をスキップします。

売上の点検と精算

月間日別集計の点検・精算



手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。

2 次の操作をします。

3 現/預

印字例

精算	2019-10-31	20:46
担当	-01	0001-023652
0020	月間日別	Z 0003
1	191 件
		¥564,360
2	179 件
		¥532,250
3	236 件
		¥712,560
4	261 件
29	305 件
		¥903,260
30	215 件
		¥641,070

合計		5,773 件
		¥17,058,650

- 1: 種別コード/レポートタイトル/精算シンボル/精算回数
 - 2: 1日/売上任数/純売上金額
 - 3: 2日
 - 4: 3日
 - 5: 29日
 - 6: 30日
 - 7: 月間日別件数合計
 - 8: 純売上合計
- ※集計数値のない日付は印字をスキップします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

電子ジャーナルの区間点検

ある決まった日付や一連番号からのジャーナルを印字します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。

2 次の操作をします。

開始日付の指定(例: 2019/6/1 以降)

5 8

1 9 0 6 0 1

開始一連番号の指定(例: 100 番以降)

1 0 0

※開始日付、開始一連番号の指定を省く場合は、数値を入力せずにそのまま を押します。

※開始一連番号は、最大6桁です。

 **ポイント** 電子ジャーナルは約1万行記録できます。

電子ジャーナルの消去

電子ジャーナルを印字せずに消去します。



手順

操作

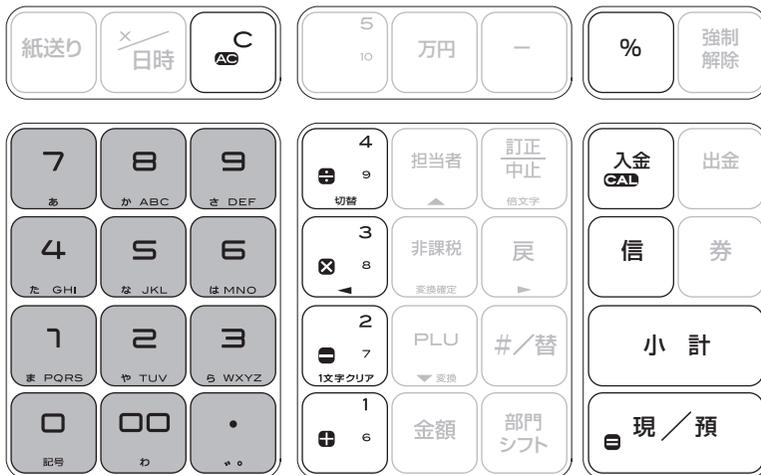
1 モードスイッチの位置を、「精算」にします。

2 次の操作をします。

4 0 0 5 8

電卓機能の使い方

モードスイッチの位置を「電卓」にすると、下図のキーで電卓と同様に計算できます。そのほかにも便利な機能があります。ご活用ください。



注意 10桁(負数のときは9桁)を超えるとエラーになります。

- ・計算命令キーは、上記のほか \ominus が減算に、 \times が乗算に使用できます。
- ・電卓モード中は、 $\#$ を押すとドロアーが開きます。

税抜き金額・税額を計算する

信

1,500円の税抜き金額と内税額は？
 (「税1」が税率10%、内税、端数四捨五入の場合)



操作

AC C 1 5 0 0 信

(続けて)

信

表示例

1364.

税抜き金額

136.

内税額

- ・税計算は、「税1」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されます。設定内容によって、求められる答は異なります。
- ・端数処理の設定については、「税額の1円未満の端数処理を設定する」(85ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方

% を使って計算する



% を使うと下表の計算が簡単にできます。



	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a 円の b % を求める	a $\left(\frac{\square}{\square}\right)$ b %	$a \cdot b / 100$
割増計算	a 円の b % 増しを求める	a $\left(\frac{\square}{\square}\right)$ b % $\left(+\frac{\square}{\square}\right)$	$a + (a \cdot b / 100)$
割引計算	a 円の b % 引きを求める	a $\left(\frac{\square}{\square}\right)$ b % $\left(-\right)$	$a - (a \cdot b / 100)$
比率計算	a 円は b 円の何%かを求める	a $\left(\frac{\square}{\square}\right)$ b %	$a / b \cdot 100$
増減比率計算	b 円から a 円に変化したときの b 円に対する変化率を求める	a $\left(-\right)$ b %	$(a - b) / b \cdot 100$
売価設定計算	原価 a 円の商品を利益率 b % で販売するときの売価を求める	a $\left(+\frac{\square}{\square}\right)$ b %	$a / (1 - b / 100)$

単価を計算する

「税込み商品(内税10%)の単価が、軽減税率8%ではいくらになるか？」
 今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

操作例

現在、税込1万円(内税10%)の商品が、税率8%になるといくらになるか。



操作

1 0 0 0 0

信

$\times \frac{3}{8} 8 \%$

$+ \frac{1}{6}$

表示例

電卓
 10000

9091

「10000」の税抜き価格(税率10%)

7272.8

「9091」の8%分

9818.2.8

税率(8%)での税込価格

電卓機能の使い方

呼び出し機能を使って計算する

入金
CAL

操作例

以下の商品の売上合計を4人で割り勘にします。

- ・部門1キーに登録されている単価930円の商品を4個お買い上げ
- ・部門2キーに登録されている単価1,240円の商品を1個お買い上げ



手順

操作

表示例

1 モードスイッチの位置を、「登録」にします。

4 \times /日時 9 3 0 + 1/6
1 2 4 0 - 2/7

部門01
- 3,720

商品を登録します。

部門02
- 1,240

2 を押します。

小計
- 4,960

合計金額

3 モードスイッチの位置を、「電卓」にします。

- 4,960

を押します。

呼び出された合計金額

4 割り勘の計算をします。

\div 4/9

=
- 1,240

1人当たり割り勘額

5 モードスイッチの位置を、「登録」にします。

小計
- 4,960

合計金額



- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額(を押したときに表示される数値)です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答(「イコール」で求められた数値)です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

日付／時刻／担当者機能の設定

日付をセットする

操作例

2019年10月31日にセットします。



手順

操作

表示例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 年は「西暦年」の下2桁、日付を入力して、を押します。

1 9 1 0 3 1

3 を押します。



注意 年/月/日は、必ず各2桁・合わせて6桁の数字を入力してください。

時刻をセットする

操作例

午後1時05分にセットします。



手順

操作

表示例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 時刻を「24時間制」で入力して、を押します。

1 3 0 5

3 を押します。



注意 時/分は、必ず各2桁・合わせて4桁の数字を入力してください。

担当者機能を有効にする

操作例

担当者機能を「有効」に設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **5 0 3** を押します。

5 0 3

3 **1**を押します。

1

4 を押して、設定を終了します。



・ご購入時の設定では、担当者機能は使用しないに設定されています。
・担当者機能を「無効」にするときは手順**3**で**0**を押します。

ジャーナル印字の設定／客用表示の設定

プリンターをジャーナル印字に設定する

操作例

プリンターをジャーナル印字用に設定します。



手順

操作

印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **1** を押します。

1



プリンターをレシート印字用として使用	0 <input type="button" value="信"/>
プリンターをジャーナル印字用として使用	1 <input type="button" value="信"/>

 が、ご購入時の設定です。



ポイント レシート印字とジャーナル印字はロールペーパーのセット方法が異なります。設定を変更するときは、ロールペーパーもセットし直してください。(138 ページ)

客用表示を設定する

操作例

客用表示を「使用する」に設定します。



手順

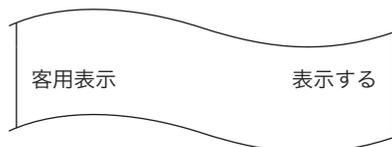
印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

501 **0**

客用表示を使用する	0
客用表示を使用しない	1

 が、ご購入時の設定です。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

操作音の設定／部門キーに商品単価を設定

キー操作音の有無を設定する

操作例

キー操作音を「なし」に設定します。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

5 0 2 小計 1 現/預

操作音あり	0
操作音なし	1

が、ご購入時の設定です。



ポイント キー操作音は、モードスイッチの位置を「設定」から他の位置へ変更すると設定が反映します。



印字例



部門キーに商品単価を設定する

操作例

部門キーに下記の単価をそれぞれ設定します。

部門	単価
部門 2 $- \frac{2}{7}$	¥800
部門 3 $\times \frac{3}{8}$	¥500
部門 6 $\frac{\text{部門シフト}}{\text{シフト}} + \frac{1}{6}$	¥100
部門 9 $\frac{\text{部門シフト}}{\text{シフト}} \div \frac{4}{9}$	¥800

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定する単価を入力して、部門キーを押します。

8 0 0 $- \frac{2}{7}$

5 0 0 $\times \frac{3}{8}$

部門シフト 1 0 0 $+ \frac{1}{6}$

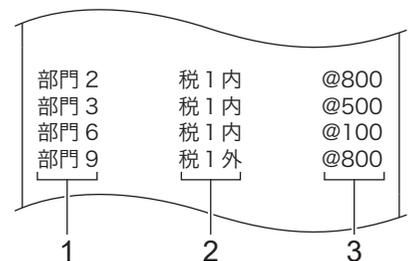
部門シフト 8 0 0 $\div \frac{4}{9}$

3 小計 を押して、設定を終了します。

小計



印字例



- 1: 部門番号※ 1
- 2: 課税ステータス
- 3: 設定単価

※ 1 部門に商品名を設定する(91 ページ)と、商品名が印字されます。



ポイント 単価は最大 6 桁 (999,999 円) まで設定できます。単価設定した場合の登録の操作例は、「単価設定した部門キーを用いて商品を登録する」(42 ページ)を参照してください。

部門キーの機能設定

本機には便利な機能が豊富に備えられています。必要に応じて設定してください。

部門に「負単価部門」を設定する(個別設定)

この部門に登録する商品はマイナスとして処理されます。値引きに使うと便利です。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 ※1 0 該当する部門キー 小計

通常部門	0
0 単価部門	1
負単価部門	2

※1 部門6～10を設定する場合は、**部門シフト**を押します。

が、ご購入時の設定です。

複数の部門キーを設定する場合は、連続して入力することができます。

操作例：部門1、部門4、部門7に、続けて「負単価部門」を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 2 $+\frac{1}{6}$ …部門1に「負単価部門」を設定
2 $\div\frac{4}{9}$ …部門4に「負単価部門」を設定
部門シフト 2 $-\frac{2}{7}$ …部門7に「負単価部門」を設定
小計 …小計 を押して設定を完了します。

※「部門キーの機能設定」(71 ページ～73 ページ)の際、複数の部門キーを続けて設定する場合は、同様に操作してください。

部門をグループにリンクする(個別設定)

部門の上位にグループ(大分類)を想定し、部門をグループに関連付けます。点検/精算時、グループ別に集計(=いくつかの部門を合算)できます。ここでは、部門を01～10のグループに設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 1 6 6 小計 ※1 0 0 該当する部門キー 小計

リンクするグループ番号	0 0 ~ 1 0	0 0
0 0 はリンクするグループなしです。		0 0

※1 部門6～10を設定する場合は、**部門シフト**を押します。

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

部門キーの機能設定

部門に「入力桁制限」を設定する(個別設定)

誤登録を防ぐため、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 5 6 6 小計 ※1 0 該当する部門キー 小計

桁数制限をしない	0	または	7
登録可能な桁数を示す	1	~	6
置数入力を禁止する	8	または	9

※1 部門6~10を設定する場合は、を押します。

が、ご購入時の設定です。

部門に「単品売り」を設定する(個別設定)

入力時にこの部門に登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力してを押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。(「単品売りの商品」を登録する前に、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。)



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 8 6 6 小計 ※1 0 該当する部門キー 小計

通常部門	0
単品売り部門	1

※1 部門6~10を設定する場合は、を押します。

が、ご購入時の設定です。

部門キーの機能設定

まとめて部門の設定をする(一括設定)

部門に関する設定を、まとめて設定できます。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3	小計	※1	A	B	C	D	E	0000	該当する 部門キー	小計
			0	0	0	0	0	"00" 固定		

A 負単価部門の設定

通常部門	0
0単価	1
負単価部門	2

B 単品売りの設定

通常部門	0
単品売り	1

C 入力桁数制限の設定

桁数制限をしない	0 または 7
登録可能な桁数を選択	1 ~ 6
置数入力を禁止する	8 または 9

D 課税方式の設定

税1 内税	0
税1 外税	1
税2 内税	2
税2 外税	3
非課税	6

E POPの印刷

印刷しない	0
印刷する	1

※ 1 部門 6～10 を設定する場合は、部門ソフトを押します。

が、ご購入時の設定です。

複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(81 ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU に商品単価を設定

操作例

PLU に下記の単価をそれぞれ設定します。

PLU	単価
PLU 番号 1	¥2,000
PLU 番号 2	¥1,200
PLU 番号 111	¥480
PLU 番号 112	¥880
PLU 番号 200	¥150



手順

操作

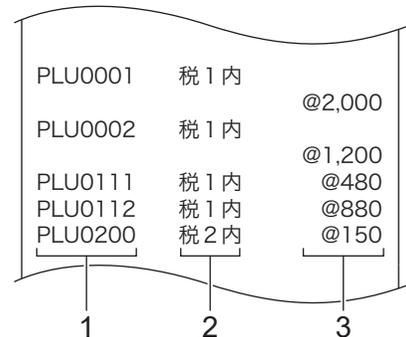
印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定する PLU コードを指定して、設定する単価を入力します。



3 [小計] を押して、設定を終了します。



- 1: PLU 番号※ 1
- 2: 課税ステータス
- 3: 設定単価

※ 1 PLU に商品名を設定する(91 ページ)と、商品名が印字されます。



連番の PLU を続けて設定するときは、PLU 番号を指定した後「単価」 [現/預]、「単価」 [現/預]、…と続け、最後に [小計] を押してください。 [PLU] を使用したの登録の操作例は、「PLU を使って登録する」(45 ページ) を参照してください。

PLU の機能設定

PLU に「負単価 PLU」を設定する (個別設定)

この PLU はマイナスとして処理されます。値引きに使うと便利です。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 1~600の PLU 番号 PLU 0 現/預 小計

通常 PLU	0
0単価 PLU	1
負単価 PLU	2

が、ご購入時の設定です。

複数の PLU を設定する場合は、連続して入力することができます。

操作例：PLU1、PLU2、PLU7 に、続けて「負単価 PLU」を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 1 PLU 2 現/預 …PLU 1 に「負単価部門」を設定
2 現/預 …PLU 2 に「負単価部門」を設定
7 PLU 2 現/預 …PLU 7 に「負単価部門」を設定
小計 …小計 を押して設定を完了します。

※「PLU の機能設定」(75 ページ～ 77 ページ)の際、複数の PLU を続けて設定する場合は、同様に操作してください。

PLU を部門にリンクする (個別設定)

PLU を任意の部門に関連付けます。点検/精算時に、各 PLU の売上を関連付けた部門に合算し、部門トータルとして集計できます。ここでは、PLU を部門 1～10 に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 1 6 6 小計 1~600の PLU 番号 PLU 0 0 現/預 小計

リンクする部門番号	0 0 ~ 1 0	0 0
0 0 はリンクする部門なしです。		

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU に商品単価を設定

品番 PLU に「入力桁制限」を設定する (個別設定)

品番 PLU として使用する場合、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 5 6 6 小計 1~600の PLU 番号 PLU 0 現/預 小計

桁数制限をしない	0	または	7
登録可能な桁数を示す	1	~	6
置数入力を禁止する	8	または	9

が、ご購入時の設定です。

PLU に「単品売り」と「品番 PLU」を設定する (個別設定)

単品売り：入力時にこの PLU を登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して [現/預] を押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。
(「単品売りの商品」を登録する前に、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。)



品番 PLU：登録の際、「事前に設定しておいた単価」とは異なる単価を入力できます。

手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 8 6 6 小計 1~600の PLU 番号 PLU 0 現/預 小計

品番 PLU	単品売り	
通常	通常	0
	単品売り	1
品番 PLU	通常	4
	単品売り	5

が、ご購入時の設定です。

PLU に商品単価を設定

まとめて PLU の設定をする (一括設定)

PLU に関する設定を、まとめて設定できます。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

A
B
C
D

3
小計
1~600の
PLU番号
PLU
0
0
0
0
0
現/預
小計

"000" 固定

A 負単価 PLU の設定

通常 PLU	0
0 単価 PLU	1
負単価 PLU	2

B 品番 PLU / 単品売りの設定

品番 PLU	単品売り	
通常	通常	0
	単品売り	1
品番 PLU	通常	4
	単品売り	5

C 入力桁数制限の設定

桁数制限をしない	0 または 7
登録可能な桁数を選択	1 ~ 6
置数入力を禁止する	8 または 9

D 課税方式の設定

税1 内税	0
税1 外税	1
税2 内税	2
税2 外税	3
非課税	6

が、ご購入時の設定です。

複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(81 ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

課税方式の設定

ここでは、各キーと PLU を内税、外税、複数税率、非課税に設定する方法を説明します。

課税方式の設定

モードスイッチの位置を「設定」にすると、**非課税** は「非課税指定」、**出金** は「税1 外税指定」、**入金** は「税1 内税指定」、**券** は「税2 外税」、**訂正** は「税2 内税」として機能します。**非課税**、**出金**、**入金**、**券**、**訂正** を押して税の種類を指定した後に、該当する部門、キー、PLU を指定して、各キーの課税方式を設定します。課税方式の設定ができるのは、部門1～部門10、**%**、**-**、PLU001～600です。

操作例

非課税の設定	部門4 \div $\frac{4}{9}$ 、部門10 $\frac{\text{部門シフト}}{\text{シフト}}$ $\frac{5}{10}$
税1 外税の設定	部門7 $\frac{\text{部門シフト}}{\text{シフト}}$ $-$ $\frac{2}{7}$ 、部門8 $\frac{\text{部門シフト}}{\text{シフト}}$ \times $\frac{3}{8}$ 、PLU60～69
税2 内税の設定	部門1 $+$ $\frac{1}{6}$ 、2 $-$ $\frac{2}{7}$ 、3 \times $\frac{3}{8}$ 、5 $\frac{5}{10}$ 、6 $\frac{\text{部門シフト}}{\text{シフト}}$ $+$ $\frac{1}{6}$ 、9 $\frac{\text{部門シフト}}{\text{シフト}}$ \div $\frac{4}{9}$ 、 %



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **1** **小計** を押します。



非課税の設定

3 **非課税** を押します。



4 非課税にする部門、キー、PLU を設定します。



税1 外税の設定

5 **出金** を押します。



6 外税にする部門、PLU を設定します。



PLU を10回押してPLU60～69の10個のPLUを設定します。



税2 内税(軽減税率) の設定

7 **訂正** を押します。



8 内税にする部門、キーを設定します。



9 **小計** を押して、設定を終了します。



通常の設定では「税1」のみ使用します。複数税率に対応する場合は、「税1」と「税2」の両方を設定してください。

- ・税2 外税(軽減税率)を設定するには、手順5の**出金**の代わりに**券**を押します。
- ・税1 内税を設定するには、手順7の**訂正**の代わりに**入金**を押します。

		設定時に押すキー
税1	内税	入金 CAL
	外税	出金
税2 (軽減税率用)	内税	訂正 中止
	外税	券
非課税		非課税

課税方式の設定

印字例

部門 04	非	@0	1
部門 10	非	@0	
—	非	@0	2
PLU0065	税1外	0065	
		@0	3
PLU0066	税1外	@0	
		@0	4

- 1: 部門 4、部門 10
- 2:
- 3: PLU
- 4: 課税ステータス

課税方式の一括設定

すべての商品の課税方式を一括で変更します。

操作例

すべての商品を「税2内税」に設定します。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **1 0 3** を押します。
- 3 設定する課税方式の番号を押します。
税1内税を設定するときは… **0**
税1外税を設定するときは… **1**
税2内税を設定するときは… **2**
税2外税を設定するときは… **3**
- 4 を押します。

操作

1 0 3
2

 **ポイント** それぞれの商品ごとに課税方式を設定する場合は、「課税方式の設定」(78 ページ) を参照してください。

すべての商品を非課税扱いにする(非課税レジスター)

すべての部門キー、、、PLU を個別に「外税」や「内税」に設定していても、「非課税レジスター」を設定するとすべて「非課税」として処理します。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **3** を押して、**9** を4回押します。
- 3 を押して、設定を終了します。

操作

3 **9 9 9 9**

 **ポイント** ・「非課税レジスター」に設定されているときは、キーに個別設定をしても非課税として処理されます。非課税以外で使用するときは、「非課税レジスター」を解除してください。
・手順 **2** で **3** **8 8 8 8** を押すと、「非課税レジスター」は解除されて元の設定が有効になります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の設定

ご購入時は、「税1内税」「税1外税」が税率10%、「税2内税」「税2外税」が税率8%に設定されています。

	税率初期設定		部門の課税方式初期設定
税1内税	10%	→	部門1～10(税1内税)
税1外税		→	—
税2内税	8%	→	—
税2外税		→	—
非課税	—		—

現在の税率を確認する

「キー機能・レジスター機能項目の設定点検」(129 ページ)を参照してください。

すぐに税率を変更する



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **102** 小計 を押します。
- 3 「税1」の税率(A)を入力して、**現/預** を押します。
(Aを入力せずに **現/預** だけを押しすと、既存の設定のままです。)
- 4 「税2」の税率(B)を入力して、**現/預** を押します。
(「税2」を変更しない場合は、そのまま **小計** を押してください。)

操作

102 小計

A **現/預**

B **現/預**

税1	内税	税率(A)
	外税	
税2 (軽減税率用)	内税	税率(B)
	外税	

「税1内税」と「税1外税」を10%にしたいときは、Aを **10** **現/預** と入力します。

「税2内税」と「税2外税」を8%にしたいときは、Bを **8** **現/預** と入力します。

消費税の設定

税率改定の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の午前0時以降モードスイッチをいったんOFFにすると、設定された税率に変更します。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **101** 小計 を押します。
- 3 改定年月日を入力して、現/預 を押します。
YYには西暦下2桁、MMには月(01~12)、DDには日(01~31)の、必ず各2桁・合わせて6桁の数字を入力してください。
(年月日を入力せずに 現/預 だけを押すと、既存の設定のままです。)
- 4 「税1」の税率(A)を入力して、現/預 を押します。
(Aを入力せずに 現/預 だけを押すと、既存の設定のままです。)
- 5 「税2」の税率(B)を入力して、現/預 を押します。
(「税2」を変更しない場合は、そのまま 小計 を押してください。)

101 小計

YYMMDD 現/預

A 現/預

B 現/預

注意 変更日になっても税率が変更されないときは、モードスイッチを一度OFFにしてください。

税率改定の予約機能を無効にする

上記「税率改定の予約機能を設定する」で設定した内容を無効にします。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **101** 小計 を押します。
- 3 改定年月日をクリア(**0**)して、現/預 を押します。

101 小計

0 現/預

複数税率への対応

「一般の消費税率」と「軽減税率(食料品の税率を小さくするなど)2種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率を設定できます。

「税1」の内税は 入金、外税は 出金 を押したあと、該当する部門、キー、PLUを設定します
「税2」の内税は 訂正中止、外税は 券 を押したあと、該当する部門、キー、PLUを設定します

設定の詳細は、「課税方式の設定」(78ページ)を参照してください。

		設定時に押すキー
税1	内税	<small>入金</small>
	外税	<small>出金</small>
税2 (軽減税率用)	内税	<small>訂正中止</small>
	外税	<small>券</small>

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の設定

課税方式の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の課税方式を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門3を「税1内税」から「税2内税」、部門4を「税1内税」から「税2外税」に変更するよう予約設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **104** を押します。

104

3 初期状態(すべて税1内税)の設定から変更するか、現在設定されている課税方式から変更するか選択します。

初期状態(すべて税1内税)の設定から変更する… **0**

現在設定されている課税方式の設定から変更する… **1** ※1

4 設定する課税方式のキー を押し、部門3キー を押します。

設定する課税方式のキー を押し、部門4キー を押します。

5 を押します。

		設定時に押すキー
税1	内税	<input type="button" value="入金"/>
	外税	<input type="button" value="出金"/>
税2 (軽減税率用)	内税	<input type="button" value="訂正中止"/>
	外税	<input type="button" value="券"/>
非課税		<input type="button" value="非課税"/>



実行するときは「税予約項目の設定」(84 ページ)で課税方式の予約を有効にしてください。本設定とセットで設定が必要です。

※1 すでに課税方式の予約機能を設定していた場合は、以前設定した状態から変更する設定となります。その場合は、初期状態からではなく **1** を押して以前設定した状態から変更するを選択してください。

消費税の設定

単価の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の単価を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門と PLU に下記の単価の予約をそれぞれ設定します。

部門・PLU	単価
部門 2	810
PLU 番号 2	1220



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **105** 小計 を押します。



3 初期状態(すべて単価0円)の設定から変更するか、現在設定されている単価から変更するか選択します。

初期状態(すべて単価0円)の設定から変更する… **0** 現/預

現在設定されている単価の設定から変更する… **1** 現/預 ※1

4 設定する単価を入力して、部門2キー **810** - ? を押します。



設定する PLU コードを指定して、設定する単価を入力します。



5 小計 を押して、設定を終了します。



ポイント 実行するときは「税予約項目の設定」(84 ページ)で単価の予約を有効にしてください。本設定とセットで設定が必要です。

※1 すでに単価の予約機能を設定していた場合は、以前設定した状態から変更する設定となります。その場合は、初期状態からではなく **1** 現/預 を押して以前設定した状態から変更するを選択してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の設定

税予約項目の設定

設定した税予約機能を実行するよう設定します。単価と課税方式の予約を有効にするには、ここで設定を変更します。

項目	設定内容
税率改定の予約	変更する
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更する

操作例

税率改定の予約と課税方式の予約を実行するに設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **106** 小計 を押します。

106 小計

3 設定する項目の番号を押します。

2

税率改定のみ… **0**

税率改定と単価… **1**

税率改定と課税方式… **2**

税率改定と単価と課税方式… **3**

4 現/預 を押します。

現/預

ご購入時の設定は以下です。

項目	設定内容
税率改定の予約	変更しない
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更しない



ポイント 税率改定の予約機能、課税方式の予約機能、単価の予約機能とセットで設定してください。

消費税の設定

税額の1円未満の端数処理を設定する

消費税額の1円未満の端数処理を、「四捨五入」「切捨て」「切上げ」の何れかに設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A 税1 / 内税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

B 税1 / 外税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

C 税2 / 内税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

D 税2 / 外税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

が、ご購入時の設定です。

複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(81 ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

Bluetooth

無料のスマートフォン用アプリ“CASIO ECR+”を使うとレジの設定や売上確認がとても簡単にできます。“CASIO ECR+”を利用するには、レジとスマートフォンを以下の手順で設定してください。

レジと接続するスマートフォンで右記のQRコードを読み込む、または下記URLから“CASIO ECR+”をインストールします。

<https://web.casio.com/ecr/app/>



Bluetooth ペアリング (接続) 設定



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。
- 3 レジとスマートフォンをペアリング(接続)します。スマートフォンはレジの近く(約1m以内を推奨)で操作してください。右記が印字されたら、“CASIO ECR+”がインストール済みのスマートフォンのBluetooth設定をONにします。
※Bluetoothの設定方法はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

操作と印字例

702 **小計**

スマートフォンで、次の名前でのレジスターとペアリングをしてください。

EY123456789012

中止する場合は、<小計>キーを押してください。

- 4 スマートフォンで接続するレジスターの機器名を検索します。検索方法は、AndroidとiPhoneで操作が異なります。機器名はレジスターにより異なります。実際の印字内容をご覧ください。

<Androidをお使いの方>

スマートフォンのBluetooth設定をONにして、画面に表示されている機器名「EY123456789012(例)」をタップして選択します。

<iPhoneをお使いの方>

スマートフォンにインストールした“CASIO ECR+”を起動します。起動すると最初に対象レジを検索します。機器名「EY123456789012(例)」をタップして選択します。

- 5 スマートフォンでレジの機器名をタップして選択すると、レジはパスキーを表示します。レジ画面に表示されているパスキー「123456(例)」をスマートフォンへ入力します。パスキーはレジにより異なります。実際のレジ画面をご覧ください。ペアリングが完了するとレジの画面表示と音でお知らせします。

レジスターの画面に表示されているコードをスマートフォンに入力してください。

中止する場合は、<小計>キーを押してください。

スマートフォンに次のコードを
123456

設定 戻 登録 電卓 点検 精算 レジ発行 用紙 計 約
レポート 金額

ペアリングができないときはレジの印字内容を確認してください。ペアリングに失敗したことが印字されているときは、手順 **1** から操作をやり直してください。

ペアリング 異常終了

Bluetooth

6 以上でレジの Bluetooth 設定は終了です。引き続きスマートフォンの“CASIO ECR+”を、ガイダンスに従って設定してください。

<Android をお使いの方>

スマートフォンにインストールした“CASIO ECR+”を起動して設定してください。

<iPhone をお使いの方>

継続して設定してください。

Bluetooth ペアリング解除設定



手順

操作

印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して を押す **7 0 3** を押します。

3 を押すとペアリングを解除します。

すべてのスマートフォンとの
ペアリングを削除します。

実行する場合は、<現 / 預>
キーを押してください。

中止する場合は、<小計>
キーを押してください。

ペアリング 削除 正常終了

Bluetooth を使う設定にする

操作例

Bluetooth を使ってスマートフォンと連動する設定にします。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

7 0 1 **1**

Bluetooth を使わない	<input type="button" value="0"/>
Bluetooth を使う	<input type="button" value="1"/>

が、ご購入時の設定です。



Bluetooth

点検／精算データのスマートフォン送信を設定する

操作例

Bluetooth を使ってスマートフォンへ点検／精算データを送信する設定にします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

7 1 1 小計 1 現/預

点検／精算データを送信しない	0
点検／精算データを送信する	1

が、ご購入時の設定です。

点検／精算データスマートフォン送信時の印字を設定する

操作例

Bluetooth を使ってスマートフォンへ点検／精算データを送信する設定のとき、レポート印字をしない設定にします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

7 1 2 小計 1 現/預 1 現/預

点検データを送信時レポート印字する	0
点検データを送信時レポート印字しない	1

精算データを送信時レポート印字する	0
精算データを送信時レポート印字しない	1

が、ご購入時の設定です。

Bluetooth

点検／精算データの電子ジャーナル保存を設定する

操作例

点検／精算データを電子ジャーナルに記録する設定にします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

7 1 3 小計 1 現/預

電子ジャーナルに記録しない	0
電子ジャーナルに記録する	1

が、ご購入時の設定です。

点検／精算データスマートフォン送信失敗時の SD 保存を設定する

操作例

スマートフォンへ点検／精算データを送信する設定のとき、送信失敗時に SD メモリーカードへバックアップ保存します。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

7 1 4 小計 1 現/預

送信失敗時、点検／精算データを送信時SD保存しない	0
送信失敗時、点検／精算データを送信時SD保存する	1

が、ご購入時の設定です。



ポイント 送信失敗時に SD メモリーカードに保存されたデータは、次回の点検／精算をしたときに合わせてスマートフォンへ送信されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レート／丸めの設定

割引率・値引き金額をそれぞれのキーに設定する

操作例

〔%〕、〔-〕に、下記の割引率と値引き金をそれぞれ設定します。

設定キー	設定内容
〔%〕	割引率 5%
〔-〕	値引き金額 ¥500



手順	操作	印字例
1 モードスイッチの位置を「設定」にします。		
2 〔%〕、〔-〕を設定します。	5 [%] 500 [-]	<p>1: 割引率 2: 値引き金額</p>
3 〔小計〕を押して、設定を終了します。	〔小計〕	



ポイント 割引率や値引き金額を設定した操作例は、「商品ごとに割引をする」(47 ページ)、「合計金額から〔-〕で値引きをする」(48 ページ)を参照してください。

10 円丸め・5 円丸めを設定する

合計金額の 10 円や 5 円未満を切り捨てて、お客様に請求しません。

操作例

10 円丸めを設定します。



手順	操作	印字例
1 モードスイッチの位置を「設定」にします。		
2 504〔小計〕を押します。	504 〔小計〕	<p>1: 丸め金額</p>
3 10 円丸めを設定します。	10 〔現/預〕	
	0 : 丸めない 5 : 5 円丸め 10 : 10 円丸め	



- ・手順 **3** で 5 と 〔現/預〕を押すと、5 円丸めに設定します。
- ・手順 **3** で 0 と 〔現/預〕を押すと、丸めをしません。
- ・ご購入時の設定は、丸めをしない(0)です。

商品名やメッセージの設定

本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含む文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示できます。

あらかじめ部門キーや PLU に個々の商品名を設定して、レシートの印字や本体表示窓の内容をわかりやすくしたり、お店からお客様へ向けたメッセージをレシートに印字できます。必要に応じて設定してください。

設定できる項目と入力方法

文字を設定（変更）ができる項目は、以下のとおりです。

文字を設定できる項目	文字入力方法		設定した文字が使われる対象				別途設定
	①リストから選択する	②1文字ずつ入力する	レシート	領収書	本体表示窓	点検／精算レポート	
部門・PLU の名称	「商品名リスト」から選択（93 ページ）	入力可（99,101 ページ）	○	-	○	○	-
レシート関連							
ロゴ・メッセージ	「メッセージリスト」から選択（95 ページ）	入力可（102 ページ）	○	-	-	○	必要※1
コマーシャル・メッセージ			○	-	-	-	必要※1
ボトム・メッセージ			○	-	-	-	必要※1
担当者名	-	入力可（104 ページ）	○	-	○	○	必要※2
キー名称	-	入力可（105 ページ）	○	-	-	○	-
用語の表記	-	入力可（108 ページ）	○	-	-	○	-

文字入力の方法

文字の入力には2つの方法があります。

- ① レジに組み込まれている「商品名リスト」「メッセージリスト」から、使用する文字を選択してコードを指定します。
- ② 1文字ずつ入力して、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換します。（携帯電話の文字入力に似た操作です。）

※①で選択した文字列を、②の方法で一部を書き換えることもできます。

別途設定

「別途設定」が必要な項目は、文字設定後に下記を設定してください。

※1 設定した文字を、印字する設定をしてください。（122 ページ）

※2 担当者機能を、有効にする設定をしてください。（68 ページ）

商品名やメッセージの設定

「商品名リスト」から商品名を選択して部門キーに設定する

「商品名リスト」は次ページを参照してください。

操作例

部門 01  に「初診料」、部門 06   に「指導料」を設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。
- 2 **2**、 を押します。
- 3 「初診料」のコード「001」を部門 1 に設定します。
- 4 「指導料」のコード「003」を部門 6 に設定します。
(部門シフトはコードの前に入力します。)
- 5  を押して、設定を終了します。

操作



商品名を商品名リストから選択して PLU を設定する

操作例

PLU 番号 71 に「検査料」、PLU 番号 72 に「かかりつけ」、PLU 番号 90 に「加算」を設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。
- 2 **2**、 を押します。
- 3 PLU71 を指定します。
- 4 、コード、 の順に入力します。
(「検査料」のコードは「008」)
- 5 続いて次の PLU を設定します。
- 6 、コード、 の順に入力します。
(「かかりつけ」のコードは「010」)
- 7 PLU90 を指定します。
- 8 、コード、 の順に入力します。
(「加算」のコードは「012」)
- 9  を押して、設定を終了します。

操作



商品名やメッセージの設定

商品名リスト

業種	医院／歯科医院
コード	商品名
1	初診料
2	再診・往診等
3	指導料
4	投薬料
5	注射料
6	処置料
7	手術・麻酔料
8	検査料
9	画像診断料
10	かかりつけ
11	リハビリ
12	加算
13	在宅医療
14	食事療養
15	精神科専門
16	特定入院
17	入院基本料
18	保険給付外
19	保険給付内
20	放射線治療
21	薬剤負担金
22	輸血
業種	薬局／薬店
コード	商品名
23	アレルギー薬
24	かぜ薬
25	ケア用品
26	コンタクトケア用品
27	サプリメント
28	せき止め
29	ドリンク剤
30	歯ブラシ
31	ヘアケア用品
32	ベビー用品
33	胃腸薬
34	医薬品
35	医療用品
36	栄養剤
37	衛生用品
38	化粧品
39	介護用品
40	解熱鎮痛剤
41	外傷薬
42	外用薬
43	漢方薬
44	関節・筋肉痛
45	健康器具
46	健康食品
47	殺虫剤
48	湿布薬
49	小児用薬
50	酔い止め
51	整腸剤
52	生薬
53	虫さされ
54	内服薬
55	皮膚治療薬
56	鼻炎薬

57	婦人薬
58	防虫剤
59	目薬
60	薬剤
業種	喫茶／軽食
コード	商品名
61	パスタ
62	ピザ
63	トースト
64	モーニング
65	ランチ
66	ピラフ
67	カレー
68	軽食
69	サラダ
70	セット
71	パフェ
72	ホットケーキ
73	ケーキ
74	アイスクリーム
75	ソフトクリーム
76	コーヒー
77	コーラ
78	紅茶
79	ココア
80	ジュース
81	テイクアウト
82	焼き物
83	揚げ物
84	蒸し物
85	煮物
86	串物
87	汁物
88	刺身
89	一品料理
90	おつまみ
91	焼鳥
92	お通し
93	デザート
94	焼酎
95	ウィスキー
96	カクテル
97	ドリンク
98	生ビール
99	日本酒
100	ノンアルコール
101	ビール
102	ワイン
103	サワー
104	ソフトドリンク
105	カツ丼
106	天丼
107	親子丼
108	丼
109	定食
110	前菜
111	メイン
112	スープ
113	そば
114	うどん
115	ラーメン
116	ギョーザ

117	チャーハン
118	ライス
業種	食料品
コード	商品名
119	生鮮
120	精肉
121	鮮魚
122	野菜
123	果物
124	パン
125	調理パン
126	食パン
127	菓子パン
128	ベーカリー
129	サンドイッチ
130	加工食品
131	弁当類
132	寿司
133	惣菜
134	おにぎり
135	ファーストフード
136	冷凍食品
137	レトルト食品
138	缶詰
139	調味料
140	香辛料
141	ドレッシング
142	飲料
143	水
144	ジュース
145	機能性飲料
146	茶
147	炭酸飲料
148	乳製品
149	発泡酒
150	インスタント食品
151	麺類
152	米・穀類
153	食料品
154	嗜好品
155	菓子
156	アイス
157	スナック菓子
158	洋菓子
159	和菓子
160	チョコレート
161	クッキー
162	煎餅
163	飴
業種	服飾
コード	商品名
164	衣類
165	上着
166	下着
167	子供服
168	紳士服
169	スーツ
170	スラックス
171	ネクタイ
172	シャツ
173	靴下

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

174	セーター
175	婦人服
176	ストッキング
177	ベビー服
178	帽子
179	履物
180	バッグ
181	傘
182	靴
業種	雑貨
コード	商品名
183	アクセサリ
184	小物
185	雑貨
186	箱代
187	輸入雑貨
業種	家電
コード	商品名
188	オプション
189	家電製品
190	消耗品
191	設定料
192	電球・蛍光灯
193	電池
194	電池交換
業種	書籍／文具／AV
コード	商品名
195	CD/DVD/BD
196	ゲーム
197	コミック
198	雑誌
199	参考書
200	事務用品
201	趣味・娯楽
202	書籍
203	新書
204	新聞
205	専門誌
206	図書カード
207	文具
208	文芸
209	文庫
業種	その他／物品販売
コード	商品名
210	DIY 用品
211	アウトドア用品
212	園芸
213	カー用品
214	家具
215	楽器
216	家庭用品
217	玩具
218	キッチン用品
219	ギフト券
220	キャラクター商品
221	工具
222	コンタクト
223	メガネ
224	寝具
225	スポーツ用品

226	タバコ
227	釣り用品
228	時計
229	日用品
230	農業用品
231	バラエティ
232	ペット用品
233	防災用品
234	梱包用品
235	ラッピング代
236	旅行用品
237	レンタル用品
業種	理容／美容
コード	商品名
238	カット
239	カラー
240	着付
241	シャンプー
242	セット
243	トリートメント
244	パーマ
245	フェイシャル
246	ブロー
247	メイク
248	ヘッドスパ
249	ネイル
250	エステ
251	指名料
252	時間外
業種	花屋
コード	商品名
253	生花
254	花束
255	ブリザーブド
256	アレンジメント
257	供花
258	観葉植物
業種	趣味／日用品
コード	商品名
259	印刷
260	延長
261	大人
262	小人
263	学生
264	キャンセル料
265	クーポン
266	クリーニング
267	現像料
268	デジカメプリント
269	工賃
270	サービス料
271	材料費
272	修理
273	受講料
274	お直し
275	商品券
276	処分料
277	セール
278	設置料
279	送料
280	中古品

281	注文品
282	調整料
283	技術料
284	手数料
285	登録料
286	特注品
287	入場料
288	引取料
289	フィルム
290	容器代
291	リサイクル費用
292	レンタル料
293	割増
294	焼き増し
295	土産品
296	利用料
297	商品
298	その他
業種	初期設定
コード	商品名
299	PLU
300	部門

商品名やメッセージの設定

「メッセージリスト」からメッセージを選択してレシートに印字する

「メッセージリスト」は次ページを参照してください。

操作例

コマースメッセージ1行目に「またのご来店を」、2行目に「お待ちしております」を印字設定をします。



手順	操作	印字例
1	モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。	種別コード
2	2、 <input type="button" value="小計"/> を押します。	***ロゴ1行目*** — 132
3	コマース1行目の種別コードを指定します。	***ロゴ2行目*** — 232
4	コードを指定します。 (「またのご来店を」のコードは「002」)	***ロゴ3行目*** — 332
5	続いて次の行を設定します。	***ロゴ4行目*** — 432
6	コードを指定します。 (「お待ちしております」のコードは「004」)	***ロゴ5行目*** — 532
7	<input type="button" value="小計"/> を押して、設定を終了します。	***ロゴ6行目*** — 632
		住所・TEL 1行目 — 1732
		住所・TEL 2行目 — 1832
		住所・TEL 3行目 — 1932
		コマース1行目 — 732
		コマース2行目 — 832
		コマース3行目 — 932
		コマース4行目 — 1032
		コマース5行目 — 1132
		レシートイメージ
		ボトム1行目 — 1232
		ボトム2行目 — 1332
		ボトム3行目 — 1432
		ボトム4行目 — 1532
		ボトム5行目 — 1632

8 「御計算書」を印字する設定から、「設定した文字を印字する」設定に変更します。

上記設定は、ロゴ1行目～ロゴ6行目に設定したメッセージを印字する設定です。コマースメッセージ、ボトムメッセージを印字するときは、「レシートメッセージの内容を設定する」(122ページ)を参照して設定してください。

9 設定を終了します。

文字を入力して設定する例は、「レシートメッセージを設定する」(102ページ)を参照してください。

- ・メッセージが設定されていない行は空白行になります(空白で送りされます)。
- ・設定したメッセージを印字するには設定の変更が必要です。「レシートメッセージの内容を設定する」(122ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

メッセージリスト

メッセージの内容	コード
またのお越しを	001
またのご来店を	002
またのご利用を	003
お待ちしております	004
お買い上げいただき	005
ご来店いただき	006
毎度ご来店いただき	007
ありがとうございました	008
毎度ありがとうございます	009
有難うございます	010
お買い上げの商品価格には	011
消費税等を含みます	012
レシートは税込み価格で	013
表示しております	014
レシートの再発行はできません	015
レシートの再発行は	016
致しかねます	017
レシートは大切に保管ください	018
印刷面を内側に折って	019
レシートは大切に	020
保管して下さい	021
開封後の返品・交換は	022
お受けできません	023
返品はレシートを添えて	024
お持ちください	025
返品・交換はできません	026
受付時間のご案内	027
営業時間のご案内	028
診療時間のご案内	029
今月は休まず営業します	030
年中無休	031
ポイントは次回のお買い物に	032
ご使用ください	033
キャンペーン実施中！	034
クリスマスセール実施中！	035

メッセージの内容	コード
決算セール実施中！	036
ご紹介キャンペーン実施中！	037
サービスデー実施中！	038
バーゲンセール実施中！	039
カード会員募集中！	040
新規会員募集中！	041
メール会員募集中！	042
お早めにお召上がり下さい	043
各種宴会ご予約承ります	044
完全予約制	045
着付けご予約承ります	046
記念写真ご予約受付中	047
ケーキご予約受付中	048
ご予約承ります	049
配達承ります	050
お問い合わせはサービスカウンターまで	051
定期点検を忘れずに	052
お大事にどうぞ	053
どうぞお大事に	054
月初めは保険証を	055
ご呈示下さい	056
お薬は用法用量を	057
守ってご使用ください	058
携帯電話からアクセスできます	059
(空白)	060
	061
収入	062
印紙	063
	064
	065

商品名やメッセージの設定

1文字ずつ入力して漢字変換する

1文字ずつ入力し、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換して設定する方法を説明します。

文字入力の方法

携帯電話の文字入力に似た、「かなめくり方式」で入力します。入力した文字の種類(ひらがな・カタカナ・英文字・数字)などを<切替>キーで切り替え、50音などに基いた文字を置数キーで入力します。

ひらがなで入力した文字は、続けて<↑>キー、<変換>キーを押して、単漢字または単語ごとのかな漢字変換ができます。(内蔵のかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、ご希望の漢字変換ができない場合があります。その場合は、変換したい漢字の読み(音読み/訓読み)を変えて入力し、変換してください。)

文字設定時のキーボード

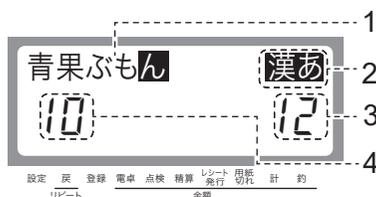
文字設定時のキーボードは、以下の配列です。



キーの機能は、各キーの側面手前側に刻印されています。各キーの機能については、次ページを参照してください。

文字設定時の本体表示窓

文字設定時の本体表示窓は、以下の内容です。



- 1: 入力中または操作中の文字(反転表示)
- 2: 文字入力モードを表示: 漢あ かな ABab 1234 など
- 3: 設定可能な文字の総数(半角文字換算)を表示
- 4: 既に入力されている文字数(半角文字換算)を表示
「青果ぶもん」は全角で5文字ですが、半角文字換算では10文字です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

商品名や分類名を部門キーに設定する

操作例

部門 01 に「雑貨」、部門 02 に「食品 A」、部門 06 に「ETC」を設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 、 を押します。

3 部門 01 を指定し、設定されている商品名を消します。

4 部門 01 に「雑貨」を登録します。

< さ > × 1 回「さ」

< ` ° > × 1 回「ざ」

< た > × 6 回「っ」

× 6 回

< か > × 1 回「か」

< ↓変換 > (「雑貨」が出るまで繰り返します)

< 変換確定 > (文字列を確定します)

(これで「雑貨」が部門 01 に設定されます)

5 引き続き部門 02 を指定し※ 1、設定されている商品名を消します。

6 部門 02 に「食品 A」を登録します。

< さ > × 2 回「し」

× 2 回

< や > × 6 回「よ」

× 6 回

< か > × 3 回「く」

× 3 回

< は > × 2 回「ひ」

× 2 回

< わ > × 3 回「ん」

× 3 回

< ↓変換 > (「食品」が出るまで繰り返します)

< 変換確定 > (文字列を確定します)

< 切替 > × 2 回(半角英字にします)

× 2 回

< 倍文字 > × 1 回(全角英字にします)

< か > × 1 回「A」

(これで「食品 A」が部門 02 に設定されます)

7 部門 06 を指定し※ 2、設定されている商品名を消します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

手順

8 部門 06 に「ETC」を登録します(全角英字のまま使います)。

< さ > × 2 回「E」

< や > × 1 回「T」

< か > × 3 回「C」

(これで「ETC」が部門 06 に設定されます)

9  を押して、設定を終了します。



・部門キーへ設定できる名称の文字数は、半角 12 文字または全角 6 文字です。

※ 1 連続した部門の設定をする場合は、 を押すと次の部門に移動します。 を押すと設定を終了します。

※ 2 連続していない部門の設定をする場合は、設定する部門キーを押して指定します。 を押すと設定を終了します。

 × 2 回



 × 3 回





入力途中で文字を訂正する

操作例

部門 03  に「乾物」を設定途中でまちがった文字を訂正します。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 、 を押します。

3 部門 03 を指定し、設定されている商品名を消します。

4 部門 03 に「乾物」を登録します。

< か > × 1 回「か」

< わ > × 3 回「ん」

< ま > × 5 回「も」

< な > × 5 回「の」

< 1 文字クリア > × 2 回(直前の「の」と「も」を消します)

< は > × 3 回「ふ」

< ` ° > × 1 回「ぶ」

< た > × 3 回「つ」

< ↓変換 > (「乾物」が出るまで繰り返します)

< 変換確定 > (文字列を確定します)

(これで「乾物」が部門 03 に設定されます)

5  を押して、設定を終了します。

操作





 × 3 回

 × 5 回

 × 5 回

 × 2 回

 × 3 回



 × 3 回









商品名やメッセージの設定

商品名や分類名を PLU に設定する

操作例

PLU 番号 71 に半角で「カー Y シャツ」、PLU 番号 72 に「ジーンズ」、PLU 番号 90 に「サービス品」と設定します。



手順

操作

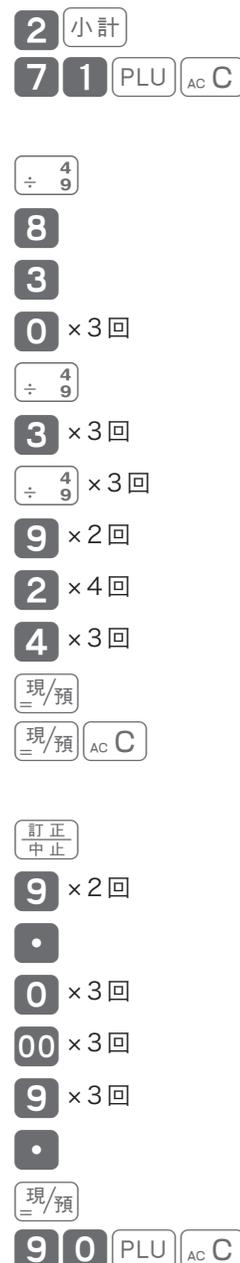
- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **2**、**小計** を押します。
- 3 PLU71 を指定し、設定されている商品名を消します。
- 4 PLU71 に「カラー Y シャツ」(半角) を登録します。

<切替>	× 1 回(半角カタカナにします)
<か>	× 1 回「カ」
<ら>	× 1 回「ラ」
<記号>	× 3 回「-」
<切替>	× 1 回(半角英字にします)
<ら>	× 3 回「Y」
<切替>	× 3 回(半角カタカナにします)
<さ>	× 2 回「シ」
<や>	× 4 回「ヤ」
<た>	× 3 回「ツ」

(これで「カー Y シャツ」が PLU71 に設定されます)
- 5 PLU72 を指定し※ 1、設定されている商品名を消します。
- 6 PLU72 に「ジーンズ」(全角) を登録します。

<倍文字>	× 1 回(全角カタカナにします)
<さ>	× 2 回「シ」
<` ° >	× 1 回「ジ」
<記号>	× 3 回「-」
<わ>	× 3 回「ン」
<さ>	× 3 回「ス」
<` ° >	× 1 回「ズ」

(これで「ジーンズ」が PLU72 に設定されます)
- 7 PLU90 を指定し※ 2、設定されている商品名を消します。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

手順

操作

8 PLU90 に「サービス品」(全角)を登録します。

< さ > ×1回「サ」

9

< 記号 > ×3回「ー」

0 ×3回

< は > ×2回「ヒ」

6 ×2回

< ` ° > ×1回「ピ」

・

< さ > ×3回「ス」

9 ×3回

< 切替 > ×3回(全角ひらがなにします)

÷ 4 9 ×3回

< は > ×2回「ひ」

6 ×2回

< わ > ×3回「ん」

00 ×3回

< ↓変換 > (「品」が出るまで繰り返します)

PLU

< 変換確定 > (文字列を確定します)

非課税

(これで「サービス品」が PLU90 に設定されます)

現/預

9 **小計** を押して、設定を終了します。

小計



・PLUへ設定できる名称の文字数は、半角12文字または全角6文字です。

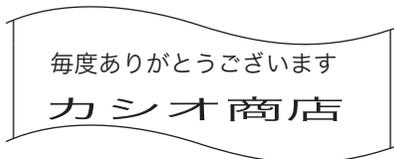
※1 連続したPLUの設定をする場合は、**現/預** を押すと次のPLUに移動します。**小計** を押すと設定を終了します。

※2 連続していないPLUの設定をする場合は、PLU番号に続けて **PLU** を押して指定します。**小計** を押すと設定を終了します。

レシートメッセージを設定する

操作例

ロゴメッセージに、下記を設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **2**、**小計** を押します。

2 **小計**

3 ロゴメッセージ1行目を指定し、設定されている文字を消します。
「種別コード」は95ページを参照してください。

1 3 2 **小計** **AC C**

商品名やメッセージの設定

手順

操作

4 1行目にロゴメッセージを入力します。

<ま>	×1回「ま」
<あ>	×2回「い」
<た>	×5回「と」
< ` ° >	×1回「ど」
< ↓変換 >	(「毎度」が出るまで繰り返します)
< 変換確定 >	(文字列を確定します)
<あ>	×1回「あ」
<ら>	×2回「り」
<か>	×1回「か」
< ` ° >	×1回「が」
<た>	×5回「と」
<あ>	×3回「う」
<か>	×5回「こ」
< ` ° >	×1回「ご」
<さ>	×1回「さ」
< ` ° >	×1回「ざ」
<あ>	×2回「い」
<ま>	×1回「ま」
<さ>	×3回「す」

(これで1行目が確定されます)

5 2行目を指定し※1、設定されている商品名を消します。

6 2行目のメッセージを入力します。<倍文字>×1回(全角カタカナにします)

<切替>	×1回 (半角カタカナにします)
<倍文字>	×2回 (全角横倍カタカナにします)
< → >	×2回 (文字を行の中心へ寄せるため、入力開始位置を半角2文字分右へ移動します)



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

手順	操作
<か> ×1回「カ」	8
<さ> ×2回「シ」	9 ×2回
<あ> ×5回「オ」	7 ×5回
<切替> ×3回（全角ひらがなにします）	$\div \frac{4}{9}$ ×3回
<倍文字> ×1回（全角横倍ひらがなにします）	$\frac{\text{訂正}}{\text{中止}}$
<さ> ×2回「し」	9 ×2回
<や> ×6回「よ」	2 ×6回
<あ> ×3回「う」	7 ×3回
<た> ×4回「て」	4 ×4回
<わ> ×3回「ん」	00 ×3回
<↓変換>（「商店」が出るまで繰り返します）	PLU
<変換確定>（文字列を確定します） （これで2行目が確定されます）	非課税
	$\frac{\text{現}}{\text{預}}$
	小計

7 **小計** を押して、設定を終了します。

8 「御計算書」を印字する設定から、「設定した文字を印字する」設定に変更します。

3 **小計** **2** **1** **2** **2** **小計** **1** **0** $\frac{\text{現}}{\text{預}}$ **小計**

上記設定は、ロゴメッセージを設定した文字で印字する設定です。コマースメッセージ、ボトムメッセージを印字するときは、「レシートメッセージの内容を設定する」(122 ページ) を参照して設定してください。

9 設定を終了します。



※1 連続したメッセージ行の設定をする場合は、 $\frac{\text{現}}{\text{預}}$ を押すと次のメッセージ行に移動します。**小計** を押すと設定を終了します。

・設定したメッセージを印字する設定をしてください。(122 ページ)

レジ担当者の名前を設定する

操作例

担当者番号 01 の担当者名を「鈴木」に設定します。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **2**、**小計** を押します。

3 担当者番号 01 を指定し、設定されている文字を消します。

操作



2 **小計**

0 **1** **担当者** **AC C**

商品名やメッセージの設定

手順

4 担当部門番号 01 に「鈴木」を登録します。

< さ > × 3 回「す」

< → > (同じ行なのでカーソルを右に動かします)

< さ > × 3 回「す」

< ` ° > × 1 回「ず」

< か > × 2 回「き」

< ↓変換 > (「鈴木」が出るまで繰り返します)

< 変換確定 > (文字列を確定します)

(これで『鈴木』が担当者番号 01 に設定されます)

5  を押して、設定を終了します。

 **ポイント** 担当者名に設定できる名称の文字数は、半角 12 文字または全角 6 文字です。

操作

 × 3 回



 × 3 回



 × 2 回









ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

取引キーの印字文字を設定する

操作例

 の印字を「掛売り」に設定します。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 、 を押します。

3  を指定し、設定されている文字を消します。

4  に「掛売り」を登録します。

< か > × 1 回「か」

< → > (同じ行なのでカーソルを右に動かします)

< か > × 4 回「け」

< あ > × 3 回「う」

< ら > × 2 回「り」

< ↓変換 > (「掛売り」が出るまで繰り返します)

< 変換確定 > (文字列を確定します)

(これで「掛売り」が信用売りキーに設定されます)

5  を押して、設定を終了します。

 **ポイント** 取引キーに設定できる名称の文字数は、半角 8 文字または全角 4 文字です。

操作

設定 





 × 4 回

 × 3 回

 × 2 回









商品名やメッセージの設定

レシートの背景印字を設定する

レシートに背景 “Thank you” を印字します。



手順

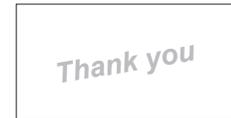
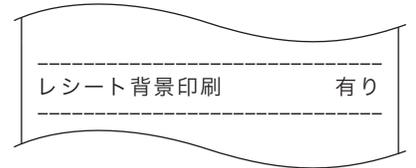
1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

4 0 1 小計 1 現/預

印字しない	0
印字する	1

が、ご購入時の設定です。

印字例



背景印字例

領収書の但し書き内容を設定する

領収書に但し書きを印字します。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

4 0 2 小計 1 現/預

印字しない	0
お品代	1
お食事代	2
ご飲食代	3
手数料	4
印紙代	5
証紙代	6
お薬代	7
治療費	8
特殊キャラクターの43レコード目※1	9

が、ご購入時の設定です。

※1 特殊キャラクター「種別コード」一覧表コード 4323(109 ページ)の設定です。

商品名やメッセージの設定

領収書のタイトルを設定する

領収書にタイトルを印字します。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

4	0	3	小計	0	現/預
				↑	
領収書とする				0	
領収証とする				1	

が、ご購入時の設定です。

領収書の背景を設定する

領収書に背景を印字します。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

4	0	4	小計	0	現/預
				↑	
印刷しない				0	
印刷する				1	

が、ご購入時の設定です。

領収書印字例

2019年10月31日	領 収 書	タイトルの印字
一連 No. 000025	様	
領収 No. 000004	¥5,000-	印
但し書きの内容を 印字	(但し として正に領収致しました) 印刷面を内側に折って保管願います	
背景の印刷 (全面に印刷されます)	カシオ商店	渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678

その他の項目については「内容変更できる主な印字項目」(114 ページ)を参照してください。



- 弊社 Web (<https://casio.jp/support/ecr/>) からダウンロードしたパソコンのレジスターツールで、領収書に店名ロゴ・住所などを印字できます。(別途 SD メモリーカードが必要です。)
- お梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償)でも承っています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

文字設定できるその他の項目

本機では、品名、メッセージ、部門／取引キー名称、担当者名のほか、

- ・ 固定合計器レポート上の項目(総売、純売など)
- ・ 日計明細や時間帯などのレポートタイトル
- ・ 特殊キャラクタ(¥マーク、小計／預かり印字など)

の印字・表示の変更できます。設定手順は、前述のメッセージの設定方法(99ページ)と同じです。「種別コード」を下記の表から選択して設定してください。

※ 項目の設定をまちがえると、レシートやレポートの意味が変わったり、意味を持たなくなる可能性があります。十分に注意して変更してください。

固定合計器、レポートタイトル、特殊キャラクタの設定内容と「種別コード」は以下の通りです。

固定合計器「種別コード」一覧表

固定合計器の項目	コード	ご購入時の設定	固定合計器の項目	コード	ご購入時の設定
総売上合計	101	総売	消費税対象額(外税2)	1201	外税対象※
純売上合計	201	純売	消費税額(外税2)	1301	外税※
現金在高	301	現金在高	消費税合計額	1401	消費税合計
商品券在高	401	券在高	非課税対象額	1501	非課税合計
キャッシュレス在高	501	信在高	万券枚数	1601	万円
消費税対象額(内税1)	601	対象計	丸め合計	1701	サービス
消費税額(内税1)	701	内税	取引中止合計	1801	取引中止
消費税対象額(外税1)	801	外税対象	戻モード合計	1901	戻モード
消費税額(外税1)	901	外税	電卓モード<=>回数	2001	電卓
消費税対象額(内税2)	1001	対象計※	印紙貼付の領収書枚数	2101	領収書 印紙
消費税額(内税2)	1101	内税※	印紙貼付なし領収書枚数	2201	領収書

レポートタイトル「種別コード」一覧表

レポートタイトル	コード	ご購入時の設定	レポートタイトル	コード	ご購入時の設定
日計明細集計	124	日計明細	月間集計	624	月間日別
PLU集計	224	PLU	期間集計1	724	期間集計1
時間帯集計	324	時間帯	期間集計2	824	期間集計2
グループ集計	424	グループ	個別点検(アイテム)	924	
在売点検	524	在売点検	電子ジャーナル	1024	電子ジャーナル

商品名やメッセージの設定

特殊キャラクタ「種別コード」一覧表

特殊キャラクタ	ご購入時の設定					コード
金額(2)単価(2)件数(2)各シンボル	¥	@	件			123
レポート個数(2)客数(2)万円枚数(2)未使用(2)	点	名	枚			223
乗算個数(2)未使用(6)	点	/				323
税1内税/外税/税2内税/外税(各2)		外	※	※		423
オール課税ステータス(2)非課税ステータス(2)	*	非				523
登録(4)戻し(4)レジマイナス(4)		戻	R	E	G	623
設定(4)点検(4)精算(4)	P	G	M	n	点	723
電卓(4)練習モード(4)	電	卓	練	習	M	823
預かり時小計印字(12)	合		計			923
預かり時釣り銭印字(12)	お	預	り			1023
預かり時釣り銭印字(12)	お		釣			1123
残額表示(12)	残	額				1223
現金預かり表示(8)	お	預	り			1323
預かり時釣り銭表示(8)	お		釣			1423
小計割引(割増)や、丸め前の小計印字(12)	小	計				1523
レポート合計印字(8)	合	計				1623
12時制での時刻印字(各3)	A	M	P	M		1723
強制終了メッセージ(8)	*	*	強	制	終	1823
点検シンボル(1)	X					1923
精算シンボル(1)	Z					2023
在高申告金額(12)	申	告	金	額		2123
在高申告金額との差額(12)	差	額				2223
純売税込み用(8)		税	込			2323
純売税抜き用(8)		税	抜			2423
レポート用印字(各4)	個	数	件	数	金	2523
買上点数(8)	点					2623
(設定しないこと)						2723
通貨桁区切りシンボル(各1)	.	.	,			2823
設定点検シンボル(8)	設	定	点	検		2923
SDメモリーカード	レ	コ	ー	ド		3123
SDメモリーカード	キ	ャ	ラ	ク	タ	3223
SDメモリーカード	個	数	/	件	数	3323
SDメモリーカード	個	数				3423
SDメモリーカード	金	額				3523
SDメモリーカード	担	当	者			3623
SDメモリーカード	マ	シ	ン	N	o	3723
SDメモリーカード	フ	ァ	イ	ル		3823
SDメモリーカード	モ	ー	ド			3923
SDメモリーカード	精	算	回	数		4023
SDメモリーカード	日	付				4123
SDメモリーカード	時	刻				4223
領収書但し書き文字(12)						4323
電池切れメッセージ(12)	電	池	切	れ	で	4423
SDメモリーカード	開	始	時	刻		4523
SDメモリーカード	終	了	時	刻		4623
SDメモリーカード	件	数				4723

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各キーの設定

各キーには、いろいろな機能を設定できます。

券 信



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

A

3 小計 00

B

0

C

1

D

00

券 小計

信

設定するキーを押します

A 小計／預かり金の金額制限

制限しない	00
制限金額を入力 例：200,000円 「2」と0が「5」と入力します	例： 25

B 置数強制

	置数の強制を	置数入力を	一部入金を	
券	強制しない	許可	許可 ※2	0
			禁止	1
信	強制しない	禁止	許可 ※2	2
			禁止	3
	強制する※1	許可	許可 ※2	4
			禁止	5

C 消費税の明細を

印字する	0
印字しない	1

D 釣り銭の金額制限

制限しない	00
制限金額を入力 例：5,000円 「5」と0が「3」と入力します	例： 53

が、ご購入時の設定です。

※1 誤操作防止を目的とするものです。レジ打ちの際、金額を入力(置数)する前にキーを押すとレジは操作を受け付けません。必ず置数してからキーを押してください。

※2 一部入金を「許可」は、小計した金額よりも少ない金額の置数を許可します。

各キーの設定

現/預

設定



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 0 2 小計 0 0
A
B C D
0 1 0 0
現/預 小計

ABCD の設定内容は、券 信 と同じです。(前ページ参照)

入金 出金

設定



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 0
0 0 0 0 0
入金 小計

“0000” 固定

■入金/出金の金額制限

制限しない	0 0
例：40,000 円の場合 「4」と0が「4」と入力します	4 4

いずれかのキーを
押してください

が、ご購入時の設定です。

万円

設定



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0
0 0 0 0
万円 小計

“000” 固定

■キー用途

「万円」として使用	0
「千円」として使用	1

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各キーの設定

#/替

設定



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 0 0 0 0 0 #/替 小計
 “00000” 固定

■取引中ではないときに番号印字をすると

印字前の状態と変わらない	0
強制的に取引中の状態に移行する※ 1	1

が、ご購入時の設定です。

※ 1 通常の取引状態となり、**現/預** などを使った「締めの操作」が必要です。

—

設定



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 A 0 B 0 C 0 0 0 0 — 小計
 “000” 固定

A 単品値引きと小計マイナスの設定

単品値引き	値引き額が小計額を超える	
禁止	禁止	0
	許可	1
許可	禁止	4
	許可	5

B 入力最大桁数

桁数制限をしない	0 または 7	0	税1 内税
登録可能な桁数を選択	1 ~ 6	1	税1 外税
置数入力を禁止する	8 または 9	2	税2 内税
		3	税2 外税
		5	税1/税2、内税、外税、非課税 (混在して使用しているときに選択)
		6	非課税

C 課税方式の設定

が、ご購入時の設定です。

各キーの設定

%

設定



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A %計算による端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

B キー用途／置数でのレート入力

キーの用途（動作）	置数でのレート入力	
割引き	可能	0
	不可	2
割増し	可能	1
	不可	3

C 課税方式の設定

0	税1 内税
1	税1 外税
2	税2 内税
3	税2 外税
5	税1 / 税2、内税、外税、非課税（混在して使用しているときに選択）
6	非課税

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

内容変更できる主な印字項目

レシート印字例

御計算書	
2019-10-31 09:25	
担当 -01	0001-000008
部門 02	¥5,780
10点 @128	
部門 04	¥1,280
PLU0027	¥880
-	-100
部門 03 ※	¥2,600
部門 04 非	¥3,000
小計	¥13,440
-5%	
%-	-672
14点	
対象計 10.0%	¥7,448
内税	¥677
対象計※ 8.0%	¥2,470
内税※	¥183
消費税合計	¥860
非課税合計	¥2,850
合計	¥12,768
お預り	¥15,000
お釣	¥2,232

注) ※は軽減税率適用

- 1 店名ロゴ部分(ご購入時:御計算書を印字する)
 - ・ご購入時には「御計算書」が印字されます。
 - ・店名、住所などを印字するには2通りの方法があります。
 - ①「電子店名スタンプ」の作成・ご注文
パソコンのレジスターツールで作成できます。(別途SDメモリーカードが必要で
す。)ご注文の場合は、同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償)をご確認ください。
 - ②任意に設定した文字を印字(6行分)
「レシートメッセージを設定する」(102ページ)
「レシートメッセージ内容を設定する」(122ページ)
- 2 マシン番号(ご購入時:印字しない)
 - 「マシン番号を設定する」(124ページ)
- 3 一連番号(ご購入時:印字する・精算で0001に戻る)
 - 「印字項目を設定する」(116ページ)
- 4 担当者(ご購入時:使用しない、印字しない)
 - 「担当者機能を使う」(56ページ)
 - 「担当者機能を有効にする」(68ページ)
 - 「レジ担当者の名前を設定する」(104ページ)
 - 「強制機能や演算方式を設定する」(117ページ)
 - 「担当者番号にパスワードを設定する」(125ページ)
- 5 部門単価(ご購入時:なし)
 - 「部門キーに商品単価を設定する」(70ページ)
 - 「部門キーの機能設定」(71ページ~)
- 6 部門名(ご購入時:部門01~部門10)
 - ・部門名を設定するには2通りの方法があります。
 - ①「商品名リストから商品名を選択して部門キーに設定する」(92ページ)
 - ②「商品名や分類名を部門キーに設定する」(99ページ)
- 7 税シンボル(ご購入時:内税・印字しない・外税・外・非課税・非・軽減税率・※)
 - 「種別コード423」(109ページ)
- 8 課税対象合計(ご購入時:印字する) 税率(ご購入時:印字する)
 - 非課税対象合計(ご購入時:印字する)
 - 「課税対象額・税率・税シンボルの印字/非印字を設定する」(115ページ)
- 9 買い上げ点数(ご購入時:印字しない)
 - 「レシート/ジャーナルの印字項目を設定する」(115ページ)
- 10 軽減税率メッセージ(ご購入時:印字する)
 - 「レシートメッセージの内容を設定する」(122ページ)



電子店名スタンプ
電子店名スタンプを作成すると、レシートと領収書に別々の店名ロゴと住所が印字できます。
詳細はレジスターツールのヘルプ、または同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償)をご確認ください。

領収書印字例

1	2019年10月31日	領 収 書	
4	一連 No. 000025		
5	領収 No. 000004		
		様	
2		¥60,000-	対象計 10.0% ¥60,000 内税 ¥5,455
	(但し [] として正に領収致しました)		
	印刷面を内側に折って保管願います		印
3	収入印紙		
	カシオ商店		渋谷区本町1-6-2 電話 1234-5678

- 1 領収書のタイトル(ご購入時:領収書)
 - 「領収書のタイトルを設定する」(107ページ)
- 2 但し書き(ご購入時:印字なし)
 - 「領収書の但し書き内容を設定する」(106ページ)
- 3 印紙貼付け枠(ご購入時:印字する-税抜金額50,000円以上)
 - 「領収書の内容を設定する」(121ページ)
- 4 レシート用の一連番号(ご購入時:印字する)
 - 「領収書の内容を設定する」(121ページ)
- 5 領収書用の一連番号(ご購入時:印字する・精算で0001に戻る)
 - 「領収書の内容を設定する」(121ページ)
- 6 税金項目(ご購入時:印字する)
 - 金額入力で発行したときは印字されません (54ページ)
 - 「領収書の内容を設定する」(121ページ)

その他の設定

印字項目を設定する 1 / 2

印字項目を設定します。

操作例

時間の印字／表示を 12 時間制に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	3 小計	5 2 2 小計	A	B	C	D	E	F	G	H
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現/預	小計								

A 時計の印字／表示

24 時間制	0
12 時間制	2

B 課税対象合計／税率の印字

税率を	課税対象合計を	
印字する	印字する	0
	印字しない	1
印字しない	印字する	2
	印字しない	3

C レシート印字のタイミング／ジャーナルスキップ

レシート印字のタイミング	ジャーナルスキップ	
取引ごとに	しない	0
	する	1
レシート発行ごとに	しない	2
	する	3

D 各レポートの売上が 0 の項目の印字

時間帯レポートで売上が 0 の項目	PLU レポートで売上が 0 の項目	明細レポートで売上が 0 の項目	
印字しない	印字しない	印字しない	0
		印字する	1
	印字する	印字しない	2
		印字する	3
印字する	印字しない	印字しない	4
		印字する	5
	印字する	印字しない	6
		印字する	7

E 明細レポートへの売上構成比

印字しない	0
印字する	1

H 税金の前の区切り／税金の合計額の印字

税金の合計額	税金の前の区切り
0 印字する	破線を印字しない
2	破線を印字する
4 印字しない	破線を印字しない
6	破線を印字する

G 合計行の印字／プリンタの用途

非課税合計の印字	預かり時に合計行の印字を	プリンタの用途を
0 印字する	印字する	レシート発行用
1		ジャーナル発行用
2	印字しない	レシート発行用
3		ジャーナル発行用
4 印字しない	印字する	レシート発行用
5		ジャーナル発行用
6	印字しない	レシート発行用
7		ジャーナル発行用

F ジャーナル／税シンボル／買い上げ点数の印字

ジャーナルを	税シンボルを	買い上げ点数を
0 普通印字	印字する	印字しない
1		印字する
2	印字しない	印字しない
3		印字する
4 圧縮印字	印字する	印字しない
5		印字する
6	印字しない	印字しない
7		印字する

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

印字項目を設定する 2 / 2

操作例

時刻の印字を「印字しない」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

A
B
C
D

3
小計
1
7
2
2
小計
0
0
0
0
0
1
0
0
現/預
小計

“00” 固定

A 簡易メニュー／簡易お知らせの印刷内容

長さ	向き	
文字数分	縦	0
	横	1
長さを統一	縦	2
	横	3

B 日付および一連番号の印字／非印字

一連番号	日付	
印字する	印字する	0
	印字しない	1
印字しない	印字する	4
	印字しない	5

C 時刻の印字

印字する	0
印字しない	1

D 縦倍印字／小計印字

文字大きさ	<small>小計</small> 押したときに	
普通文字	印字しない	0
	小計印字する	1
縦倍文字	印字しない	2
	小計印字する	3

が、ご購入時の設定です。

その他の設定

強制機能や演算方式を設定する

強制機能や演算方式を設定します。

操作例

締め操作時の小計入力を「強制する」に設定します。
(戻モードの件数「加算する」)



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	A	B	C	D	E	F	G	H												
	3	6	2	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	6	2	2	小計	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
																			現/預	小計

A 担当者サインオフ

点検/精算時に による在高入力	担当者のサインオフ	
強制しない	手動	0
	レシート発行ごと	2
強制する	手動	4
	レシート発行ごと	6

B 締め操作時の小計入力

強制しない	0
強制する	1

C レシート発行

登録確認音	レシート発行中のキーバッファクリア	
鳴らす	クリアしない	0
	クリアする	1
鳴らさない	クリアしない	2
	クリアする	3

D 時刻表示/取引中止キー

時刻表示	取引中止キー	
時分を表示	操作できる	0
	操作できない	1
時分秒を表示	操作できる	2
	操作できない	3

E 戻モードの件数を

加算する	0
減算する(レジマイナスモード)	1

“00” 固定

H 00キー/担当者機能

担当者機能	00キー
0	使用しない <00>として使用する
1	<00>として使用する
4	使用する <00>として使用する
5	<00>として使用する

G SDメモリーカードデータ保存

	精算時に	点検時に
0	保存しない	保存しない
1		保存する
2	保存する	保存しない
3		保存する

F 乗算の入力順

0	個数×単価
1	単価×数量

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

点検／精算レポートの内容を設定する 1 / 2

点検または精算時に印字するレポートの、個々の印字項目を設定します。

操作例

レポートの純売に税込・税抜金額を両方「印字する」に設定します。
(累計(GT)は「印字しない」)



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 8 2 2 小計 0 0 0 7 現/預 小計

A B C

A 戻し合計の印字

印字する	0
印字しない	4

B 電卓モードでの計算回数

印字する	0
印字しない	1

C レポートの純売に税込・税抜両方印字／累計(GT)の印字

税込／税抜両方	累計(GT)	
印字しない	印字しない	3
	印字する	0
印字する	印字しない	7
	印字する	4

↑ "0" 固定

が、ご購入時の設定です。

その他の設定

点検／精算レポートの内容を設定する2 / 2

操作例

日計明細の精算レポートに、一連番号の始まりの番号を「印字する」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 6 2 2 小計 1 0 0 0 0 0 0 0 0 現/預 小計

↑ A "00000" 固定 ↑ B

A 日計明細の精算レポートに一連番号の始まりの番号を

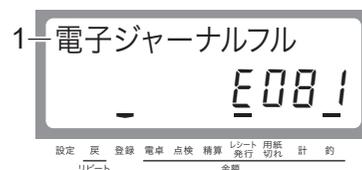
印字しない	0
印字する	1

B 日計明細の精算時に電子ジャーナルのクリアを

クリアする	0
クリアしない※1	1

が、ご購入時の設定です。

※1 電子ジャーナルの空き容量が少なくなると、本体表示窓にメッセージが表示されます。「レポートとキー操作」(58 ページ)を参照して、電子ジャーナルを消去してください。



1: メッセージ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

電卓モードの機能を設定する

電卓モードの機能を設定します。

操作例

電卓モードのときに  でドローアを「開ける」に設定します。( で開けない)



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

A 電卓モードのドローア開閉操作

 のドローア開閉	 のドローア開閉	
開けない	開けない	
	開ける	
開ける	開けない	
	開ける	

 が、ご購入時の設定です。

その他の設定

領収書の内容を設定する

領収書に印字する内容を設定します。

操作例

但し書きを「ご飲食代」に設定します。

手順と操作



1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

A B C D

3 小計 2 7 2 2 小計 3 0 0 0 5 0 0 0 0 現/預 小計

A 但し書きの印字内容

印字なし	0
お品代	1
お食事代	2
ご飲食代	3
手数料	4
印紙代	5
証紙代	6
お薬代	7
治療費	8
109 ページのコード 4323 で設定した文字	9

B 日計明細精算後に領収書用一連番号を

0001 に戻す	0
連番を継続する	1

C 領収書への印字 タイトル/レシートの一連番号/税金項目

領収書のタイトル	レシートの一連番号	税金項目	
領収書	印字する	印字する	0
		印字しない	1
	印字しない	印字する	2
		印字しない	3
領収証	印字する	印字する	4
		印字しない	5
	印字しない	印字する	6
		印字しない	7

D 収入印紙貼付欄の印字

収入印紙の必要額(円単位)を6桁で設定します	0 5 0 0 0 0 0
------------------------	---------------

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

レシートメッセージの内容を設定する

レシートに印字するメッセージの内容を設定します。

操作例

コマースルメッセージを「設定した文字を印字する」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A コマースルメッセージ、ボトムメッセージの印字設定

軽減税率メッセージ	ボトムメッセージ	コマースルメッセージ	
印字する	印字しない	印字しない	0
		設定した文字を印字する	1
	設定した文字を印字する	印字しない	2
		設定した文字を印字する	3
印字しない	印字しない	印字しない	4
		設定した文字を印字する	5
	設定した文字を印字する	印字しない	6
		設定した文字を印字する	7

B レシートの店名ロゴの印字設定

住所・TEL(後半)	ロゴ(前半)	
設定した住所・TELのロゴを印字する※1	設定したロゴを印字する※1	0
	設定したロゴメッセージを印字する	1
設定した住所・TELのテキストを印字する	設定したロゴを印字する※1	2
	設定したロゴメッセージを印字する	3

C 領収書の店名ロゴの印字設定

住所・TEL(右側)	ロゴ(左側)	
印字しない	印字しない	0
	設定したロゴを印字する※1	1
設定した住所・TELを印字する※1	印字しない	2
	設定したロゴを印字する※1	3

が、ご購入時の設定です。

※1 レジスターツールなどで作成した電子店名スタンプのデータです。電子店名スタンプのデータの読み込みは、「電子店名スタンプを読み込む」(140ページ)を参照してください。

その他の設定

サーマルポップと背景印字を設定する

レシートや領収書に印字する、サーマルポップと背景を設定します。

操作例

レシートに背景を「印字する」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	3	小計	2	9	2	2	小計	0	0	1	0	現/預	小計
								A	B	C			
A 電子店名スタンプ内のサーマルポップの印字※ 1								↑	↑	↑			
印字しない								0	0	0			
常にサーマルポップ印刷								1	1	1			
商品によって印刷								2	2	2			
金額によって印刷								3	3	3			
B レシートの背景印字													
印字しない								0	0	0			
印字する								1	1	1			
C 領収書の背景印字													
印字しない									0	0			
印字する									1	1			

が、ご購入時の設定です。

※ 1 電子店名スタンプを使用していないと、サーマルポップは印字されません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

本体表示窓と客用表示窓の機能を設定する

本体表示窓のバックライトと、客用表示窓の消灯機能を設定します。

操作例

本体表示窓のバックライトを「点灯しない」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

客用表示窓の表示内容: 3 小計 3 4 2 2 小計 0 0 0 2 0 現/預 小計

A ↑ "00" 固定

B ↑

A 客用表示窓の設定

表示する	0
表示しない	1

B バックライトオフタイマーの設定

オフまでの時間をセット 単位:分

2	0
---	---

設定範囲: 00 ~ 59

が、ご購入時の設定です。

00 にすると、バックライトはオフになりません。

マシン番号を設定する

お店に2台以上のレジスターがある、店舗の区別を付ける場合など、レジにマシン番号を設定します。

操作例

マシン番号を「123」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

客用表示窓の表示内容: 3 小計 2 2 2 小計 0 1 2 3 現/預 小計

↑

マシン番号を4桁で入力します

0	~	9	9	9	9
---	---	---	---	---	---

ポイント ご購入時の設定は、「0000」です。(マシン番号は印字されません。)

その他の設定

サーマルポップの発行金額を設定する

操作例

サーマルポップの印字を金額によって設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 3 2 2 2 小計 1 2 2 0 0 0 0 0 0 0 現/預 小計

なし	0 0
金額を設定(金額の頭2桁) 例 1,200円 → 1 2	例 1 2

なし	0
金額を設定(金額の0の数) 例 1,200円 → 2	例 2

が、ご購入時の設定です。

担当者番号にパスワードを設定する

サインオンするときの入力を、担当者番号(01～10)から4桁の数字(パスワード)に変更できます。サインオンするときパスワードを入力すると、対応する担当者番号でサインオンします。

操作例

担当者番号-01に、パスワード「1234」を設定します。設定後は、サインオンするときの操作が、01(担当者)から1234(担当者)へ変わります。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 1 0 7 小計 1 2 3 4 現/預 小計

担当者番号を入力します(01～10)	01～10
07(小計)を入力します	07(小計)
パスワードを入力します(0001～9999)	0001～9999

- ・ レシートなどへの印字は担当者番号が印字されます(担当-01など)。
- ・ 同じパスワードを設定すると、小さい担当者番号が選択されます。重複するパスワードは登録しないでください。
- ・ 設定内容の確認は、「キー機能・レジスター機能項目の設定点検」(129ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

Bluetooth 関連の設定をする

Bluetooth と電子ジャーナルの設定をします。

操作例

スマートフォンへ点検／精算データを送信するに設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A OFF モード時スマートフォンからの要求を

エラーにする	0
エラーにしない	1

B 電子ジャーナルへ点検／精算レポートを記録

記録しない	0
記録する	1

C レポート印字／SD 保存

精算レポート印字 (送信時)	点検レポート印字 (送信時)	スマートフォンへ精算データ送信失敗時に SD 保存	
印字する	印字する	保存しない	0
		保存する	1
	印字しない	保存しない	2
		保存する	3
印字しない	印字する	保存しない	4
		保存する	5
	印字しない	保存しない	6
		保存する	7

D スマートフォンへデータ送信／Bluetooth

精算時データを送る	点検時データを送る	Bluetooth 使用	
送信しない	送信しない	使用しない	0
		使用する	1
	送信する	使用しない	2
		使用する	3
送信する	送信しない	使用しない	4
		使用する	5
	送信する	使用しない	6
		使用する	7

が、ご購入時の設定です。

レジ設定内容の確認

設定内容を確認する

設定内容は、設定された4つの内容を下記の操作で確認します。

内容	操作
部門の単価、%レート、簡易設定項目の確認	設定モード→ 1 <small>小計</small> → <small>小計</small>
PLUの商品名、単価項目の確認	設定モード→ 6 <small>小計</small> → <small>小計</small>
部門の商品分類名、取引キー名称、メッセージ項目の確認	設定モード→ 2 <small>小計</small> → <small>小計</small>
キーの機能、レジスターの機能項目の確認	設定モード→ 3 <small>小計</small> → <small>小計</small>

部門の単価・%レート・簡易設定項目の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **1** と 小計 を2回押します。
1 小計 小計

印字例

PGM1.....			1
部門01 非		@100	2
部門02 税1内		@220	
部門03 税1内		@0	
部門09 非		@0	
部門10 税1内		@0	
— *		@50	3
% 内		5%	4
レシート背景印刷	無し		5
但し書き	印字しない		6
領収書/証	領収書		7
領収書背景	無し		8

- 1: 設定1点検のタイトル
- 2: 部門商品名/税シンボル/単価
- 3: 値引キー/値引単価
- 4: % キー/パーセントレート
- 5: 106 ページ参照
- 6: 106 ページ参照
- 7: 107 ページ参照
- 8: 107 ページ参照

PLUの単価・設定項目の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **6** と 小計 を2回押します。
6 小計 小計

印字例

PGM6.....			1
PLU0001 非	0001		2
00006000	@100		
11-66	0000		
PLU0002 税1内	0002		3
00000000	@200		
11-66	0000		
PLU0600 税1内	0600		
00000000	@150		
11-66	0000		

- 1: 設定6点検のタイトル
- 2: PLU 商品/税シンボル/メモリ番号
- 3: 設定3の設定内容(77ページ参照)/単価

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジ設定内容の確認

商品名・メッセージ項目の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **2**と **小計** を2回押します。
2 小計 小計

印字例

PGM2.....		1
総売	01	2
純売	02	
現金在庫	03	
領収書 印紙	04	3
領収書	29	
現金	01	
小計	02	4
	03	
	04	
訂正	29	5
部門 01	01	
部門 02	02	
部門 03	03	6
部門 04	04	
部門 09	09	
部門 10	10	7
担当 -01	01	
担当 -02	02	
担当 -03	03	8
担当 -04	04	
担当 -09	09	
担当 -10	10	9
GT	01	
¥ @ 件点	01	
点名枚	02	9
	03	
	04	
ポイント	01	9
日計明細	02	
PLU	03	
時間帯	04	9
電子ジャーナル	01	
	02	
	31	

- 1: 設定2点検のタイトル
- 2: 固定合計器項目名/メモリ番号 (108ページ参照)
- 3: キー名称/メモリ番号
- 4: 部門名/メモリ番号
- 5: 担当者名/メモリ番号
- 6: GT (累計) 名称
- 7: 特殊キャラクタ/メモリ番号 (109ページ参照)
- 8: レポートタイトル/メモリ番号 (108ページ参照)
- 9: レシートメッセージ/メモリ番号 (95ページ参照)

レジ設定内容の確認

キー機能・レジスター機能項目の設定点検



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **3** と **小計** を 2 回押します。
- 3 **小計** **小計**

印字例

PGM3.....		1
0122	00000010	2
0222	00002070	
0522	00000000	
3422	00000000	
3822	00000000	3

現行		
消費税 1	10% 内税 四捨五入	
消費税 1	10% 外税 切捨て	
消費税 2	8% 内税 四捨五入	
消費税 2	8% 外税 切捨て	

税変更日	2019-10-01 00:00	

消費税 1	10% 内税 四捨五入	4
消費税 1	10% 外税 切捨て	
消費税 2	8% 内税 四捨五入	
消費税 2	8% 外税 切捨て	
-----		5
担当 -01	01 0001	
担当 -02	02 0002	
担当 -10	10 0010	
-----		6
部門 01	01 00000000 @100	
11-66	0000	
部門 02	02 00000000 @200	
11-66	0000	
部門 10	10 00000000 @0	
11-66	0000	7
現金	00000000 00000000 00000000	
訂正	00000000 00000000	
-----		8
SD 設定データの予約読み日	2019-10-01 00:00	

課税モード	非課税	

- 1: 設定 3 点検のタイトル
- 2: 全体設定項目 / 設定内容 (115 ~ 126 ページ参照)
- 3: 現行税テーブル / レート / 外税・内税
- 4: 税改定後税種 / レート / 外税・内税 (予約設定されている場合印字)
- 5: 担当者名 / メモリ番号 / 担当者番号
- 6: 部門名 / メモリ番号 / 部門キー設定内容 / 単価 (70 ページ参照)
- 7: 取引キーキャラクター / 取引キー設定内容 (105 ページ参照)
- 8: SD 設定データ予約読み (設定されている場合印字)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジ設定内容の確認

税予約項目(部門)の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **107** 小計 を押します。
107 小計

印字例

税変更日 2019-10-01	00:00	1	
消費税 1	10% 内税	2	
消費税 1	10% 外税		
消費税 2	8% 内税		
消費税 2	8% 外税		
単価	変更する	3	
課税方式	変更する		
単価 / 課税方式予約設定			
部門 01	税 1 内	@450	4
部門 02	税 1 内	@110	
部門 03	税 2 内	@100	

- 1: 税率改定年月日
(予約設定されている場合は年月日を印字)
- 2: 予約されている税率改定内容
- 3: 単価と課税方式の予約項目
- 4: 単価と課税方式の予約内容
(予約設定されている場合印字)

税予約項目(PLU)の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 **108** 小計 を押します。
108 小計

印字例

単価	変更する	1	
課税方式	変更する		
単価 / 課税方式予約設定			
PLU01	税 1 内	@450	2
PLU02	税 1 内	@110	
PLU03	税 2 内	@100	

- 1: 単価と課税方式の予約項目
- 2: 単価と課税方式の予約内容
(予約設定されている場合印字)

オプションの SD メモリーカードの使用

メモリーカードを使用する場合のご注意

本機に使用できるメモリーカードは、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードです。

- ・ SD 規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は SD メモリーカードは 2GB 以下、SDHC メモリーカードは 2GB 超～ 32GB 以下です。
※ 上記のメモリーカードであっても、容量をはじめすべてのカードで動作を保証するものではありません。新しい SD メモリーカードを使用することをおすすめします。
- ・ SD メモリーカードにアクセスしている間はカードを抜いたり、電源を OFF にしないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・ 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、電子レジスターオフィシャル web「電子レジスターお客様サポートメニュー」<https://casio.jp/support/ecr/> をご確認ください。
- ・ 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがあります。大切なデータはバックアップしておくことをおすすめします。

SD メモリーカードにレジの設定をバックアップする

SD メモリーカードにレジスターの設定をバックアップします。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **3 0 1** 小計 を押します。

3 0 1 小計

3 現/預 を押します。

現/預

SD メモリーカードのバックアップからレジの設定を読み込む

SD メモリーカードに保存されているバックアップデータを読み込みます。
(設定内容が上書きされます。)



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **3 0 2** 小計 を押します。

3 0 2 小計

3 現/預 を押します。

現/預

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

オプションの SD メモリーカードの使用

精算時に SD メモリーカードにデータを保存する

精算時に、SD メモリーカードへ売上データと電子ジャーナルのデータを保存します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **5 1 1** 小計 を押します。

5 1 1 小計

3 **1** 現/預 を押します。

1 現/預

保存しないときは、手順 3 で **0** 現/預 を押します。



・売上データは CSV ファイル、電子ジャーナルはテキストファイルで SD メモリーカードに保存されます。
・売上データは「CASIO」「SRS200」「XZ」フォルダの下の年 (4 桁)、月 (2 桁) フォルダに保存されています。

レジスタートツールで設定した予約設定 (SD) の予約機能を設定する

レジスタートツールで設定した予約設定 (SD) を読み込む日付を設定します。この設定をすると、レジで設定している税率改定の予約機能は解除されます。レジスタートツール側で税率や単価、課税方式を含めて予約設定後、SD メモリーカードへ内容を保存してください。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **3** 小計 を押します。

3 小計

3 **4 2 9** 小計 を押します。

4 2 9 小計

4 予約する年月日を入力して、現/預 を押します。

YYMMDD

YY に西暦年の下 2 桁・MM に月 (01 ~ 12) ・
DD に日 (01 ~ 31) の、各 2 桁・合わせて 6 桁の
数字を必ず入力してください。

現/預

5 小計 を押します。

小計



設定した日付に SD メモリーカードから設定を読み込みます。そのときに SD メモリーカードがセットされていないとエラーとなります。必ず SD メモリーカードをセットしておいてください。

簡易メニュー／簡易お知らせ印刷の説明

簡易メニュー／簡易お知らせ印刷

簡易メニュー印刷

部門、PLU に設定したキャラクターと金額を、店舗に貼って利用するメニューのような形式でレシート用紙に印刷できる機能です。

簡易お知らせ印刷

店舗でお客様へお知らせするためのメッセージをレシート用紙に印刷できる機能です。簡易お知らせ印刷のメッセージを設定してご使用ください。



手順

印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。
- 2 **405** 小計 を押します。
- 3 部門の場合は… (部門シフト)+ 部門キーを押します。
PLU の場合は…PLU 番号 + **PLU** を押します。
メッセージの場合は…メモリー No+ **現/預** を押します。

ココア	500
-----	-----

簡易お知らせ印刷のメッセージ設定

簡易お知らせ印刷用に 10 行分のメモリー No.(26 ~ 35) が用意されています。このエリアにメッセージ印刷したい内容を設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。
- 2 **2** 小計 を押します。
- 3 **2632** 小計 を押します。※
- 4 キャラクターを入力します。
キャラクターの入力は「文字入力の方法」(97 ページ) を参照してください。
- 5 **現/預** 小計 を押します。

※他のメモリーへ設定する場合は、手順 **3** で **2632**、**2732**、**2832**、**2932**、**3032**、**3132**、**3232**、**3332**、**3432**、**3532** を押します。(それぞれ先頭 2 桁がメモリー No を表しています。)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

簡易メニュー／簡易お知らせ印刷の説明

簡易メニュー印刷書式設定

部門、PLU に設定したキャラクターと金額を店舗に貼って利用するメニューのような形式でレシート用紙に印刷する際、キャラクター桁数、金額桁数が異なってもすべて同じ長さにそろえて印刷するか、文字数分を印刷するかを設定します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。
- 2 **406** 小計 を押します。
- 3 文字数分印刷の場合は… **0** 現/預 を押します。
長さを揃える場合は… **1** 現/預 を押します。

印字例

文字数分を印刷

ホットケーキ 1,000

ココア 500

長さを揃えて印刷

ホットケーキ 1,000

ココア 500

簡易お知らせ印刷の向きの設定

メッセージ印刷の向きを縦にするか、横にするかの設定をします。



手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。
- 2 **407** 小計 を押します。
- 3 縦向きに印刷する場合は… **0** 現/預 を押します。
横向きに印刷する場合は… **1** 現/預 を押します。

印字例

縦向きに印刷

本日臨時休業です

横向きに印刷

本日臨時休業です

故障かなと思ったら

こんなときは

本体表示窓に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス(案内表示)が表示されます。表示に従ってエラーを解除してください。を押すと、いろいろな機能や使用方法を説明したレシートを発行します。

こんなときは	処置	参照ページ
ドロアーが開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか確認してください。下記「ドロアーが開かなくなったとき」を確認してください。	135
表示がつかない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか、コンセントまで電気が来ているか確認してください。	---
レシート発行/停止のシンボルが点滅した	ロールペーパーを補給してください。紙押さえが確実に閉められているか確認してください。	136
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーに残りがあるか確認してください。	136、138
	レシート印字の場合、レシート発行停止になっていないか確認してください。	51
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか確認してください	138
	ロールペーパーが、ジャーナル巻き取りホルダーにきちんとセットされているか確認してください。	
	ジャーナル巻き取りホルダーが、ホルダー受けに確実にセットされているか確認してください。	
印字をしない	紙詰まりを起こしていないか確認してください。ロールペーパーを裏表逆に取り付けていないか確認してください。(普通紙は使用できません)	136、138、139
印字がうすい 印字ムラがある	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください。	裏表紙
///// (斜線) を印字して動作しない	電源電圧が不安定です。タコ足配線など、電源環境を見直してください。	---
レポート・レシート印字が早くなったり遅くなったりする	故障ではありません。印刷する行の印字濃度(文字の濃さ)によって、プリンターが印字速度を変えています。	---
「紙押えを押し込んで下さい」と表示される(E010表示)	紙押えを、確実にロックされるまで押し込んでください。	136、138
「Bluetooth 接続していません」と表示される	スマートフォンと Bluetooth で接続してください。	86
「Bluetooth 通信に失敗しました。」と表示される	接続範囲外にある可能性があります。レジの近くで再度実行してください。また、その他の Bluetooth 機器が影響を及ぼしている可能性もありますので確認してください。	86

正しく動作しないとき

レジ操作中に、操作ミスを検出してエラー音が鳴ることがあります。通常はエラーの自動解除機能により、そのまま操作を続けることができます。操作ミスのエラーは、を続けて2回押して強制的に解除できます。その際は下記にご注意ください。

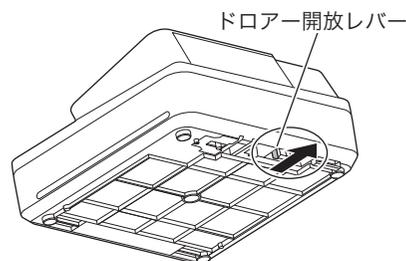
注意 「登録」の操作中に強制解除をすると、現金売上として処理されます。売上から取り消す場合は、「返品処理」をしてください。

ドロアーが開かなくなったとき

停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー開放レバー(ドロアー底面の金具)を矢印の方向に動かすと開きます。

※ドロアー開放レバーの形状は実物と異なることがあります。

 **ポイント** ドロアーロック錠(11 ページ)でロックしていると開きません。ロックを解除してください。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

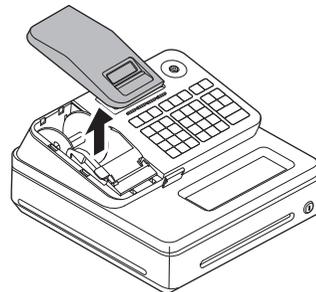
ロールペーパーのセットと交換

ロールペーパーをセットする(レシート)

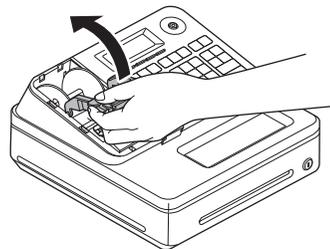
 **ポイント** 印字用紙を「レシート」として使うときは、付属品の「ジャーナル巻き取りホルダー」は使用しません。

手順

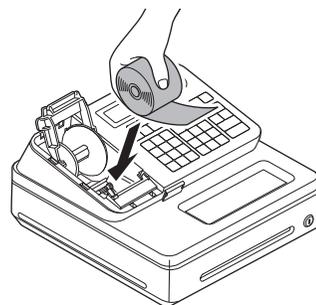
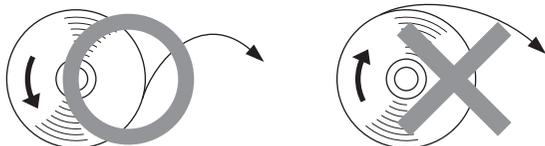
1 プリンターカバーを開けます。



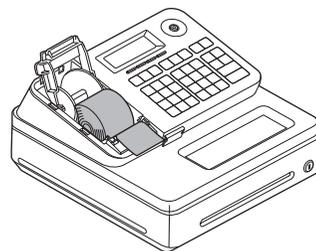
2 紙押さえに指をかけて持ち上げ、アームを開けます。



3 ロールペーパーの先端が下から出るように持ち、手前側のロールペーパー入れにセットします。

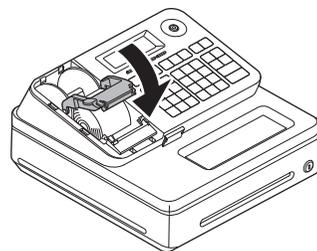


4 ロールペーパーの先端をプリンターの上に渡します。



ロールペーパーのセットと交換

- 5 紙押さえでロールペーパーを挟み、カチッと鳴るまで押し込んで閉じます。紙押さえの真中を押して、左右のロックを確認します。紙押さえから出ているペーパーは切り取ってください。



ロールペーパーが正しくセットされていないと、本体表示窓に右記のエラーが表示されます。



紙押さえが閉じていないと、本体表示窓に右記のエラーが表示されます。



- 必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けないとレジスターは動作しません。
- ロールペーパーの規格は、幅 58mm × 外径 80mm の感熱記録紙です。必ず当社指定のロールペーパーをご使用ください。指定品以外の用紙を使用すると故障の原因になります。
- ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約 1m です。新しいロールペーパーに交換してください。



ポイント 「ジャーナル」に変更したあと元の「レシート」に戻すときは設定を変更してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

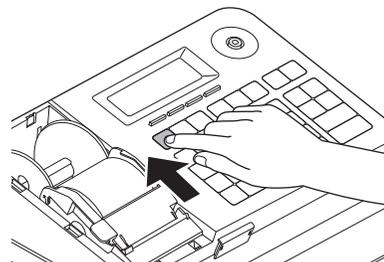
こんなときは

ロールペーパーのセットと交換

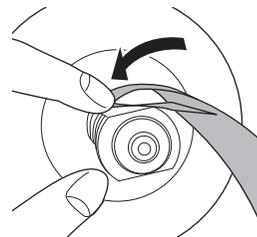
ロールペーパーをセットする(ジャーナル)

手順

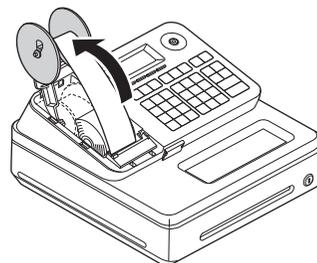
- 1 「ロールペーパーをセットする(レシート)」の、手順 **1** ~ **5** と同じ操作をします。
- 2 「紙送り」を押してロールペーパーを 20cm 程度空送りします。



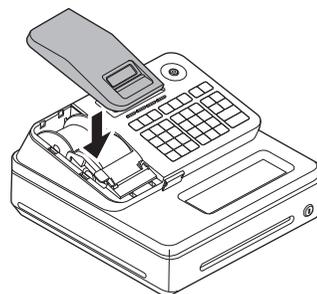
- 3 付属のジャーナル巻き取りホルダーの溝に、新しいロールペーパーの先端を差し込み、折り返して2~3回巻き付けます。



- 4 ジャーナル巻き取りホルダーをジャーナルホルダー入れにセットして、用紙のたるみがなくなるまで「紙送り」を押します。「紙送り」は、モードスイッチの位置を「登録」にして操作してください。



- 5 プリンターカバーを閉めます。プリンターカバー手前側のフックを引っ掛けて、後ろ側へ閉めてください。



ジャーナル用紙のご注意

- ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーの使用をお勧めします。
- 感熱記録紙(サーマル用紙)は、強い光に当てると印字が見えにくくなります。保管・保存には注意してください。

 **ポイント** ジャーナルでご使用のときは設定を変更してください。(69 ページ)

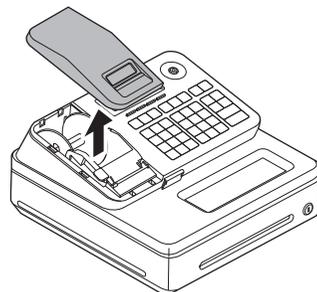
ロールペーパーのセットと交換

ロールペーパーを交換する(ジャーナル)

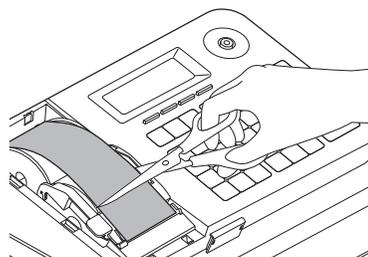
ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約1mです。新しいロールペーパーに交換してください。

手順

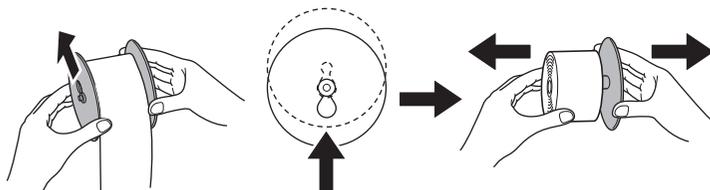
1 プリンターカバーを開けます。



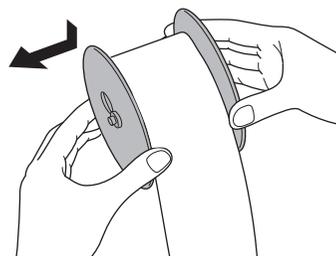
2 紙送り を押して、ロールペーパーを 20cm 位程度空送りし、印字部分にかからない位置でペーパーを切り取ります。



3 ジャーナル巻き取りホルダーを取り出し、印字済み用紙を外します。矢印の方向に押してホルダーの軸押さえを外します。



4 ペーパー入れに残ったロールペーパーの芯を取り除き、「ロールペーパーをセットする(レシート)」の手順 **2** ~ **4**、「ロールペーパーをセットする(ジャーナル)」の手順 **3** ~ **5** と同じ操作で、新しいをロールペーパーをセットします。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

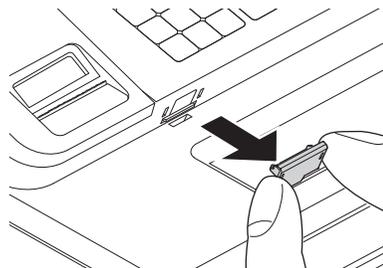
電子店名スタンプのセット

SDメモリーカードに保存した電子店名スタンプを使用する場合は下記を設定します。電子店名スタンプは、パソコンのレジスターツールを使って作成できます。詳しくは、弊社 Web (<https://casio.jp/support/ecr/>) をご確認ください。同梱の「電子店名スタンプ注文書」(有償) でも承っています。

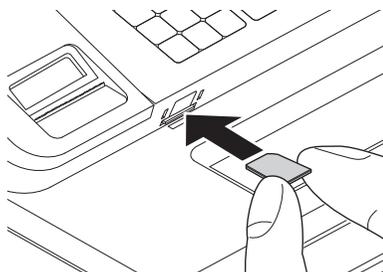
SDメモリーカードをセットする

手順

1 モードスイッチの位置を「OFF」にして、本体表示窓と客用表示窓が消灯したことを確認します。本体前面のSDメモリーカードスロットカバーを開けます。



2 SDメモリーカードの表面を上にして「カチッ」と音がするまでしっかり差し込み、SDメモリーカードスロットカバーを閉めます。



⚠ 注意 SDスロット内部の端子部に、手や金属で触れないでください。

電子店名スタンプを読み込む

SDメモリーカードに保存した電子店名スタンプを読み込みます。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **201** 小計 を押します。

3 現/預 を押します。

操作

201 小計

現/預

電子店名スタンプのセット

電子店名スタンプを削除する

SDメモリーカードに保存した電子店名スタンプを削除します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **209** 小計 を押します。

209 小計

3 現/預 を押します。

現/預

SDメモリーカードを取り出す

モードスイッチの位置を「OFF」にしてSDメモリーカードを軽く押し、少し出てきたカードを引き抜いて取り出します。

内蔵のフラッシュメモリからバックアップデータ(自動設定保存)を戻す

SDメモリーカード以外に、内蔵のフラッシュメモリに設定データ(売上データ除く)がバックアップされている場合があります。(自動設定保存と印字されます)

乾電池の消耗時に電源プラグを抜くとすべての設定データが消えて、初期化が必要となります。その際に内蔵フラッシュメモリに設定データがある場合はデータを戻すことができます。印字されたガイダンスに従って、設定データを読み込む、または初期化するか操作してください。

電子店名スタンプ/サーマルポップの内容を確認する

操作例

電子店名スタンプ/サーマルポップを印刷して内容を確認します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

6 小計 **1** 現/預

レシートの印刷内容	1
領収書の印刷内容	2

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電池のセットと交換

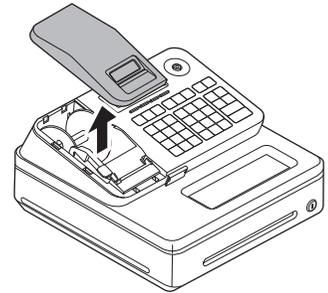
電池をセットする

電池は停電時にレジスター内部メモリーを保護します。単3型アルカリ乾電池を2本用意してください。

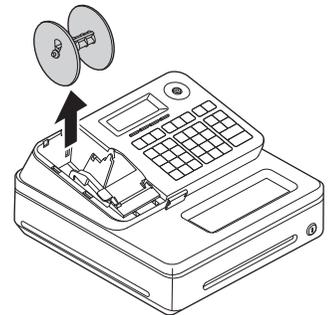


手順

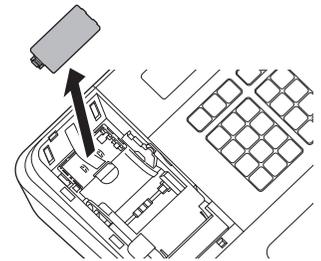
1 モードスイッチの位置を「OFF」にしてプリンターカバーを開けます。



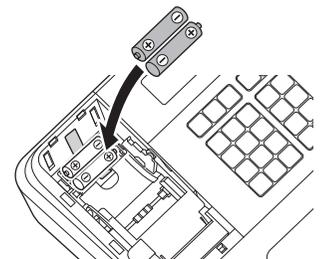
2 ジャーナル巻き取りホルダーを取り外します。



3 電池ボックスのフタのつまみを、矢印の方向に押し取り外します。



4 単3型アルカリ乾電池2本を、取り出し用リボンの上に載せるようにして＋がイラストと同じになるよう正しくセットします。



5 セットと逆の手順で電池ボックスのフタとプリンターカバーを取り付けます。

電池のセットと交換

電池を交換する

本体表示窓の上側に「電池切れです」が表示された場合は、電池が寿命です。モードスイッチの位置を「OFF」にして、電源プラグは抜かずに交換してください。交換の手順は、「電池をセットする」と同じです。



- ⚠注意**
- ・交換中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
 - ・電池は必ずすべて同じ種類の新しい電池をご使用ください。

電池についてのご注意

- 電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。液漏れの原因となります。
- 使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。
- 乾電池には使用推奨期限があります。この期間に注意を払ってお使いください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

仕様

型式	SR-S200(10 部門)ストロークキー方式 2キーロールオーバー
表示部	本体表示窓：キャラクター部半角 20 文字・数値部 10 桁 液晶表示(バックライト付き) 客用表示窓：数値部 8 桁液晶表示(背面固定式)
印字部	1 シートサーマルプリンター方式
	印字速度 約 10 行/秒
	印字桁数 各 24 桁(半角文字の場合)
	記録紙幅 57 ~ 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙(消耗品欄参照)
	店名ロゴ印字 縦 21mm × 横 48mm の範囲でデザイン可(レシートに自動印字)
	用紙カット レシートで使用の場合、ギザ歯で手動カット
	用紙巻取 ジャーナルで使用の場合、自動巻き取り
領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能	
最大演算桁数	置数・預かり金(10 桁：0 ~ 9,999,999,999)
	登録(7 桁：- 9,999,999 ~ 9,999,999)
	合計(10 桁：- 999,999,999 ~ 9,999,999,999)
	リピート(6 桁：- 999,999 ~ 999,999)
	ノアド(14 桁：0 ~ 99999999999999)
	%レート(整数 2 桁+小数 2 桁：0.01 ~ 99.99%)
	税率(整数 2 桁+小数 4 桁：0.0001 ~ 99.9999%)
乗算数量(整数 4 桁+小数 2 桁：0.01 ~ 9999.99)	
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁(負数のときは 9 桁)
ドロアー	紙幣 3 種・硬貨 6 種 ドロアーロック錠付 ドロアー/本体一体型
時計・日付機能	月差± 40 秒(通電状態 25°Cにおいて) 2099 年までフルオートカレンダー
メモリ保護	単 3 型アルカリ乾電池× 2 本使用 記憶保持約 1 年 1 年ごとに交換のこと
電源・消費電流	AC100V ± 10V 50/60Hz 0.38A
周囲温度・湿度	0°C ~ 40°C 10% ~ 90% RH
外形寸法	幅 326mm × 奥行 345mm × 高さ 167mm(ドロアー含む)
重量	約 3.5Kg(ドロアー含む)
通信仕様	Bluetooth® 4.1 (Low Energy 対応)
オプション	防水カバー：WT-93
消耗品	ロールペーパー：紙幅 58mm × 外径 80mm サーマルペーパー(感熱紙) ノーマルタイプ TRP-5880 × 5 (5 個入り) TRP-5880-TW(20 個入り) 高保存タイプ TRP-5880H × 5 (5 個入り) TRP-5880H-TW(20 個入り)

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。
ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。
本書およびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。
本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。

保証規定

本書は、SR-S200(以下「本製品」といいます)に関する保証規定です。

お客様へのお願い

同梱の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

無償保証規定

万一、本製品を正常な使用状態でご使用中に障害が発生し、製品購入日から1年間(以下「保証期間」といいます)以内に弊社へご連絡を頂いた場合、弊社は修理、調整または代替品との交換(以下「修理等」といいます)を行うことにより、本製品を無償保証いたします。なお、修理等を行った場合であっても、当該本製品(代替品を含みます)は保証期間に限り無償保証いたします。

修理等は、故障の状態等から無償保証の対象であることを確認させて頂いたのち、弊社の裁量においていずれかの対応をいたします。なお、代替品との交換とは同等機種との交換をいい、同一機種との交換を保証するものではありません。

修理等を行った場合は本製品を初期状態にてご返却いたします。本製品に記録されている大切なデータについてはあらかじめジャーナルに印字して保管する等、お客様の責任においてバックアップを取ることをお勧めいたします。

本規定は、日本国内でのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

次の場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、修理等に要した費用をお客様へ別途請求いたします。

- ・ 誤ったご使用方法、および不当な取り扱いや改造による故障
- ・ 火災、地震、水害、異常電圧、および盗難などによる損傷や故障
- ・ 移動および輸送によって生じた故障
- ・ 上記のほか、正常な使用状態での使用と認められない故障

本規定に基づく弊社の対応・業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

用語集（索引）

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。操作や設定方法の参照ページも記載してありますのでご活用ください。

[あ]

後レシート発行

通常、レシートの発行をしていないお店で、お客様からレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡しします。

 16、51 ページを参照してください。

ありだか 在高

ドロアーの中にある現金やキャッシュレス決済伝票などの合計金額のことです。

 39、57 ページを参照してください。

一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに1ずつプラスされます。

 32、54、116 ページを参照してください。

一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。

 35 ページを参照してください。

オプション

ご使用方法によっては使っていただくと便利なものを別売で用意させていただいております。それをオプションと呼んでいます。

 144 ページを参照してください。

[か]

紙押さえ

プリンター部分にある、印字用紙を挟み込むローラとそれを支えている腕のことです。用紙交換後には、これがカチッと閉められているかを確認してください。

 11、136 ページを参照してください。

期間集計

長い期間(例えば、一週間、旬日、一月など)の売上の合計を知ることができるレポートです。

 57～59 ページを参照してください。

客用表示窓

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。

 11、13、69、124 ページを参照してください。

キャラクター

部門キーやPLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字のことです。

 13、95～109 ページを参照してください。

軽減税率メッセージ

「税2内税」「税2外税」に設定された部門またはPLUが登録されると、「※」シンボルが横に印字され、「お釣」の後に軽減税率のメッセージ(注) ※は軽減税率適用が印字されます。

 32、122 ページを参照してください。

券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくこともできます。

 16、52 ページを参照してください。

[さ]

ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。本製品では印字用紙はレシート用かジャーナル用か、どちらかにしか使えません。レシート用としてお使いの場合、電子ジャーナルで営業記録を取ることができます。

ジャーナルを印字で残す場合、印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。レシートも合わせてお読みください。

 22、69、138 ページを参照してください。

ジャーナルスキップ

ジャーナル(前出)用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号(前出)や取引合計金額などを印字することです。

 115 ページを参照してください。

出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアーから出すことです。ドロアー内の現金を回収するときなどにお使いください。

 50 ページを参照してください。

乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して(掛け算で)合計金額を算出することです。数量×単価または単価×数量の2種類の入力方法を選べます。

 15、29、42、43、45 ページを参照してください。

用語集 (索引)

シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

 13、32 ページを参照してください。

精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは(翌日の営業のために)ゼロになります。点検も合わせてお読みください。

 26、39、57～64 ページを参照してください。

設定

レジスターの機能を選択したり、割引率や単価をレジスターに登録することです。単価設定も合わせてお読みください。

 68～133 ページを参照してください。

[た]

単価設定

商品単価をレジスターに登録することです。同じ単価を多く使われるお店では単価設定すると便利です。

 42、70、74 ページを参照してください。

担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計できます。

 15、32、56、104、117 ページを参照してください。

置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

 15、28～30、33～36 ページを参照してください。

訂正

レジスターに入力した事柄(数字や機能指定)が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

 33～36 ページを参照してください。

点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。精算、レポートも合わせてお読みください。

 57～64 ページを参照してください。

電子店名スタンプ

レシートに印字するオリジナルの店名ロゴスタンプや、領収書に印字する社名ロゴ・会社所在地などをツールで作成できます。SDメモリーカードへ保存してレジスターに導入します。(SDメモリーカードは同梱していません。)パソコンのレジスターツールで設定するか、別添の申込書(有料)でお申し込みください。

 2、114、122、140 ページを参照してください。

登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

 28～37、42～55 ページを参照してください。

[な]

日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計(日計)を商品分類や取引形態など(明細)に分けて発行します。

 38～40、57～60 ページを参照してください。

入金

商品の売上に直接関係のないお金をドローア内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

 50 ページを参照してください。

値引き

赤札などがあつた場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

 15、48、90、112 ページを参照してください。

[は]

背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字できます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。

 106、107 ページを参照してください。

パーセント計算

割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法です。割引きも合わせてお読みください。

 16、47、90、113 ページを参照してください。

番号印字

商品コード、お客様番号や電話番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

 15、51 ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

用語集（索引）

PLU(ピーエルユー) : Price Look Up の略

プライスックアップ(単価呼出し)のことです。主にコード指定後の PLU キーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLU に設定されるのは、主に(商品の分類ではなく)個々の商品(単品)です。

 15、44～46、61、74～77 ページを参照してください。

非課税方式(非課税方式レジスター)

消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

 79 ページを参照してください。

品番 PLU

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計(日計)を商品分類や取引形態など(明細)に分けて発行します。PLU も合わせてお読みください。

 46、76 ページを参照してください。

部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品/雑貨品/日用品、鮮魚/精肉/青果、お食事/お飲み物などの分類があります。

 15、28～30、41～43、70～73 ページを参照してください。

返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

 36、37 ページを参照してください。

[ま]

丸め(5 円丸め/10 円丸め)

合計金額の端数(5 円未満または 10 円未満)が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

 48、90 ページを参照してください。

万円キー(万券キー)

一万円札の預かり時に使用すると、明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

 15、49 ページを参照してください。

[ら]

リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押ししたりして、手軽に登録することです。

 13、30、45、46 ページを参照してください。

両替

本来の両替(大きなお金を細かくする)ばかりでなく、商品取引以外にドローアを開ける必要ができたときに両替をします。

 15、31 ページを参照してください。

領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。

 16、54、55、114 ページを参照してください。

レシート

お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。ジャーナルも合わせてお読みください。

 32、114～116、136 ページを参照してください。

[わ]

割引き

全品一律 10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけでも使用できます。パーセント計算も合わせてお読みください。

 16、47、90、113 ページを参照してください。

アフターサービスについて

アフターサービス

本体表示窓に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス(案内表示)が表示されます。表示に従ってエラーを解除してください。

アフターサービスのお問い合わせは

お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

SR-S200 の消耗品

ロールペーパー：紙幅 58mm x 外径 80mm サーマルペーパー(感熱紙)

ノーマルタイプ TRP-5880-TW・TRP-5880 x 5

高保存タイプ TRP-5880H-TW・TRP-5880H x 5

乾電池：単3型アルカリ乾電池 [LR6 (AM-3)]

使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30 (日・祝日・弊社指定休業日は除く)

本製品の使用後の取り扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。回収申込方法は、カシオホームページ <https://www.casio.co.jp> でご案内しております。

パソコンのレジスタートツールについて

パソコンのレジスタートツールと、最新サポート情報(Q&A、取扱説明書など)は右記のQRコードを読み込む、または下記URLをご確認ください。

<https://casio.jp/support/ecr/>



店名・住所

販売店(問い合わせ先)を明記しておきましょう ☎ () 担当者

